

普佛戰役ニ於ケル獨國ノ財政

司法省所管	三六、〇八〇、五五〇	三五、五八六、四五二		四九三、〇九九
外務省所管	一三、七九七、二七二	一二、八五四、九八六		九四二、二八九
内務省所管	五九、九七九、五三五	八八、三一〇、二四九	二八、三三〇、七一四	
宗務省所管	四八、九四二、八〇〇	五四、〇六九、八二五	五、一二七、〇二五	
大藏省所管	二〇、三五七、七八八	二四、四〇六、八五六	四、〇四八、八六八	
陸軍省所管	三八〇、一〇五、九〇二	五六七、三三七、五九七	一八七、二三一、六九五	
「アルゼリ」廳經費	一五、四二四、八四三	二六、九九〇、一七六	一一、五六五、三三三	
海軍省所管	一六三、二八一、五六八	一九六、四一〇、七四八	三三、一二九、一八〇	
文部省所管	二五、四六二、五六八	五〇、一一三、七六八	二四、六五一、二〇〇	
農商務省所管	一二、一八八、六八三	三三、五六一、三九一	二一、三七二、七〇八	
工部省所管	八一、二一一、五一七	二五八、〇九四、三五二	一七六、八二二、八三四	
皇室及美術費	一二、四二六、六二九	七、七七四、九〇二		
管理及徵稅費	二二一、六七六、二一八	二四〇、九四〇、四一四	一九、二六四、一九六	四、六五一、七二七
償還費	一〇、五四二、七六七	一九、九五二、〇〇〇	九四一九、二三三	

普佛戰役ニ於ケル獨國ノ財政

目次

第一章 軍費及其支辨	百八十七丁
第一節 軍事費	同
第二節 軍費ノ支辨	同
第二章 戰費賠償金ノ受領及其使用	百八十八丁
第一節 償金ノ受領	二百一丁
第二節 償金ノ使用	同
第三章 償金ノ獨國ニ及ホセル結果	二百三丁
第一節 幣制改革ノ實施	二百十一丁
第二節 償金ハ獨國民ヲシテ苛税ノ負擔ヲ免レンメタリ	同
第三節 投機業ノ勃興	二百十二丁
第四節 貨價ノ低落(物價ノ騰貴)	二百十四丁
	二百十七丁

普佛戰役ニ關スル獨國ノ財政

第一章 軍費及其支辨

第一節 軍事費

佛國ニ對スル戰爭ニ由テ生シタル北獨逸同盟ノ軍費支出ニシテ千八百七十年及千八百七十一年ノ兩年
度ニ於テ確定計算ヲ爲スコトヲ得タル金額左ノ如シ

種別	一八七〇年度		一八七一年度		計
	マルク	グロペンニ	マルク	グロペンニ	
第一款陸軍支出	九六、四三七、八五四	二九、九七一	一九五、一二四、一九九	一〇、〇七一	二九一、五六二、〇五四
甲一時限支出(出師費)	二四、二三三、三二一	二二	六、五六九、五八三	九	三〇、八〇二、九〇四
乙經常支出(戰費)	七二、二〇四、五三二	六	一八八、五五四、六一六	九	二六〇、七五九、一四九
第二款海軍支出	三、五一七、六五五	六	三、七三七、七四五	二〇	七、二五五、四〇〇
第三款郵便支出	三二六、六八一	二九	一、二七三、五五八	四	一、六〇〇、二四〇
郵便費支出總計	三二七、四四二	二九	一、一三二、一五五	一四	一、四五九、五九八
△戰爭ニ由テ生シタル收入高	七六〇、二四	△	一一五六、三五五	一四	一、一六、三九六
「エルグスロートリッゲン」地方郵便事務補助金	—	—	二五七、〇三八	四	二五七、〇三八
				三	
				三	

(△印ハ朱書)

第四款 電信支出	電信費支出總計	△戰爭ニ由テ生シタル收入高	第五款 軍事徵發賠償金	第六款 軍事公債利子	第七款 雜支出	總計
二三〇、八九四	二二七、九一六、二七三	七、〇二二、一四〇	七、二六二	一、九〇六、二四〇、一一六	四一、〇九五、二六二	一〇二、四六七、六八四、二二六
二一〇	三	五	九一〇	六	一一	一一
八八七、九九四、二九	九九三、七八九	一〇五、七九四	八九五、二二三	九、八八九、八七四	三七九、一五〇、二四	一一二、一八七、七四六、二二
三	四	五	二二	一	二四	九
一、一一八、八八九	一、二三一、七〇五、二二	一一二、八一六、一九二	九〇二、四八六	一一、七九六、一一四、二二	四二〇、二四六、二二	九三、一四、六五五、四三二、一七一〇

第二節 軍費ノ支辨

第一 千八百七十年七月二十一日附法律ニ依ルモノ(公債)

千八百七十年七月十九日佛國カ獨國ニ對シ戰ヲ宣スルヤ同年七月二十一日獨逸ニ於テハ左記陸海軍行政ノ非常支出ニ關スル法律ヲ制定シテ北獨逸聯邦大宰相ニ軍隊ノ出師及開戰ニ由リ生スヘキ陸海軍費ノ臨時支出ヲ爲ス爲メ一億二千萬「ターレ」以内ニ於テ公債及國庫債券ノ募集又ハ發行ヲ爲シ以テ軍資金ヲ調達スルノ權限ヲ附與シメリ

陸海軍行政ノ非常支出ニ關スル法律(千八百七十年七月二十一日)

第一條 聯邦宰相ハ軍隊ノ出師及戰爭ニ依テ生シタル陸海軍行政ノ非常支出ヲ支辨シ之ニ要スル金額

一億二千萬「ターレ」ヲ信用ノ途ニ於テ流用シ且ツ此目的ニ向テ右金額ヲ關定スルニ必要ナル豫定額ニ於テ千八百六十八年六月十九日發布ノ法律ノ規定ニ依リ利付公債ヲ募集シ公債證書ヲ發行スルコトヲ得

第二條 各聯邦ヨリ出師準備及戰爭ノ目的ノ爲メ豫納ノ方法ニ於テ聯邦國庫ニ拂ヒタル金額ハ本法第一條ニ定ムル方法ニ依リ之ヲ償還スヘシ

第三條 新ニ起リタル國債ノ利子及償還法ニ關シテハ千八百六十七年十一月九日發布法律第二條及千八百七十年四月六日發布法律第三條乃至第五條ノ規定ヲ適用シ紛失若クハ損滅シタル公債證書ニ付テハ千八百六十七年十一月九日發布法律第六條ノ規定ヲ適用スヘシ

第四條 發行シタル公債證書ニ對スル利子法ヲ規定シ及其一年ヲ超ユヘカラサル融通期限ヲ規定スルコトハ之ヲ聯邦宰相ニ委任ス但シ利子法ノ規定施行ニ關シテハ之ヲ公債行政ニ委任ス聯邦宰相ノ命令ヲ以テ此公債證書ノ額ハ既ニ流通スル公債證書ヲ償還スルノ限ニ於テ再發行スルコトヲ得

其他發行スヘキ公債證書ニ關シテハ千八百六十七年十一月九日發布法律第八條ノ規定ヲ適用ス

第五條 公債償還及其利子竝ニ公債證書ノ抽籤ニ要スル金額ノ支出ハ北獨逸聯邦ノ歲入ヲ以テ之ニ充テ其滿期ニ至ルマテ之ヲ聯邦行政ニ委任ス

第六條 此法律ノ施行ニ關スル計算ハ次回ノ召集ニ於テ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

軍事公債條例ハ同盟全軍ノ戰備命令ヲ發セラレタル後ニ至テ裁可公布セラレタルヲ以テ最初ノ軍費支出ハ此法律ニ由テ許サレタル公債募集前テ他ノ方法ヲ以テ假ニ之カ支拂ヲ爲サル可カラス則チ字

圖ハ此目的ヲ以テ其財實三千万「ターレル」ノ銀貨ヲ同盟金庫ニ貸出シ以テ其使用ニ供シ其他ノ同盟聯邦モ亦各其眞兵軍ニ對シテ相應ノ金額ヲ同盟金庫ニ貸渡セルヲ以テ差當リ極メテ容易迅速ニ必要ノ支出ヲ支拂フノ金額ヲ調備スルコトヲ得タリ然レトモ直チニ非常ノ軍費増加シ調達金額ノ不足ヲ豫期セラル、ニ至リ茲ニ八月一日ヲ以テ更ラニ大金額ヲ調達セサル可カサルノ必要ニ逢著セリ

第一回發行開戦ノ後直接資本市場ニ起ルヘキ金融逼迫ト軍費金額ノ莫大ナルトハ普通ノ公債募集方法ヲ應用スルニ於テ頗ル困難ノ狀況ヲ致セリ依テ千八百七十年七月二十四日勅令ヲ發シ軍事公債ニ由テ調備スヘキ第一回ノ募集金額ヲ一億「ターレル」ト定メ同月二十六日募集ノ告示ヲ爲シ同月三十日募集價格其他ヲ定メテ募集ニ著手セリ其條件左ノ如シ

- 一 募集總額 一億「ターレル」
 - 一 利子(一箇年) 百分ノ五
 - 一 募集方法 普通
 - 一 募集價格(額面百「ターレル」ニ付八十八「ターレル」)
 - 一 申込期日 千八百七十年八月三日、四日
- | | | | |
|-----|-------|-----|---------|
| 第一回 | 八月十日 | 第二回 | 九月一日 |
| 第三回 | 十月一日 | 第四回 | 十一月一日 |
| 第五回 | 十二月一日 | 第六回 | 十二月二十八日 |

但レ九月一日マテニ拂込ヲ完済シタル者ニハ利息計算ニ於テ一定ノ特典アリ

然ルニ募集ノ結果ハ頗ル良好ナラスシテ申込期日迄ノ申込高ハ左ノ如クナルニ過キサリキ

- 一 應募者總數 五〇、三五三
- 一 應募總金額(額面) 六八、三三三、三〇〇
- 一 應募總價格 六〇、一二四、五〇四

内譯

- 申込證據金 五、五九〇、八八七
- 八月十日拂込高 三五、四七一、二五三
- 九月一日拂込高 九、二三七、一五〇
- 十月一日拂込高 四、〇四八、八八一
- 十一月一日拂込高 三、四六四、六七四
- 十二月一日拂込高 一、九九四、七二八
- 同月二十八日拂込高 三二六、九三〇

備考

右總計金ノ外尙ホ三十一「ターレル」ノ過收金アリ是ハ募集ニ應シタルモ其拂込ヲ爲サ、ルモノ二口アリテ此二枚ノ公債證書ヲ各百「ターレル」以上ニ賣却シタルト其拂込ヲ爲サ、ルカ爲メ應募證據金一枚ニ付十「ターレル」ヲ受收シタルトニ由リ生シタルモノナリ依テ募集ノ總計

金額ハ合計六千十二万四千五百三十五「ターレル」ナリトス

唯右ノ内全額一時拂込ノ多額ニ上リシハ財政上頗ル便宜ヲ與ヘシモノ、如シ即チ以上應募高ノ内一時拂込ニ係ル分左ノ如シ

一應募者數

三四、二五〇

一應募總金額(額面)

五二、〇〇一、四〇〇

一應募總價格

四四、八八一、二三三

然レトモ前記ノ如ク應募額ハ募集額一億「ターレル」ニ對シ僅ニ六千八百三十万「ターレル」ニ過キス依テ千八百七十年十月二日附ノ勅令ヲ以テ一億「ターレル」ノ募集金額ヲ減シテ八千万「ターレル」ト爲セシモ尙二千七十万「ターレル」ノ不足アルヲ以テ已ムヲ得ス之ヲ銀行「シンデケート」ニ引受ケシメタリ其條件及結果左ノ如シ

一銀行引受價格(額面百「ターレル」ニ付)

九五^{ターレル}

一同手數料(同)

九^{ターレル}

一賣出價格(同)

九六

一政府收入額

一九八二〇、二五〇

以上記スル所ニ依リテ之ヲ見ルニ公債募集ノ爲メ實際政府ノ收入シタル金額左ノ如シ

普通募集

六八、三三三、三〇〇

實際收入額

六〇、一二四、五三五

賣却高

二〇、七〇〇、〇〇〇

一九八二〇、二五〇

合計

八九、〇三三、三〇〇

七九、九四四、七八五

以上五分利付公債ヲ以テ募集シタル八千万「ターレル」ノ金額ヲ千八百七十年七月二十一日附法律ヲ以テ定メタル募集總額一億二千方「ターレル」ヨリ差引クトキハ尙ホ殘額四千万「ターレル」ヲ餘スヲ以テ此殘額ハ假ニ利息附短期國庫證券ヲ發行シ以テ之ヲ調備セリ

第二回發行、以上述フルカ如ク公債應募不足額四千万「ターレル」ハ一時短期國庫證券ノ發行ニ由リテ之ヲ調達シタルモ其後下文ニ記述スルカ如ク重テ千八百七十年十一月二十九日附法律ヲ以テ定メタル公債ヲ募集シタルトキ四百二十四万七千五百「ターレル」ノ募集缺額ヲ生シ之ニ對シ復タ短期限ノ國庫證券ヲ發行スルノ必要ヲ生シ且ツ之ト同時ニ千八百六十七年十一月九日附法律ニ基キ海軍ノ爲メニ又新ニ一百九十七万一千六百「ターレル」ノ國庫證券ヲ發行シ斯ノ如クニシテ國庫證券ノ發行高ハ漸々増加セシヲ以テ遂ニ千八百七十年七月二十一日附法律ニ基キ發行シタル短期國庫證券ノ一部ヲ公債ニ引直シ以テ金融割引ノ市場ニ於ケル困難ヲ救済セサル可ラサルニ至レリ此目的ヲ達スルカ爲メニ最初募集シタル公債額八千万「ターレル」ノ上ニ更ラニ千八百七十一年一月二十七日附勅令ヲ以テ二千五百万「ターレル」ヲ増加シ合計一億五百万「ターレル」ト爲セリ之ヲ第二回ノ發行トナス此二千五百万「ターレル」ハ國庫證券ノ引換ニ充タルモノニシテ爲メニ戰爭ニ由テ發行シタル同盟國庫證券ノ高ヲ一千五百万「ターレル」ニ減却スルコトヲ得タリ然レトモ千八百七十年十一月二十九日附法律ヲ以テ募集シタル公債ノ缺額ヲ調備スルカ爲メ又更ニ引換期限一箇年ノ國庫證券四百二十四万七千五百「ターレル」ヲ發

行シタルヲ以テ前後通計スレハ短期國庫證券ノ高ハ合シテ殆ント二千万「ターレル」トナレリ是レ則チ

千八百七十年七月二十一日附ノ法律ヲ實施スルノ始ニ當リ略ホ豫期シタル國庫證券ノ發行高トナス
始メ四千萬「ターレル」ノ金額ヲ假ニ調備スルカ爲メ發行シタル短期國庫證券ノ引上ニ關スル始末ノ大
要ヲ述レハ千八百七十一年三月一日及同年四月一日ニ滿期トナルヘキ國庫證券ノ高三千万「ターレル」
ノ内僅カニ五百万「ターレル」ノ新證券ヲ發行シ殘額二千五百万「ターレル」ノ國庫證券ハ全ク之ヲ引上ケ
タリ又同年四月一日ニ尙ホ殘留シタル國庫證券一千五百万「ターレル」ハ同年七月一日及同年八月一日
ニ至テ滿期トナレリ此證券ノ引上ケ買收ハ更ニ新證券ヲ發行スルコトナク總テ北獨逸同盟ニ於テ佛國
ヨリ受取リタル戰費賠償金ヲ以テ之ヲ爲セリ左レハ千八百七十年七月二十一日附法律ニ基キ發行シタ
ル短期國庫證券ハ茲ニ至テ全ク其跡ヲ絶テリ

國庫證券ヲ以テ現金ヲ得ルニ就テハ其間頗ル便宜ノ事情アリキ則チ大金額ノ急速募集ヲ要スル場合ニ
當リ伯林府貸付金庫(是ハ千八百七十年七月二十一日法律ヲ以テ設立シ軍事公債募集ヲ容易ナラシム
ルノ目的ニ出テタルモノニシテ全国各地ニ設立セリ戰時ノ如キ非常ノ際ニ設クルヲ例トス)ヲシテ急速
ノ貸出ヲ爲サシムルコトヲ得タルハ其最モ著シキモノニシテ之レカ爲メ當ニ急速必要ノ金額ヲ調備ス
ルコトヲ得タルノミナラス同時ニ亦千八百七十年七月二十一日附貸付金庫條例第一條ノ主旨ニ依リ
戰爭ノ爲メ佛國ニ向テ流出シタル通貨ノ缺乏ヲ填補セシムヘキ通貨代用ノ融通物ヲ社會交通ニ與ヘ以
テ大ニ金融市場ノ逼迫ヲ救護スルコトヲ得タリ又タ國庫證券二千五百万「ターレル」ノ引上ケ買收ハ佛
國ヨリ戰費賠償金ヲ受取タルト貸付金庫ニ於テ其補助ヲ爲シタルトニ由リ大ニ之ヲ容易ナラシムルヲ

得タリ

國庫證券ノ高ヲ減シテ一千五百万「ターレル」トナシ隨テ千八百七十年ノ五分利付同盟公債ノ高ニ於テ
更ニ二千五百万「ターレル」ヲ増加スルカ爲メ千八百七十一年一月二十七日附法律ニ基キ發行シタル公
債證書ハ同年三月四月五月ノ三箇月間ニ漸々之ヲ交付シ以テ二千四百七十五萬「ターレル」ノ平均價額
ニ對シ確定ノ金額二千四百四十二萬四千八百六十二「ターレル」二十二「グロツセン」六「ペンニー」ヲ收入
セリ而シテ此實收額ノ二千五百万「ターレル」ニ對スル差額即チ五十七萬五千二百二十七「ターレル」七「グ
ロツセン」六「ペンニー」ノ不足額ハ此間ニ起リタル關係ノ變更ニ依リ全ク填補スルヲ得ルコトナレ
リ

公債發行總額、千八百七十年七月二十一日附法律ニ基キ行フタル公債募集ハ初メ假ニ國庫證券ヲ發行
シタル事ト後チ全ク之ヲ引上ケ買收シ盡シタル事トヲ措テ問ハサレハ單ニ五分利付公債ノ發行タルニ
止ル共成績左ノ如シ

募集方法	額	面	實收額
甲、普通募集法	六八、三三三、三〇〇	六〇、一二四、五三五	
乙、初回賣却	二〇、七〇〇、〇〇〇	一九、八二〇、二五〇	
丙、次回賣却	二四、七五〇、〇〇〇	二四、四二四、八六二	
總計	一一三、七七三、三〇〇	一〇四、三六九、六四七	

之ヲ千八百七十年七月二十一日附法律ヲ以テ定タル募集總額一億二千万「ターレル」ニ對スレハ尙ホ

ノ不足ナリトス

一五六三〇三二五二

百九十六

第二千八百七十年十一月二十九日附法律ニ依ルモノ(國庫債券)

之ヨリ先キ千八百七十年十一月二十九日軍費追加ニ關スル法律ノ制定アリ此法律ハ左ニ掲クルカ如ク
千八百七十年七月二十一日附法律ヲ以テ定メタル一億二千萬「ターレル」ニ更ニ一億「ターレル」ヲ追加シ
テ二億二千萬「ターレル」トナスモノナリ且ツ此法律ニ依テ發行スル國庫證券ニ對シテハ千八百七十年
七月二十一日附法律第四條ニ於テ定メタル一箇年ノ流通期限ヲ延長シタルノミナラス其證書及利札共
ニ其全部又ハ一部分外國ノ貨幣本位ヲ以テ金額ヲ記載シ或ハ一定ノ割合ヲ定メテ内國外國ノ貨幣本位
ヲ同時ニ記載シ而シテ之ヲ外國ノ金融市場ニ流通セシムルヲ得ヘキモノトセリ
軍費ノ追加支出ニ關スル法律(千八百七十年十一月二十九日)

第一條 聯邦宰相ハ戰爭ノ爲ニ生スル陸海軍行政ノ非常支出ヲ支辨スルカ爲メ千八百七十年七月二十
一日發布ノ法律ニ依リ確定セラレタル金額一億二千萬「ターレル」ヲ超過シ更ニ一億「ターレル」ノ追加
額ヲ信用ノ途ニ於テ支出シ此目的ニ向テ右一億「ターレル」ヲ調定スルニ必要ナル豫定額ニ於テ千八
百六十八年六月十九日發布法律ノ規定ニ依リ公債ヲ募集シ證券ヲ發行スルコトヲ得
第二條 證券ノ融通期限ヲ一年以上ニ於テ定ムルコトヲ得及聯邦宰相ノ命令ニ依リ此證券ニ向テ特別
ノ利札ヲ附加スルコトヲ得
發行シタル公債證券及證券並之ニ屬スル利札ハ之ヲ一括シ若シクハ分割シテ外國ノ貨幣ニ向テ賣却

シ又ハ一定ノ價格ニ依リ同時ニ内國貨幣ニ向テ賣却シ或ハ之ヲ外國ニ於テ賣却スルコトヲ得

價格ヲ確定シ或ニ外國ニ發行スルコトニ關スル細則ハ之ヲ聯邦宰相ニ委任ス

其他公債及證券ニ關シテハ千八百七十年七月二十一日ノ法律ヲ適用ス

此權限ニ基キ政府ハ千八百七十年十二月十三日及千八百七十一年一月六日ノ告示ヲ以テ額面高一億二
百萬「ターレル」ノ五分利付國庫債券ヲ二回ニ發行スルコトヲ決定セリ此國庫債券ハ同時ニ内國銀貨本
位並英國金貨本位ヲ以テ發行シ其割合ヲ英貨一磅ニ對シテ六「ターレル」二十四「グロッセ」ト定メ各一回
ノ發行高ヲ五千萬「ターレル」即チ七百五十磅トナシ千八百七十年及千八百七十一年ノ二回ニ發行ス
ルコトヲナセリ而シテ此國庫債券ハ左ニ掲グル條件ニ基キ銀行「シンジケート」ニ於テ之ヲ引受ケタリ
但シ英國通貨ヲ以テ發行シタル證券ニ對シテ支拂フヘキ英國ノ印稅額ハ之ヲ北獨逸同盟金庫ノ負擔トナ
セリ其成績左ノ如シ

募集總額		第 一 回	第 二 回
獨 貨	英 貨		
五、〇〇〇、〇〇〇	七、五〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	七、五〇〇、〇〇〇
内英貨ノ分			
獨 貨	英 貨		
二、五、五、一七、〇〇〇	三、七、五、二、五〇〇	二、一、四、九、四、八〇〇	三、一、六、一、〇〇〇

百九十七

利 子(一箇年)	百分ノ五	同
發行價格(銀行引受)	九二%	九五%
證書種類	獨貨ノ分	同
	英貨ノ分	同
償 還 期 限	最 長 期 限 五 箇 年 (一八七五年十一月一日迄但シ六箇月前ニ全部又ハ一部償還ヲ告示ス)	同
拂込(五回)一回分	一〇、二〇〇、〇〇〇	同
實 際 收 入 額	四七、一七五、〇〇〇	四八、五七七、五〇〇

以上二回ノ募集ニ係ル實際收入額ハ合計九千五百七十五万二千五百「ターレル」ニシテ之ヲ一億「ターレル」ノ規定總額ニ對比スレハ尙ホ四百二十四万七千五百「ターレル」ノ不足額ヲ生セリ故ニ此不足額ニ對シテハ千八百七十一年一月二十八日ノ告示ヲ以テ同年二月一日ヨリ以後滿一箇年間ノ流通期限ヲ有スル五分利付國庫證券ヲ發行シ同年四月及五月ノ兩月中ニ之ヲ賣却セリ此短期國庫證券ハ後チ佛國ノ戰費賠償金中ヨリ北獨逸同盟ノ受取リタル金額ヲ以テ之カ辨濟ヲ爲セリ

以上二回發行ノ國庫債券ハ佛國ヨリ受領シタル戰費賠償金ノ内ヲ以テ第一回ノ分ハ千八百七十一年六月二十二日ノ告示ヲ以テ翌七十二年一月一日第二回ノ分ハ千八百七十一年七月十六日ノ告示ヲ以テ翌

七十二年二月一日孰レモ償還セラレタリ

第三 千八百七十一年四月二十六日附法律(未實施)

左ニ掲グルカ如ク千八百七十一年四月二十六日戰費ニ關スル第三ノ法律制定セラレタルモ千八百七十一年五月二十二日ノ告示ニ由テ一回ノ高一千万「ターレル」ノ國庫證券ヲ前後三回作製シタルニ止マリ爾後佛國ヨリ其戰費賠償金ヲ時々拂込タルカ爲メ他ノ金額ヲ要セサリシハ勿論已ニ作製シタル此證券サヘモ還ニ之ヲ發行スルノ必要ナキニ至レリ

戰爭ノ爲ニ生シタル非常經費ヲ支出スヘキ追加額ニ關スル件 (千八百七十一年四月二十六日)

第一條 聯邦宰相ハ戰爭ノ爲ニ生シタル北獨逸聯邦ノ非常經費ヲ支出スルカ爲ニ千八百七十年十一月二十九日及同年七月二十一日附法律ニ依リ確定シタル一億二千方「ターレル」及一億「ターレル」ノ金額ヲ超過シ更ニ一億二千方「ターレル」ノ追加額ヲ信用ノ途ニ於テ支辨シ此目的ニ向テ右金額ヲ測定スルカ爲ニ要スル豫定額ニ於テ千八百六十八年六月十九日發布ノ法律ノ規定ニ依リ國債ヲ募集シ證券ヲ發行スルコトヲ得

第二條 (前記千八百七十年十一月二十九日附法律第二條ニ同シギヲ以テ之ヲ略ス)
以上記スル所ニ依リ公債及國庫債券發行高ヲ總計シ千八百七十一年末ニ於ケル未償還高ヲ示セハ左ノ如シ

公 債	額	面	實際收入額
第 一 回	八九、〇三三、三〇〇	七九、九四四、七八五	

第二回	二四、七五〇、〇〇〇	二四、四二四、八六一
合計	一一三、七七三、三〇〇	一〇四、三六九、六四七
國庫債券		
第一回	五一、〇〇〇、〇〇〇	四七、一七五、〇〇〇
第二回	五一、〇〇〇、〇〇〇	四八、五七七、五〇〇
合計	一〇二、〇〇〇、〇〇〇	九五、七五二、五〇〇
總計	二二五、七七三、三〇〇	二〇〇、一二二、一四七
第四 其他ノ財源		

以上述フルカ如ク千八百七十年七月二十一日附及同年十一月二十九日附法律ニ基キ信用方法ニ由テ調備シタル處ノ公債額ハ合計二億十二万二千二百「ターレル」餘ナリトス而シテ戰費ニ使用シタル金額ハ獨リ此公債額ノミニ止ラス尙ホ千八百七十一年中貸付金庫ニ於テ收入シタル利益高八十一万七千七百九十四「ターレル」二十六「グロッセン」九「ペン」ニヒ及軍費獻納金三百九十四「ターレル」十二「グロッセン」モ亦之ニ使用セラレタリ

貸付金庫ハ前述シタル如ク素ヨリ一時ノ便宜上設立セラレタルモノナリト雖モ戰時ニ於テ一時ノ急需ニ應レ巨額ノ資金ヲ調達シテ財政ヲ助ケ又戰時正貨流出ノ爲メ代用流通券ヲ發行シテ經濟社會ニ利益ヲ與ヘタル等其功少カラス同金庫ハ千八百七十一年限廢止セラレシカ同年末ニ於テ同金庫カ有セル正金高ハ二千五百九十六万二千七百九十四「ターレル」二十六「グロッセン」九「ペン」ニヒニシテ貸付金庫證

券ヲ買收スルカ爲ニ帝國國債管理廳ニ送付スヘキ現金高ハ二千五百十五万千「ターレル」ナリキ左レハ此差ニ由テ得タル貸付金庫ノ純益高ハ八十一万七千七百九十四「ターレル」二十六「グロッセン」九「ペン」ニヒニシテ此純益高ハ千八百七十年七月二十一日附法律第六條ニ從ヒ同盟金庫(舊北獨逸同盟ニ屬スル各聯邦)ノ所有ニ歸スヘキモノナレハ同盟金庫ニ於テ之ヲ取立テ千八百七十一年度ノ收入ノ繰込ミタリ北獨逸同盟ノ戰費ヲ支拂フニ此純益金ヲ使用スルハ最モ正當ノ理由アルモノトス何トナレハ貸付金庫ノ設置ハ元來戰爭ニ由テ北獨逸同盟カ施行シタル臨機處分ノ一ニ屬シ且ツ此純益金ノ大部分ハ舊伯林貸付金庫ヨリ同盟公債證書ヲ抵當トシ北獨逸同盟金庫ニ臨時貸金ヲ爲シタルモノニ對シ北獨逸同盟ノ軍費基金中ヨリ支拂ヘタル利息ヨリ成立スルモノナルヲ以テナリ

以上述フル所ノ公債募集金、貸付金庫利益金及軍費獻納金ヲ以テ支拂フコト能ハサル北獨逸同盟ノ戰費過額ハ巴里市ニ課シタル軍事賦款及條約ニ基キタル戰費賠償金中同盟聯邦ノ受取ルヘキ配當金額ト北獨逸同盟ニ屬セル資金ヲ一時利殖的ニ運用シタルヨリ生シタル利息金收入額トヲ以テ之ヲ支拂ヒタリ

第二章 戰費賠償金ノ受領及其使用

第一節 債金ノ受領

千八百七十一年二月二十六日「ウエルサイ」ニ於テ講和假條約ヲ締結セシヨリ佛國ハ獨逸帝國ニ對シ五十億法ヲ支拂フヘキ義務ヲ負ヘリ但其内十億法ハ千八百七十一年中ニ其殘額ハ假條約實施後三箇年間即チ千八百七十四年三月二日マテ完済スヘキモノトス

其後千八百七十一年五月十日ノ「フランク、フォールト」媾和條約ニ據リ右ノ支拂期限ヲ下記ノ如ク定メタリ即チ

- 巴里政府ノ義務者再定後三十日間
- 千八百七十一年末迄
- 五〇〇、〇〇〇、〇〇〇^法
- 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
- (「エルザース、ロートリンゲン」ノ鐵道ノ價格ヲ三億二千五百萬法トシテ算入ス)
- 千八百七十二年五月一日
- 五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
- 千八百七十四年三月二日
- 三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
- 計
- 五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

但シ期限前ニ支拂ヲナスヲ妨ケス

斯クテ二十億法ヲ支拂ヒタル後子殘餘三十億法ニ關シ千八百七十二年六月二十九日ニ於テ特別條約ヲ締結セリ今此條約ニ據レハ五億法ハ二箇月後ニ又五億法ハ千八百七十三年二月一日ニ而シテ其殘額ハ月賦ニテ千八百七十五年三月一日マテ支拂フヘキコトニ定メタリ

然ルニ佛國政府ハ媾和條約ノ爲メニ俄然負擔シタル巨額ノ負債ニ配慮シタルト竝ニ尙ホ其額分ニ屬スル地方ヲ一日モ早ク回復センコトヲ熱望シタルト依リ償金殘額ヲ勉メテ速カニ完済センコトヲ獨逸政府ニ申込タリ獨逸政府ハ千八百七十三年三月十五日ノ談判ニ依リ右ノ申込ヲ容レ以テ其遺殘セル金額中ニ是マテ支拂滿期トナリタル利金ヲ込メ之ヲ四期ニ分チ即チ千八百七十三年六月五日同七月五日同八月五日及同九月五日ニ拂フヘキコトヲ約定セリ而シテ佛國ハ此支拂期限ニ從ヒ千八百七十三年九月五日ヲ以テ獨逸國ニ對スル償金全部ノ支拂ヲ完了セリ即チ其成績ノ大要左ノ如シ

佛國ハ五十億法ノ内千八百七十三年三月マテニ支拂ヒタル金高

右金高ノ外利子

三、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇^法

二、七七八、〇〇〇、〇〇〇

小計

即チ

三、七七八、〇〇〇、〇〇〇

一、〇〇七、四六六、〇〇〇^法

右ノ外巴里府ノ税金高ニ億法即チ

佛國ニ於テ徵收シタル税金ノ純收入

五、三、五〇五、八六五

一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇

合計

右ノ内「エルザース、ロートリンゲン」鐵道買上金三億二千五百萬法即チ下記ノ金高

△八六、六六六、六六六

九八九、三〇五、八六五

右ノ外千八百七十三年三月二日迄收入額

四〇六、〇〇〇、〇〇〇

佛國償金收入總額

一、三九五、〇〇〇、〇〇〇

第二節 償金ノ使用

佛國ヨリ徵收セル戰費賠償金ノ使用法及分配法ニ關シ獨逸政府カ千八百七十二年三月十三日ヲ以テ帝國國會ニ提出セル法律案左ノ如シ

佛國戰費賠償金ニ關スル法律案

獨逸國皇帝等朕維廉茲ニ聯邦議院及帝國國會ノ協賛ヲ經獨逸帝國ノ名ヲ以テ左ノ法律ヲ制定ス

第一條

佛國ヨリ徵收スヘキ巨額ノ戰費賠償金ノ内三千九百二十五万九百五十「ターレル」ハ「エルザス、ロートリンゲン」地方ニ於ケル要塞ノ修築費、充備費、裝備費竝ニ該地衛戍兵所在市町ノ兵營陸軍病院及陸軍倉庫ノ建築費トシテ其使用方ヲ帝國大宰相ニ委任シ内千五百八十一万七千三百二十八「ターレル」ハ千八百七十二年未マテニ支出セシム

第二條

佛國トノ戰爭ニ因リテ生シ又ハ該戰爭ト直接ノ關係ヲ有スル左記ノ出費ハ前北獨逸聯邦各國、巴威里國、威丁堡國、巴丁國及南ヘン國ノ共同出費ト見做シ佛國ヨリ徵收スル戰費賠償金ヲ以テ該諸國ニ補給スヘシ

一 諸要塞裝備及ヒ裝備撤去費

二 攻城機械費

三 戰爭ノ爲メニ生シタル海軍豫算外支出竝ニ砲兵試驗委員ノ使用ニ供スル射的場敷地購入及修築費金百三十七万五千「ターレル」

四 臨時海岸防衛費及河川封鎖費

五 戰爭ニ關係シタル獨逸諸國領域ノ爲メ平時ニ有益ナラザリシ戰時必要ノ鐵道敷設費及修築費、占領鐵道ニ於テ戰時中備付ケタル運轉機械費(但シ右鐵道ノ利益金ヲ除キタル殘額)竝ニ防衛ノ爲メ破壊シタル道路修繕費

六 軍用電線ニ屬セサル電線架設費竝ニ其電信取扱費但シ右電線收入金ヲ除キタル殘額

七 佛國ニ於テ一時施行セル行政事務及千八百七十一年年末ニ至ルマテ執行セル「エルザス、ロートリンゲン」地方鐵道管理事務ニ因リ生シタル費用ニシテ佛國ニ於テ徵收シタル租稅、軍事賦款及該地方鐵道收入ニ依リ補填シ能ハサル經費

八 大本營費

九 千八百七十年及同七十一年中聯邦共同事務ノ爲メ帝國中央金庫ヨリ支辨シタル經費金二十万六千三百三十九「ターレル」

十 千八百七十一年七月一日以降ノ陸軍徵發費、佛國領域占領ノ後チ同年七月一日以後繼續設置シタル野戰郵便費、右領域ノ軍費電線管理費「エルザス、ロートリンゲン」地方ニ駐屯セシメタル軍隊ノ兵員増加及右軍隊ニ豫算外平時支給ヲ爲シタル爲メ千八百七十一年下半年間ニ生シ同年ノ平時豫算總額ヨリ支辨スルコトヲ得サリシ支出増加額竝ニ「エルザス、ロートリンゲン」地方駐屯指令部員、軍務部員及軍隊ニ増給又ハ臨時手當ヲ給與シタル爲メ千八百七十二年中ニ生シタル經費

十一 千八百七十年ヨリ同七十一年ニ至ル戰爭ノ爲メ千八百七十一年六月二十七日ノ法律ニ依リ廢兵竝ニ將校官吏、兵卒ノ遺族ニ支給スヘキ年金、年金増金、教育費及補助費

關係諸國ニ於テ第一項乃至第七項ノ規定ニ從ヒ精算シタル金額ハ聯邦議院ノ精査確定ヲ受クヘシ帝國大宰相ハ右諸國ノ精算額ニ對シ内金前拂ヲ爲スノ權利アルモノトス

會計檢査院ハ右各國ニ對スル精査確定額ノ支給金支出方ヲ檢査スルノミナラス各國ニ於テ右金額ヲ成

規ノ用途ニ供シタルヤ否ヤヲ併セテ検査スルモノトス

第三條

左ニ掲クル收入金ニシテ第一條及第二條ノ規定ニ依リ又ハ特別ノ帝國法律ニ依リ又ハ帝國歲計豫算法ニ依リテ既往將來ニ其用途ヲ定メサルモノハ前北獨逸聯邦各國巴威里國威丁堡國巴丁國及南「ヘッセン」國ノ間ニ之ヲ分配スヘシ但シ分配ノ割合ハ徵收金額四分ノ三ハ戰時中ノ徵發ノ程度ニ從ヒ殘餘四分ノ一ハ千八百七十一年聯邦各國政費分擔金ノ割合ニ從フヘキモノトス

- 一 佛國ヨリ徵收スヘキ五十億「フラン」ノ戰費賠償金竝ニ右賠償金額ノ五分ノ三ニ對スル利息金
- 二 巴里市ヨリ徵收シタル軍事賦金二億「フラン」
- 三 佛國ニ於テ徵收セル租稅竝ニ別段ノ用途ニ使用セサリシ各地方ノ軍事賦金ノ内ヨリ右租稅及軍事賦金ヲ納メタル佛國各地ノ行政費ヲ差引キタル殘餘

軍事徵發ノ程度ニ從ヒ分配スヘキ金額ハ左ノ如シ

前北獨逸聯邦各國ノ分	一億七百六十七万九千二百二十五「マルレル」
巴威里國ノ分	千四百五十三万八千八百二十五「マルレル」
威丁堡國ノ分	四百三十四万五千四百五十「マルレル」
巴丁國ノ分	三百七十六万八千四百五十「マルレル」
南「ヘッセン」國ノ分	百八十八万九千九百七十五「マルレル」

第四條

陸軍省廳舎、人事局廳舎、伯林參謀本部廳舎、陸軍大學校々會、砲兵學校々會及工兵學校々會ノ取擴メ竝ニ陸軍幼年學校新設及取擴メノ爲メ金三百五十万「マルレル」ノ支出ヲ帝國大宰相ニ委任シ其内七十三万六千「マルレル」ハ千八百七十二年年々末マテニ支出セシム

右支出金ハ巴威里國ヲ除キ其他各國ノ第三條ニ掲ケタル分配額ノ内ヨリ支出スヘキモノトス

右證據トシテ朕自ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

伯林ニ於テ公布ス

千八百七十年 月 日

右ハ獨逸政府カ佛國ヨリ得タル戰費賠償金ノ使用ニ關スル方案ナリシト雖モ其後實際發表セラレタル法律トハ大ニ趣ヲ異ニスルモノアルヲ以テ左ニ「ゾートベール」氏ノ記スル所ニ依リ償金使用法ノ大要ヲ示サン

第一 獨逸帝國法律ニ據リ千八百七十三年三月迄ニ支出シタル諸般ノ金額ハ合計二億九千四百四十三万三千五百九十七「マルレル」ニシテ其内主要ナル費途及金額ハ左ノ如シ

- 船舶損害賠償金 五、六〇〇、〇〇〇「マルレル」
- 軍事損害補填金 三六、七〇〇、〇〇〇
- 「エルザス、ロートリンゲン」鐵道運轉資金 一八、四一二、三〇〇
- 特別軍功アル者ニ對スル賞勳年金 四、〇〇〇、〇〇〇
- 軍事金庫増加額 四〇、〇〇〇、〇〇〇

「エルザス、ロートリンゲン」城塞修繕費
及其他各種軍事費

八五、〇〇〇、〇〇〇

佛國領地占領費增加額

二四、〇〇〇、〇〇〇

第二 其他帝國法律ヲ以テ定メタル費途左ノ如シ

帝國廣兵基金

一八七、〇〇〇、〇〇〇

帝國宰相局ニ於テ諸般ノ目的ニ供シタル金高

四一、三〇一、二〇七

海軍擴張費

二九、〇〇〇、〇〇〇

帝國議事堂建築費

八、〇〇〇、〇〇〇

第三 其他千八百七十年ノ戰爭ノ爲メ募集シタル各種ノ公債及其他ノ軍費ハ北獨逸聯邦及南部各邦ニ各別ニ割當タル分頭額ノ内ヲ以テ之ヲ償還セリ千八百七十三年六月十九日代議士「ミクエル」氏ノ報告ニ據レハ總テ北獨逸聯邦ヨリ支出シタル金額ハ左ノ如シト云フ

軍隊補填費

一〇八、八四六、八一〇

負債償却費

五九八、三九一、九四二

北獨逸聯邦及南部獨逸國ニ就キ債金ノ配當ヲナスニハ彼此ノ比例ヲ取テ之ヲ確定セリ即チ其四分ノ三八軍事上ノ徵發高ニ割當テ殘ル四分ノ一ハ人口ノ數ニ割當テタリ而シテ舊北獨逸聯邦中ニ配當ヲナスニハ專ラ人口ノ割合ヲ以テ其標準トセリ

右ノ如ク軍費賠償ノ目的ヲ以テ諸般ノ費用ヲ支拂ヒタル後チ更ラニ遺殘シタル金高又各邦政府ノ隨意ニ使用スヘキ金高若干ナルヤ之ヲ知ルニ未タ充分ナル材料ヲ得ス然レトモ此種ノ事項ニ關シ千八百七

十三年十一月十七日學國大藏大臣カ下院ニ臨ミ述フル處ニ據レハ是マテ佛國債金ノ利餘ニシテ保管ニ係ル金額ノ内學國政府ニ計算書ニテ送付セラレタル金高千八百七十三年七月七日ニハ三千八百四万五千百十九「ターレル」同年十月十六日ニハ二千四百三十二万三千七百六十七「ターレル」ニシテ即チ合計六千二百二十六万八千八百八十六「ターレル」ナリト其他ノ聯邦政府ハ前記ノ配當法ニ據リ之ニ適應スル金高ノ支拂ヲ受ケタルナリ

帝國法律ヲ以テ規定シタル支出額ノ内一部ハ漸次正貨ヲ以テ支拂ラハレ又ハ一時利附ニテ投資セラレタルモノアリ帝國廣兵基金ニ關シテハ其利子收入ハ使用ノ目的ヲ以テ先ツ之ヲ基金ニ編入スト雖モ其他二三ノ基金ニアリテハ之ヨリ生スル利子ハ特別收入トシテ後來支拂計算ニ編入セラレヘシ
債金利餘額ノ内各邦ニ拂ヒ渡スヘキ金額ノ使用法ニ就テハ各邦政府及特^{スタツト}族會議自カラ之ヲ決定スルモノニシテ此等巨額ノ金高ハ豫メ之ヲ以テ臨時公債ノ償還ニ充ルカ若クハ鐵道企業ニ差向クヘキモノトセリ例之ハ學國ニ於テハ前述ノ金高六千二百萬「ターレル」又ハ二千萬「ターレル」及二千五百萬「ターレル」ヲ以テ此兩種ノ目的ニ供用シタルカ如シ

債金ノ内帝國宰相局ニ屬スル金高ニ係ル一時投資ノ方法ヲ證明セシカ爲メ茲ニ帝國宰相局長官カ之ニ關シテ述ヘタル説明ヲ引用セン即チ其説明ニ據レハ千八百七十三年六月二十一日ニ於テ約ネ一億五千萬「ターレル」ヲ利附ニテ投下シタルモノナリ但シ此内二千六百五十三万九千「ターレル」ハ獨逸國負債證券二千八百八十三万六千「ターレル」ハ政府保證ノ特權附負債證券二千四百五十三万二千「ターレル」ハ其他ノ鐵道特權附負債證券二百四十六万「ターレル」ハ地方證券二百八十四万九千「ターレル」ハ抵當證書

ニ及五百九万五千「ターレル」ハ外國基金ニ投資シ其他七千二百万「ターレル」ハ倫敦及「ロンドンバルド」ノ長期拂爲替券ノ買入レニ差向ケタリ加之ナラス巨額ノ金高ハ帝國ノ計算ニテ鑄造シテ未タ流通ニ差出サ、ル帝國金貨ノ鑄造及貨幣鑄造用金地金ノ買入レ又ハ銀貨ノ回收ニ供用セリ
 廢兵基金ニ關スル法律ハ其第二條及第三條ニ於テ此基金ニ充ツヘキ金額投下ノ法方ニ就キ左ノ規程ヲ設ケタリ

右金額ノ投下ハ左ニ掲クル利附負債證書ニ就キ之ヲ爲スヘキモノトセリ

(甲) 無記名又ハ無記名ニテ何時ニテモ書替ヘヲナシ得ヘキ若クハ債權者ニ於テ償還期限ヲ定メサルモノ

(乙) 左記ノ種類ノ負債證書中ノ一種ニ屬スヘキモノ

(イ) 法律上ノ權力ヲ以テ發行シタル帝國若クハ獨逸聯邦ノ負債證書

(ロ) 帝國若クハ聯邦ニ於テ法律上利子ノ保證ヲナシタル負債證書

(ハ) 獨逸國ニ於テ地債償還ノ媒介ヲナスカ爲メニ設置セル地債償還銀行ノ地債證券

(ニ) 獨逸國地方團體(州郡町村等)ノ負債證券ニシテ規定ノ償還ヲナスヘキモノ

千八百七十六年七月一日マテハ右ノ金高ヲ以テ他邦ノ負債證書帝國若クハ聯邦ノ國庫證券ニ投下シ又ハ右法律ノ規程ニ據リ飽マテ投資ニ適當ト認ムル證券ニ抵當貸附ヲナシ又ハ內國爲換券若クハ金貨ヲ以テ支拂フヘキ外國爲換券若クハ獨逸國鐵道會社ノ特權附債券ノ買入レヲナスヲ得タリ

第三章 債金ノ獨逸國ニ及ホセル結果

獨逸國ハ佛國ヨリ債金トシテ十三億九千五百万「ターレル」ヲ受取リタルカ爲メ其財政上竝ニ經濟上ニ及ホセル結果如何ニ關シ「ゾートベール」氏ノ論スル所其要ヲ得タルモノアルヲ以テ左ニ之ヲ抄録セン

第一節 幣制改革ノ實施

抑モ獨逸國カ銀貨本位ヲ一轉シテ金貨本位トナシ而カモ此改革ノ實行ヲシテ勉メテ速カニ且ツ充分ナラシメントノ希望ヲ有シタルヤ久シ然リト雖モ實際貴金屬ノ流通高四億五千万乃至五億「ターレル」若クハ其以上ヲ有スル大國ニ於テ一般ニ及ホスヘキ本位竝ニ貨幣ノ變革ヲ企テ速カニ其實效ヲ舉ケントスルカ如キハ特ニ財政上ノ一大難事タリ

夫レ一方ニハ金ノ採掘高漸次ニ其量ヲ增多シ一方ニハ銀ノ需用年毎ニ増大シテ其市場ニ顯ハル、毎歲平均產出高ヨリモ多量ノ銀ヲ東亞ニ輸送セシ時代ニ於テハ金貨本位設定ノ計劃モ亦容易ニ世ノ贊成ヲ博セシ處ナルヘント雖トモ千八百六十六年以降ニ及ンテハ其景勢頓ニ一變シ 近來獨逸國貨幣問題ニ就キ勸精研究シタル學者モ諸般ノ困難ニ遭遇シテ百方之ヲ避クルノ方便ヲ講シ本位問題ヲ以テ專ハラ實際家ノ手ニ委スルニ至レリ然ルニ此等ノ人カ本問題ノ關スル區域非常ニ廣大ニシテ其費用ノ如キ至大ノ關係ヲ有スルモノナルヲ明示シタル以來世ノ學士論客モ亦此說ニ服スルニ至レリ斯ノ如キノ狀況ナルヲ以テ之ヲ觀レハ千八百七十年乃至千八百七十一年ノ戰爭微リセハ獨逸國ハ今日尙ホ幣制改革準備ノ時代タルヤ必セリ佛國ノ債金ヲ支拂フニ方テヤ佛國及他國ノ金貨又ハ金貨ニ準當スヘキ爲替券ヲ以テシタルカ故ニ獨逸國ハ夥多ノ金貨ヲ新鑄スルニ當リ容易ニ之レカ元料ヲ得タルノミナラス臨時

歳入十三億九千五百万「ターレル」アリタルニ依リ本位移轉時代ニ於ケル利子ノ損失竝ニ銀價ノ低落及
 合法銀貨回收ノ際多クノ幣種ニ非常ナル變損ヲ來シタルニ由リ之ヨリ生スル多額ノ損害其他總テノ費
 用ハ比較的容易ニ處辨セラル、ヲ得タリ曾テ或ル一大國ニ於テ經歷シタル最モ廣大ニシテ最モ困難ナ
 ル事業ノ一タル幣制改革ヲモ今ヤ獨逸國ハ僅々タル短日月ノ間ニ之ヲ完結シタルカ如キ獨逸國ノ造幣
 局ニ於テ二年間ニ三億四千万「ターレル」以上ノ價格アル金貨ヲ帝國ノ計算ニテ鑄造シタルカ如キ又之
 ト同時ニ諸多ノ銀行ノ證券ニシテ小額煩雜ニ堪ヘサルモノヲ排除シ及ヒ紙幣高ノ制限ヲ決定シタルカ
 如キハ皆是レ佛國債金ノ賜ナリト謂ハサルヲ得ス若シ此債金ヨリ得タル直接ノ幫助アルニアラスンハ
 焉シテ能ク七十萬「封度」以上ノ金貨ヲ鑄造シ若クハ本位移轉ノ時代ニ於テ新鑄金貨ノ再輸出ヲ防遏ス
 ルヲ得ンヤ又如何ニ一致經營シタル獨逸國ノ幣制改革ト雖モ其費用ノ點ニ於テ靜カニ好時機ノ到ルヲ
 待ツカ若シクハ好時機ニ遭遇スルモ只徐々ニ之カ實施ヲナスカ又ハ復本位ト相關聯シテ之ヲ行フノ外
 アラサリシナラン

第二節 佛國債金ハ獨國民ヲシテ苛税ノ負擔ヲ免レシメタリ

獨逸國カ佛國ト媾和條約ヲ締結スルニ方リ若シ巨額ノ債金ヲ領收スルノ條件ナクシテ其局ヲ結ハンカ獨
 逸帝國及各邦ノ豫算ハ大ニ膨脹シ國民ノ負擔額ニ加重スヘキハ火ヲ見ルヨリモ明ナリ夫レ債金十三億九
 千万「ターレル」ノ內帝國議會ノ協賛ヲ經タル諸般ノ金高例之ハ賞勳年金、戰時船舶ノ損害賠償額、エルザ
 ス、ロートリンゲンノ鐵道ニ係ル諸入費等ハ當初ヨリ之ヲ控除シ得ヘキモノトシ尙其他幾多ノ費用中刪
 減シ得タルモノアリトスルモ特ニ戰爭ノ際募集シタル公債ニ對シ漸次支拂フヘキ利子軍隊補充ノ目的ヲ

以テ募集スヘキ新公債ノ利子城塞海軍其他軍事上ノ目的ニ供スル費用竝ニ廢兵戰死者ノ寡婦孤兒ニ與
 フル恩給諸費及或種類ノ戰事損害賠償金ニシテ不當ノ刪減ヲナサ、ル以上ハ除却シ能ハサルモノ、類
 ハ到底避クヘカラサルノ費用ナリトス其結果シテ若干ナルヘキヤ容易ニ算定スルヲ得スト雖モ思フニ
 年々ノ支出額ハ少クトモ五千万「ターレル」以上ヲ要スルナルヘシ而シテ其財源ハ之ヲ國民ノ囊裏ニ待
 マサル可カラサルヤ勿論ナリ近年調査ノ成績ニ據レハ學國內毎戶直、間税ノ負擔額平均概ネ二十七「ター
 レル」ナルヲ以テ佛國ノ債金ニシテ若シ我國ニ注入シ來ルコト微リセハ殆ント十六「ターレル」即チ從來ノ
 税金ニ比シテ四分ノ一ヲ増加シタルナルヘシ其他咖啡及外國二三ノ消耗品ニ係ル現行關稅ニ課スルニ
 更ニ五割ノ附加稅ヲ以テシ又甜菜糖稅及煙草稅ニ對シ更ラニ之ト同額ノ附加稅ヲ課スルモ尙ホ且ツ豫
 算上必要ノ増額ヲ補フニ足ラサルヘキヲ以テ改メテ他ニ税金ヲ増課スルカ若クハ新稅源ヲ案出スルカ
 兩途何レカ其一ヲ撰ハサルヲ得サルヘシ獨逸國ハ斯ノ如クニシテ増稅ヲナサンカ或ハ新稅源ヲ案出セ
 シカニ付其方途ニ苦シミタル際幸ロニ「ウエルサイ」ノ媾和條約其好結果ヲ獲テ佛國ヨリ巨額ノ債金ヲ
 受クルコト、ナリ竟ニ右ノ困難ヲ排除スルヲ得タリ是レニ債金ノ力ニ依ルモノトス然レトモ人多ク
 ハ斯ル利益ヲ直接ニ感受セサルヲ以テ深ク之ヲ思ハサルカ如キモ若シ一タヒ以上ノ理由ヲ玩味スルト
 キハ直チニ其效力ノ偉大ナルヲ知ルコト敢テ難キニアラス

其他債金ハ各邦ノ豫算上ニモ間接ニ少ナカラサル利益ヲ與ヘタルモノニシテ若シ之レ微リセハ其希望
 セル教員官吏ノ俸給改革モ又其他ニ熱望セル事項モ恐ラクハ其實行ヲ見スシテ止ミシナルヘシ而シテ
 必要ナル税金ノ増額竝ニ新稅ノ賦課額ヲハ勉メテ減却セントノ計劃モ公ケナル支出ノ頻々増多スルカ

爲メ一時之ヲ中絶スルノ止ムヲ得サルニ至リシヤ必セリ

第三節 投機業ノ勃興

以上二點ハ債金ヨリ生シタル利益ニシテ其效固ヨリ顯著ナラサルニアラス然レトモ光アレハ影必ス之ニ伴フハ事物ノ常態ナルカ故ニ深ク其裏面ヲ觀察スルトキハ又大ニ禍害ヲ醸成シタルモノアルヲ發見スルヲ得ヘレ凡ソ益ヲナスコト多キモノハ害ヲナスコト亦多キハ理ノ當然ニシテ佛國債金ノ如キモ蓋シ其數ヲ免レス抑モ此債金ヨリ不貞ノ結果ヲ生シタルハ五十億「法」其物ノ罪ニアラスシテ使用ノ方法其ノ當ヲ得サリレニ坐スルノミ獨逸國ハ戰爭上警戒極メテ嚴ニシテ其用意ノ周到ナリシハ皆人ノ驚嘆スル所ナリト雖モ其結果ヨリ得タル債金ノ處分ニ至リテハ頗ル輕躁ニ失シタルノ跡アルヲ免レス政府ハ數億「ターレル」ノ債務ヲ一時ニ償却シタルノミナス尙他ニ數億「ターレル」ノ資金ヲ投シテ證券ノ購入ニ從事セリ故ニ忽ニシテ市場ニ流通資金ノ過利ヲ生シタルハ固ヨリ其所ナリ加フルニ當時恰カモ國民ノ起業心非常ニ奮起セルニ會シ相須テ投機事業ノ勃興ヲ來シ國民ノ投機熱ハ殆ント底止スル所ナキニ至レリ夫レ投機事業發生ノ原因ハ單ニ流通資金ノ過利ニノミ歸スヘキニアラスト雖モ少クモ之ヲ助成スヘキ主要ノ原因タルコト明白ナリ若シ債金ヲ以テ國債ヲ償却シタルカ如キコトナカリセハ豈ニ國民ニ於テ遽ニ新設セラレタル無數ノ株式會社ニ加入シ得ルノ實力ヲ有スヘケンヤ債金ノ投機事業發生ノ動機タリシハ爭フヘカラサルノ事實ナリトス而シテ新設株式會社ニ加入シタルモノハ必スシモ現ニ用途ナキ資金ヲ有スル者ノミニ限ルヘカラス國債ノ返還金等ヲ受ケ他ニ投資ノ途ヲ求ムルモノニシテ新設ノ株式會社ニ加入シ高利ノ配當株券ノ騰貴等ニ依テ一攫千金ノ利ヲ得ンコトヲ計ルハ自然ノ理勢

ナリトス爲メニ他ノ無數ノ資本家モ斯ル情勢ニ薰化セラレ其所有ノ確實ナル有價證券ハ正當ノ利子ヨリ外受取ル能ハサルヲ以テ之ヲ彼ノ危險多キモ利子ノ割合多キ銀行鑛山建築會社麥酒釀造所及工業上ノ株券若クハ鐵道特權附證券等ト交換セントスルニ至レリ

千七百九十年乃至千八百七十年六月十一日マテ即チ八十箇年間ニ於テ普魯西國內ニ設立セラレタル株式會社數ハ合計二百七十九ニ過キス然ルニ其後僅カニ三十箇月間ニ於ケル株式會社ノ設立數ハ七百六十二ノ多キヲ見ルニ至レリ尙ホ之ヲ細別スレハ千八百七十年六月ヨリ同年末マテニ於テ二十四千八百七十二年ニ於テ二百二十五千八百七十二年中ニ於テ五百三株式會社ノ設立アリ然リ而シテ千八百七十二年ノ特別調査(「マイエル」氏獨逸年報)ニ依ルトキハ伯林ニ於テ設立セラレタル株式會社ノ數ハ百六十七ニシテ其資本金ハ二億一千四百四十七千「ターレル」ナリ又字國ニ於テ設置セラレタル會社ハ合計四百九十四箇ニシテ其資本五億七百七十五万五千五百九「ターレル」ナリ但シ其内四十九箇所ハ銀行及信用機關ニシテ其資本一億千五百二十万五千「ターレル」六十一箇所ハ建築銀行建築會社及不動産貸附會社ニシテ其資本七千五百七十六万九千五百「ターレル」六十五箇所ハ鑛山及鑛場ニシテ其資本六千五百四十二万九千八百二十八「ターレル」其他十二箇所ハ鐵道會社ニシテ其資本八千九百七十万千六百「ターレル」トス

今一二株式會社ノ株式相場ニ付キ伯林株式相場表中ニ掲載シアルモノヲ示サンニ次ノ如シ

名 稱	年		次
	一八七二年	一八七三年	
學國信用會社	一五八% (十一月)	一五八%	五〇
「グイストロブ」同盟銀行	二〇〇 (十一月)	二〇〇	一八%
州立割引會社	一八六 (十一月)	一八六	八六%
「アングロ」獨逸銀行	一四四% (八月)	一四〇%	六五
伯林建築組合	一〇八% (九月)	一〇八%	四四
「プレスチル」建築會社	一五八 (十一月)	一五八	七九%
「レフボルツハル」製藥協會	一〇八 (九月)	一〇五	三七%
「エーグストロフ」器械製造會社	一三五% (三月)	一一八%	三〇%
「ドルトムンド」共立會社	二〇八% (十月)	一九二	八〇%

右ニ掲クル所ノモノハ唯僅ニ一部株式會社ノ株式相場表ニ過キスト雖モ亦以テ株式相場ノ下落セシ一班ヲ知ルニ足ラン外國ノ國債證券外國鐵道證券等ニ於ケルモ亦同様ニシテ爲メニ生シタル損害ノ巨大ナリシコト實ニ想像スルニ餘アリトス而シテ其害毒タル普ク全國ニ互リ廣ク中産以下ノ人民ニ及ヒタ

ルヲ以テ千八百五十六年乃至千八百五十七年ノ恐慌ニ比シテ一層劇烈ナルモノトス終歲勞働ノ結果ニ依リ漸クニ蓄積シ得タル資金ヲシテ一朝水泡ニ歸セシメタルハ實ニ悲惨ノ極ト云フヘシ而シテ此災殃ヲ惹起シタルモノ債金其物ノ罪ニアラスシテ債金ノ處分其當ヲ得サリシニ職由セスンハアラス然リ而シテ之レカ救済策ヲ講スルニハ如何ナル方法ヲ以テセハ可ナルヘキヤト云ハ、蓋シ何人モ之ニ對シテ充分ノ答辯ヲナス能ハサルヘシ人或ハ曰ク帝國宰相局ハ拂ヒ込ミアリシ債金高ヲ一時正金ニテ積ミ置キ而シテ漸次之カ支出ヲ爲サハ蓋シ其當ヲ得タリシラント然リト雖モ果シテ斯ノ如クセンカ商業界到ル處通貨ノ取引上大ナル必迫ヲ生シ且ク納稅ノ義務アル人民ヲシテ益々其負擔ヲ重カラシムヘキヤ必セリ故ニ此ノ如キ失當ノ救済法ハ到底行フヘキニアラス寧ロ獨逸國資本市場ニ顯ハル、資本充溢ノ弊ヲ除カントスレハ他ニ其方法ヲ求ムルニ如カス世上之レカ説ヲ爲ス者鮮ナカラスト雖モ其能ク實況ヲ穿チタルモノハ「ドクトル、パンベルゲル」氏ヲ措テ他ニ其人アルヲ知ラス氏謂ヘラク苟クモ獨逸國經濟上不良ノ發達ヲ阻止シ若クハ其幾分ヲ緩和セント欲セハ勉メテ債金ヲ利附ニテ外國ノ有價證券ニ投下シ而シテ其金額ハ宜シク漸ク以テ獨逸國資本市場ニ送入スヘント實ニ至言ト云フヘシ故ニ若シ此説ニシテ其實行ヲ見シナラハ恐ラクハ獨逸國ニ橫行スル投機業モ又ハ續々濫興スル企業モ初メヨリ其力ヲ逞フスルコトナク從テ數多富民ノ財産上ノ損害ヲシテ未タ斯ノ如ク太クシキニ至ラシメスシテ止ミシナラン

第四節 貨價ノ低落(物價ノ騰貴)

債金處分ノ結果トシテ生シタル第二ノ損害ハ貨價ノ低落、物價ノ騰貴トス食料品中特ニ獸肉、牛乳及牛

賄ノ類ハ勿論其他衣類各種ノ器具、薪炭及ヒ各般ノ勞動賃銀ノ相場ノ如キハ夙トニ既往二十年間ニ騰貴ヲナシタルモ千八百七十年以來ノ如ク其昇騰ノ度ヲ速ニ且ツ大ナラシメシコト未ダ曾テ聞カサル處ナリ抑モ物價一般ノ騰貴ハ國民全體ヨリ見レハ毫モ必要ナルモノニアラス今一方ノ人カ物價ノ騰貴ニ乘リ利益スル處アルヘキモ他ノ一方ノ人ハ之ニ反シテ其損失ヲ來スヲ免レス且ツ人民全體ノ上ヨリ云フトキハ前者ノ利益ニ浴スルヨリモ寧後者ノ損害ヲ感スルコト多カルヘキハ世間ノ常態トス就中物價ノ騰貴ニ應シテ收入ヲ増加スルコト能ハサルモノ例ヘハ一定ノ恩給金扶助料等ニ依リ其生計ヲ支持スルモノ、如キ其損失ヲ蒙ルコト最モ甚シトス抑、物價ノ高低ハ通貨流通ノ多寡緩急ニ依テ生シ特別ノ理由ナキ限りハ流通資金ノ額増加スルニ隨ヒ物價自カラ騰貴スルヲ常トス千八百五十年代ノ初葉ニ方テ發現シタル貨價ノ下落ハ其原因ヲ當時金ノ產出額ノ非常ニ夥多ナリシニ歸シタレトモ何人モ之ニ反對ヲ唱フル者ナシ又昔時西班牙領殖民地ニ於テ多量ノ銀ヲ發掘シ了ヘタル後物價次第ニ低落シタルモ畢竟右ノ現象ニ外ナラス然リ而シテ當時獨逸國內ニ存在セシ流通資金ノ額ヲ考フルニ千八百七十一年ノ終末マテ流通セル合法銀貨ハ其政府ニ於テ再々回收シタル分ヲ除キ合計五億九千七百七十七万「ターレル」ニシテ又以前ニ鑄造セル獨逸國金貨ハ千八百七十一年ノ終末ニ至リ尙ホ流通シアルモノハ僅カニ二三百万「ターレル」ニ過キサリキ然ルニ千八百五十七年ヨリ千八百六十六年ニ至ルノ間獨逸國銀貨ノ一部ハ獨逸國貨幣中ニ混入シテ流通セルヲ以テ此等諸般ノ事實ヲ綜合スルトキハ千八百七十年ノ上末期ニ於ケル獨逸國貨幣ノ流通高ハ概計六億五千万「ターレル」ナルヘシ但シ此内ニハ銀行ノ正貨準備高約キ四億五千万「ターレル」乃至五億「ターレル」其他紙幣並ニ正貨準備ヲ有セサル銀行證券合セテ

一億八千万「ターレル」ヲ算入スルモノニシテ是則チ當時取引上ノ需用ニ充タル通貨ノ流通高トス此貨幣流通高ハ千八百七十三年三月ニ至テモ尙ホ殆ント流通セラレテ其内減却セシモノ多額ニ見積ルモ千「ターレル」以上ニ出テタルヘレ之ニ反シ正貨無準備ノ銀行證券ハ千八百七十年ヨリモ增多シテ殆ント六千二百万「ターレル」ニ達シ加之ナラス政府發行ノ紙幣又殆ント六百万「ターレル」ヲ増加セリ加フルニ新ニ鑄造セラレタル金貨幣二億「ターレル」アリ其中一千万「ターレル」ハ軍備金トシテ控除スヘキモノトスルモ千八百七十三年三月下旬ニ於ケル全國流通通貨ノ増加額ハ凡ツ二億四千八百万「ターレル」ニシテ三年前ニ於ケル流通高ニ比スレハ殆ント百分ノ四十ヲ増加セリ夫レ通貨ノ増加ハ投機心ノ勃興物價ノ騰貴ト相須テ因トナリ果トナリ現時ノ景況ヲ呈シタルモノニシテ彼ノ勞動賃銀ノ騰貴ノ如キ通貨ノ流通高ヲ増大シ家賃並ニ日用品ノ價ヲ高メ延テ他物價ノ騰貴ヲ致シタル一因トラスンハアアサナルナリ或ハ曰ハシ五十億ノ債金ヲ領收シタル爲メ生活ノ程度ヲ幾分昇高セシメタルハ是レ有利ノ條件和條約ニ於テ避クヘカラサル結果ニシテ亦如何トモ爲シ難キニアラスヤト夫レ然リ而シテ吾人ハ此ノ如キ辯論ニ服スル能ハサルナリ千八百七十一年十一月ノ帝國議會ハ新鑄ニ係ル帝國金貨ノ流通ヲ隱ムルト同時ニ從來ノ合法銀貨ヲ適宜ノ金額ニ回收ス可カリシナリ然ルニ事是ニ出テスシテ帝國政府ハ續々巨萬ノ金貨ヲ鑄造シタルヲ以テ通貨ノ流通高ハ急ニ其多キヲ加ヘタリ且ツ千八百七十一年乃至千八百七十二年間ニ於ケル物價ノ騰貴ハ債金處分ノ結果ニ依リ生シタルモノナルハ當時英佛兩國ニ於テモ稍ヤ同一ノ現象ヲ呈シタリト雖モ久シカラスシテ其勢焰ヲ弱メタルヲ見ルモ自ラ瞭然タルヘシ曩ニ英國ニ於テモ一二ノ工業ニ在テハ賃銀ノ騰貴ヲ來レ爲メニ一時其事業ヲ廢スルノ非運ニ遭遇シタルモノナキ

ニアラス然レトモ其損害ノ程度ニ至リテハ到底獨逸ノ比ニアラサルナリ又佛國ハ何レノ點ヨリスルモ獨逸國ニ比シ極メテ不幸ノ地位ニ立テリ而カモ一個ノ意見ヲ以テ公平ノ判斷ヲナストキハ蓋シ佛國ニハ敬重スヘキ一種ノ特質ノ存在スルコト疑フヘカラス其特質トハ千八百七十二年及千八百七十三年ニ於テ佛國ノ工業ニ從事セル人民ハ獨逸國ノ人民ニ比スレハ概シテ勤勉ニシテ貯蓄心ニ富ムカ故ニ佛國ノ工業カ獨逸國ヨリモ大ナル進歩ヲナシ且ツ獨立シテ新タニ資本ヲ蓄積シタルコト是ナリ左表ハ英國商業統計ヨリ轉載セルモノニ係リ固ヨリ完全ナル徵證トナスニ足ラズト雖モ亦以テ字佛戰爭前千八百六十七年ヨリ千八百六十九年ニ至ル年代ニ遡リ又戰爭後千八百七十二年ニ於テ獨佛兩國ヨリ不列顛國ニ輸入シタル物品ニ關シ其成績ノ如何ヲ見ルニ足ラン

年	佛國ヨリノ輸入高	獨逸國ヨリノ輸入高
千八百七十二年	四一八〇三、〇〇〇	一九、二三二、〇〇〇
千八百六十七年ヨリ千八百六十九年ニ至ル	三三、七一九、〇〇〇	一八、四七八、〇〇〇
千八百七十二年ニ於ケル輸入超過額	八、〇八四、〇〇〇	七五四、〇〇〇
佛國ヨリノ物品輸出高	佛國ヨリノ物品輸出高	獨逸國ヨリノ物品輸出高
千八百七十二年	五、三六六、〇〇〇	一、三三九、〇〇〇
千八百六十七年ヨリ千八百六十九年ニ至ル	二、九七七、〇〇〇	一、〇二九、〇〇〇
千八百七十二年ニ於ケル輸出超過額	二、三八九、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇

以上ノ成績ニ依レハ佛國ノ工業カ新稅ノ爲メニ其ノ負擔ヲ增多シ且ツ國民ノ資本ヲ消耗シタルニモ拘

ハラス千八百七十二年ニ於テ該國ヨリ英國ニ向ケ及此國ヲ經テ輸出シタル金高約キ七千万「ターレル」ノ増額ヲナシ獨逸國ハ之ニ反シテ五十億「法」ノ償金ノ入り來レニモ拘ハラス其輸出額僅カニ千四百萬「ターレル」ヲ增多シタルニ過キサルヲ見ル

以上述フルカ如キ有様ニシテ一時正貨ノ獨逸國ニ堆積スルヤ其反動トシテ投機ノ業類リニ勃興セルモ此等ノ時代已ニ辭シ去ルニ及ンテ其影響ヲ受クル者カ苦痛ヲ感スルノ度果シテ如何又物價ハ一時不常ノ騰貴ヲナレタルニ依リ遠カラズシテ其反動ヲ來スヘキハ必然ノ結果ニシテ果シテ如何ニ之ニ堪ヘ得ヘキヤ初メ五十億法ノ償金ヲ領收スルヤ頓ニ獨逸國ノ幸福ヲ増進シタルノ觀アリテ巨額ノ課稅ヲナスコトナク而カモ幣制ノ改革ヲ實行シ軍備ノ充實ヲ圖ルヲ得タルモ今ヤ國民一般ノ利害ヨリ觀察スレハ不祥ノ結果ヲ來シタルモノト認メサルヲ得ス

米西戰爭ニ於ケル米國ノ財政

米西戰爭ニ於ケル米國ノ財政

米國ハ世界中最も富裕ナル國ニシテ國庫ハ常ニ剩餘ノ多キニ苦ム公債ノ應募力租稅ノ負擔力ヨリ察スルモ其財力ノ豐ナル西班牙ノ比ニアラサルナリ然レトモ財政ノ事ハ國政運用上最も慎重ヲ要ス一度其ノ施設ヲ誤ランカ萬端ノ政治ニ支障ヲ來スノミナラス百般ノ工業萎靡衰頽シ其害毒ノ及フ所甚ク廣シ特ニ戰時ノ如ク一時ニ巨億ヲ收支スル時ニ當テハ常ニ國內生産業ノ状態ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ一國經濟界ノ信用ヲ害セサルコトニ勉メサルヘカラス米西戰爭ニ於ケル米國財政ノ運用ハ此點ニ於テ其ノ軍事的行動ト共ニ大ニ賞讃ヲ價ヒスルモノアリ

今戰時財政計畫ノ大要ニ入ルニ先キ戰爭前ニ於ケル斯國財政ノ一般ヲ知ランカ爲ニ前二箇年ニ於ケル同國ノ歲出入ヲ見ルニ

一千八百九十五年度歲入總額ハ三億二千五百二万六千三百四十八仙歲出總額ハ三億五千八百八十一万六千六百八十八仙ニシテ差引歲出超過額ハ二千六百七十九万三千四百四十二仙ナリ
一千八百九十六年度歲入總額ハ三億四千三百八十一万二千六百五十八仙歲出總額ハ三億六千五百八十四万九千四百一十一弗七十七仙ニシテ差引歲出超過額ハ二千二百三万六千五百二十六弗十九仙ナリ如此年々歲出ニ超過ヲ來スト雖モ國庫剩餘金アリテ優ニ其不足ヲ補フニ足レリ
一千八百九十五年ニ於ケル正貨在高ハ二億六千六百九十四万二千一百二十八弗九十一仙ニシテ一千八百九十六年ニハ二億三千七百四十五万二千一百九十九弗七十三仙アリ降テ千八百九十八年二月ノ計算

ニ依レハ二億二千七百二十二万四千弗アリ米國ノ國庫ハ其餘裕アルコト此ノ如シ其財政ヲ處理スルニ於テ難易素ヨリ西班牙ト比スヘカラス然レトモ此正貨ハ悉ク之ヲ戰費ニ供シ得ルモノト速斷スヘカラス

今其内容ヲ見ルニ(一)一億弗ハ正貨準備トシテ常ニ國庫ニ保有シ兌換券ノ保障タルモノナルカ故ニ國家危急存亡ノ時ニアラスンハ之カ使用ヲ許サス(二)殘額一億二千七百方弗ノ内三千三百方弗内外ハ洲立銀行紙幣償還ノ爲メニ信託會社ニ供託セラレ一千四百方弗ハ一千八百九十九年一月一日迄ノ期限付太平洋鐵道公債償還ノ爲ニ保存スルヲ要シ小銀貨其他ノ小貨幣一千三百方弗ハ其大部分ハ或ハ破損シ或ハ流通不便トナリ居ルモノニシテ其他ハ地方ノ小取引ノ爲ニ保有セラル、ヲ要ス以上ヲ差引クトキハ殘額ハ六千七百方弗ナリ而レテ戰争ノ準備ト共ニ國內ノ施設モ亦忘却スヘカラサルヲ以テ更ニ三千方乃至四千方弗ハ政府經常費ノ爲ニ保有スルヲ要スヘシ

此ノ如ク算レ來レハ一千八百九十八年二月ノ末ニ於ケルニ二億二千七百方弗ノ正貨在高中必要費ヲ減シタル殘額ハ二千五百万乃至三千万弗ニ過キス

戰雲正ニ急ナルノトキ米國國庫ノ狀況ハ略、右ノ如シ而シテ其西國ト爭議ヲ生スルニ及ンテ大統領ハ兩院ノ首領ト商議シ其結果下院ニ於テハ三月八日、上院ニ於テハ其翌日滿場一致ヲ以テ五千万弗ノ軍費ヲ議決シ其支出ヲ大統領ノ指揮ニ一任セリ今其所管及金額ヲ示ストキハ左ノ如シ

- 陸軍省所管 一千八百九十四万四千六百二十七弗六十八仙
- 海軍省所管 二千九百七十二万三千二百七十四弗二十二仙

- 内務省所管 三十九万三千八百六十弗八十九仙
- 大藏省所管 十七万弗

合計四千九百二十三万七千七百六十二弗七十九仙

財政ノ準備ハ如此ク既ニ整ヘタルニ拘ハラズ政府當局者ハ尙ホ外交談判ニ依リ平和ノ局ヲ結ハンコトヲ切望シタリシモ形勢日ニ非ニシテ終ニ干戈相見ユルノ外ナキニ至リ米國ハ四月二十三日ヲ以テ宣戰ヲ布告セリ當時西班牙ハ殖民地擾亂ノ爲メ財政ハ困難ヲ極メシモ其陸軍ハ米國ニ數倍シ海軍ノ力モ亦其艦數砲數及ヒ乗組員等ニ於テ殆ト拮抗ノ勢ヲ有レタリ是ニ於テ米國ハ更ニ之ニ應スル兵備ト軍資トヲ整ヘサルヘカラス即チ議會ヲ召集シ陸海軍ノ補充ト戰費支辨ノ方法トヲ議決セリ而シテ國防費以下國會ノ議決ニ基ク戰費豫算ヲ見ルニ

- 一、國防費(一千八百九十八年三月九日ノ條令) 五〇、一一七、〇〇〇、〇〇〇
- 二、陸海軍補充費(五月四日ノ條令) 三四、六二五、七二五、七一
- 三、海軍費(五月四日ノ條令、追加豫算) 一三、〇九五、五四九、四九
- 四、砲臺費(五月七日ノ條令、追加豫算) 五、一三三、五八二、〇〇
- 五、海軍補助費(五月二十六日ノ條令) 三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
- 六、軍隊布敷費、陸軍省費及ヒ監督部費等(五月三十一日ノ條令) 一、二七、九七六、四五
- 七、看護隊費(六月七日ノ條令) 七、〇〇〇、〇〇〇

- 八、陸海軍補充費(六月八日ノ條令) 一八、〇一五、〇〇〇、〇〇〇
- 九、戰費收入法ニ基ク徵收費(六月十三日ノ條令) 六〇〇、〇〇〇、〇〇〇
- 十、一千八百九十八年七月一日以後六箇月間ノ陸海軍費其他ノ 二二六、六〇四、二六一、四六六
- 戰費 二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
- 十一、軍隊引拂費 三六一、七八八、〇九五、一一一

總計

議會ハ戰費及ヒ其用途ヲ豫定スルコト右ノ如シ而シテ四月二十三日ニ於ケル國庫ノ正貨在高ハ二億二千三十六万四千弗ニシテ此内ニハ前ニ述タル如ク種々ノ必要費ヲ包含スルヲ以テ政府カ戰費トシテ使
用レ得ヘキ額ハ二千万乃至二千五百万弗ニ過キス故ニ政府ハ右ノ戰費ヲ支拂ハンカ爲ニ戰費收入法案
ヲ議會ニ提出セリ當時政府ハ思ヘラク凡ソ戰費供給ノ財源ニハ租稅ト公債トニアリト雖租稅ハ到底短
期ノ間ニ必要ノ經費全部ヲ供スル能ハス若シ強テ之ヲ求メンカ一國ノ財政其他商工業ニ多大ノ影響ヲ
及ホシ人民ハ其負擔ニ堪エサルヘント即チ先ツ公債ヲ起シテ軍資ヲ支辨シ之ト同時ニ新稅ヲ課シ歲入
ノ増加ヲ計ルト共ニ之ヲ以テ公債償還ノ財源ニ充テ其應募ヲ容易ナラシムルノ方法ヲ取レリ
戰費收入法案ハ一千八百九十八年四月二十五日下院ニ提出セラレ一百三十一ニ對スル一百八十一ノ多
數ヲ以テ之ヲ通過シ尋テ上院ノ財政委員會ノ議ニ上リ修正ヲ經テ五月十二日上院ニ報告セラレ六月四
日二十八ニ對スル四十八ノ多數ヲ以テ之ヲ通過シタリ乃チ兩院協議會ノ議ニ上リ其成案ハ六月九日ニ
下院ヲ十日ニ上院ヲ通過シ超テ三日大統領ノ裁可ヲ經公布セラレタリ但シ施行期ヲ七月一日ト特定セ

ルモノ、外ハ凡テ其翌日ヨリ施行セラレタリ
今左ニ戰費收入法ノ概要ヲ摘記スレハ

第一 租稅

從來米國ニテハ其歲入ノ大部分ハ之ヲ關稅ニ仰キ内國稅ハ只酒精、麥酒、煙草ノ三項アリシノミ故ニ此
法律ニハ主トシテ内國稅ヲ規定シ關稅ハ製茶一封度ニ付キ十仙ノ輸入稅ヲ設ケタルノミ此輸入稅ニ付
テハ議院ニ於テ其戰時稅トシテ不可ナルナキヤ或ハ豫期ノ收入ヲ得ラルヘキヤニ付キ議論アリタルモ
一千八百九十七年以來米國ニテハ粗惡ナル製茶ノ輸入ヲ防クニ勉メ輸入茶ノ品質ヲ檢スル爲メ特ニ一
局ヲ設ケシ程ナルヲ以テ之ヲ機會トシテ高率ノ從量稅ヲ課シ以テ輸入製茶ノ品質ヲ改良シ同時ニ殆ト
一千万弗ニ上ル增收ヲ得ンカ爲メニ終ニ此新稅目ヲ置クニ決セリ次ニ内國稅ハ當時ノ豫算委員「ダン
グレー」氏カ此法案ノ説明トシテ述ヘタル如ク主トシテ嗜好的消費品ニ課シ勉メテ民ノ負擔ヲ輕カラ
レメ且ツ現在徵收機關備ハリテ之カ徵收ニ要スル費用ト手數トノ最少ナキモノヲ選ヒ一國ノ産業ヲ
攪亂スルコトナク而モ其實收入ヲレテ可成的多カラシメンコトヲ計レリ即チ先ツ麥酒稅ト煙草稅トヲ
倍加シ内亂當時ノ稅ヲ復舊レ且ツ新稅目ヲ起シタリ夫ノ酒精稅モ前記ノ二稅ト同シク増稅スヘントノ
說アリレモ現行酒精稅ハ「ガルロン」一弗十仙ニシテ殆ト其租稅負擔力ノ全部ヲ盡シ之ヲ倍加シテ二
弗二十仙トスルモ果シテ豫期ノ收入ヲ得ラルヘキヤハ甚ダ疑ハシク且ツ當時酒精ハ其生産過多ニシテ
正當ナル貿易既ニ沈衰セシ折ナリシカハ其増稅ハ徒ニ個人ノ利益ヲ害シテ政府ヲ益スルコトナキモノ
トシテ退ケラレタリ

職費支辨ノ財源トシテ定メラレタル關稅及ヒ内國稅ニ付キ更ニ其稅目ト稅率ノ詳細ヲ掲クレハ左ノ如

増稅收入豫算額一億三千七百四十八万二千三十六弗

第一 麥酒稅(條令公布ノ日ヨリ實施)三十一「パーレル」入一樽 二弗(舊稅一弗)

第二 特別稅(千八百九十八年七月一日ヨリ實施)

一、資本金二万五千弗以内ノ銀行ノ資本金ニ對シ

資本金二万五千弗以上ハ一千弗ヲ加フル毎ニ二弗

二、仲買人(銀行者トシテ納稅スルモノヲ除ク)

三、質商

四、商業上ノ仲買人

五、稅關貨物取扱人

六、人口二万五千(最近ノ米國人口調査ニヨル)以上ノ都市ニ

於ケル劇場、博物館及ヒ寄席ノ持主

七、曲馬場ノ持主

八、一般觀セ物類ノ持主

九、投球及ヒ球突場ノ持主(一球又ハ一臺ニ付)

第三 煙草稅(條令公布ノ日ヨリ實施)

製造煙草及鼻煙(カギタバコ)「ボンド」ニ付
葉卷煙草及紙卷煙草

一千本ニ付キ三封度以上ノ量目ヲ有スル葉卷煙草

一千本ニ付キ三封度以下ノ量目ヲ有スル葉卷煙草

一千本ニ付キ三封度以上ノ量目ヲ有スル紙卷煙草

一千本ニ付キ三封度以下ノ量目ヲ有スル紙卷煙草

葉煙草販賣者及煙草製造人

年五千封度以内ノ販賣者

年五千封度以上一萬封度以下ノ販賣者

年一万封度以上ノ販賣者

製造煙草販賣額五万封度以上ノ者

葉卷煙草ノ製造者ニシテ

年十万本以内ノ販賣者

年十万本乃至二十万本ノ販賣者

年二十万本以上ノ販賣者

第四 印紙稅(千八百九十八年七月一日ヨリ實施)

一八九八年七月一日以後發行シタル株券債券又ハ負債ノ證明

一二仙

三弗六〇

一弗

三弗六〇

一弗五〇

六弗

一二弗

二四弗

一二弗

六弗

一二弗

二四弗

書ハ額面百弗ニ付

會社ノ新設及ヒ改設ニ關スル株券ノ證明書原證書ハ額面百弗ニ付

諸會社及組合ノ株券ノ賣渡契約ノ場合ニハ額面百弗ニ付

取引場ニ於テ物品賣渡契約成立ノ場合

價額百弗ニ付

價額百弗及其端數ヲ増加スル毎ニ

小切手、銀行手形、利子ヲ引出スコトナキ預金證書及一覽拂手形

内國爲替手形、利子ヲ引出シ得ル預ケ金證書一覽拂及請求拂以外ノ送金手形、約束手形(銀行手形ヲ

除ク)一八九八年七月一日以後發行ノ内國送金手形

百弗以内ノ價格

百弗及其端數ヲ増加スル毎ニ

外國仕拂ノ外國爲替手形信用狀

一組ノ場合

百弗以内

百弗及其端數ヲ増加スル毎ニ

二組以上ノ場合

二百三十

五仙

五仙

二仙

一仙

一仙

二仙

二仙

二仙

四仙

四仙

各組ノ各券カ百弗以内

百弗及其端數ヲ増加スル毎ニ

物品輸出ヲ目的トスル荷爲替及受取

荷爲替、荷物送狀又ハ受取及其原本

賠償證券

電話ニヨル通信(但シ十五仙以上)

一件百弗以上ノ利益及財産移動ノ證明

港務官ノ發スル證明

其他一般法律ニヨリ命セラレタル證明

船舶ニ關スル契約締結、更改等

三百噸以内

三百噸以上六六噸以下

六百噸以上

仲買人ノ手帳又ハ賣渡ノ記録

不動産ノ移動ニ關スル證券

百弗以上五百弗以内

五百弗及其端數ヲ増加スル毎ニ

二仙

二仙

一〇仙

一仙

五〇仙

一仙

二仙

二五仙

一〇仙

三弗

五弗

一〇弗

一〇仙

五〇仙

五〇仙

二百三十一

電報通信

一仙

商品ノ關稅通過

百弗以內

二五仙

百弗以上五百弗以內

五〇仙

五百弗以上

一弗

保稅倉庫ヨリ商品ヲ引出ノ場合ノ登錄

五〇仙

生命保險證書(但シ友愛恩惠的社團地方農民ノ組合、會員組織ニヨル地方組合ヲ除ク)

百弗及其端數ニ付

八仙

每週支拂ノ方法ニヨルモノ

第一週ノ手數料ノ四割

海上、內國及火災保險證書(相互保險ヲ除ク)及ヒ其他保險證書一

弗ニ付

之仙

借地及地代ニ關スル契約

期限一年以內

二五仙

期限一年以上三年以內

五〇仙

三年以上

一弗

外國行キ船舶入港及出港免許

登簿噸數三百噸以內

一弗

三百噸以上六百噸以內

六百噸以上

土地及財產ノ質入抵當及讓渡等

千弗以上千五百弗以內

二五仙

千五百弗以上ハ五百弗及其端數ヲ加フル毎ニ

二五仙

米國ヨリ外國ニ通過免許料

三十弗以內

一弗

三十弗以上六十弗以內

三弗

六十弗以上

五弗

辯護士ノ繼承及會社、組合ノ役員選舉ニ關スル委任狀(但シ宗教

教育及共同墓地ニ關スルモノヲ除ク)

一〇仙

倉庫ヨリノ受取

二五仙

藥用品類及ヒ香水、コスメチック類

小賣相場五仙以內

五仙以上十仙

十仙十五仙

十五仙二十五仙

弗未滿ノ者ハ三割四分強ノ割當ヲ以テ之ヲ募入シタリ該公債ノ募集ハ上述ノ如ク豫期以上ノ好況ヲ呈シ應募總額ハ十四億弗即チ募集額ノ七倍ニ上リタリ初メ三分利付公債發行ノコト世ニ傳ハルヤ當時四分若ハ五分利付公債ノ利廻リ三分二厘五毛ナリシヲ以テ人或ハ此公債ノ成功ヲ危メリ然ルニ其結果此ノ如キ好況ヲ呈セシ所以ノモノハ同國洲立銀行カ此等ノ政府證券ヲ準備トシテ兌換券ヲ發行シ得ルノ特權ヲ有セシヲ以テ該公債ヲ得シコトヲ望ミント一般國民ノ愛國的热情ノ大ニ之ヲ助ケタルモノアリタレハナリ

軍事公債應募ノ期日ヲ締切リシハ千八百九十八年七月十四日ナリシカ恰モ其締切リカ戰爭ノ終結ヲ豫告セシモノ、如ク其日「サンチアゴウ」市陥落シ超ヘテ八月十二日「ワシントン」條約成リ戰ハ幸ニシテ速ニ終結ヲ告ケ從ツテ人命ト戰費ヲ損スルコトモ亦豫期ニ及ハサリキ即チ其年十二月三十一日ニ至ル迄ノ戰費ハ一億九千五百万弗ニ達セシモ公債ニヨル收入二億弗ハ其日迄ニ殆ト全部國庫ニ收納セラレ増稅ノ收入モ亦多カリシカハ國庫ハ大藏省證券ヲ發行スルニ及ハスシテ裕ニ戰費ヲ支拂スルコトヲ得タリ加之政府ハ公債ノ拂込ニモ部分拂ヲ許ス等終始國內産業ノ状態ニ注意セシヲ以テ貨幣市場ニ些少ノ危迫ヲ與フルコトナク「メーン」號爆沈當時ヲ除キテハ利率ノ騰貴スラ之ヲ見ルコトナカリキ斯クテ米國ハ此戰爭ニ於テ其武勇ヲ發揮セシノミナラス戰時ニ於テモ尙且ツ産業ノ發展ヲ妨ケス世界ヲシテ其國高ノ偉大ナルニ驚歎セシメタリ

米西戰爭ニ於ケル西班牙ノ財政

米西戰爭ニ於ケル西班牙ノ財政

米西戰爭當時ニ於ケル西班牙ノ財政ハ國庫窮乏ノ餘ヲ承ケ頗ル紊亂ヲ極メタリ蓋シ從來「キニバ」島經營ノ爲メ年々巨額ノ費用ヲ要シタルノミナラス本國ノ財政亦困難ヲ極メ西班牙銀行ノ政府貸上高ハ千八百九十七年ニ於テ八億三千二百四十餘万「ペセタ」(三千二百二十万磅)ニ上リ翌千八百九十八年春ニ及ヒテハ十二億「ペセタ」(四千八百万磅)ノ巨額ニ達セリ而シテ西班牙政府ハ軍費支辨ノ爲其財源ヲ尙ホ増稅及ヒ借入金ノ兩者ニ仰カサルヲ得サルノ窮境ニ陥レリ今其梗概ヲ左ニ説明スヘシ

第一 借入金

千八百九十八年四月下旬西班牙銀行ヨリ軍費トシテ五千万万「ペセタ」(第一回)ヲ借上ケ尙將來ノ軍費借上ニ應セシメンカ爲ニ大藏大臣ハ西班牙銀行ノ從來ノ紙幣發行限度十五億「ペセタ」ヲ増加シテ二十億「ペセタ」トセンコトヲ要求セリ是ヨリ先時局ノ漸ク急ヲ告グルヤ倫敦市場ニ於ケル四分利西班牙公債ハ暴落ニ暴落ヲ重ネ(五月二十九日遂ニ三十磅二分ノ一ノ低價ニ達シタリ)從テ西班牙銀行ニ對シテ兌換ヲ請求スルモノ陸續相踵キシカハ銀行ハ一箇月間ニ九千万「ペセタ」ノ正貨ヲ失ヒ其結果同行ノ正貨準備ハ其法定額(紙幣發行高ノ三分ノ一)ヲ超ルコト僅ニ六百万「ペセタ」トナレリ加フルニ同月末ニ至リ又々第二回ノ軍費五千万「ペセタ」ヲ借上アリタルカ爲メ五月七日ニ於テ四千三百万餘「ペセタ」ノ準備不足ヲ告ルニ至レリ此ニ於テ政府ハ國會ノ議ヲ經テ左ノ軍費支出法ヲ決定セリ

第一 陸海軍省所要ノ經費ハ新證券發行ニヨリテ之ヲ供給スルコト

第二

西班牙銀行ノ紙幣發行限度ヲ増加シテ二十五億ペセタトシ左記ノ準備法ヲ設クルコト

(一) 十五億ペセタ迄ノ分ニ對シテハ千九百九十一年ノ法律ノ定ムル所ニヨリ發行高三分ノ一ノ正價準備ヲ設ク

(二) 次ノ五億ニ對シテハ發行高二分ノ一ノ正價準備ヲ置ク
(三) 次ノ五億ニ對シテハ發行高三分ノ二ノ正價準備ヲ置キ其半額ヲ金トス

但シ非常必要ノ場合ニ於テハ本法及ヒ千八百九十一年ノ法律ニ依ラサルコトヲ得

第三 煙草、煤寸其他ノ獨占會社ニ對シテ貸上金ヲ協議スルコト

第四 出納局證券ヲ發行シ其償還期限利子歩合ハ西班牙銀行ト協議ノ上之ヲ定ムルコト

第五 千八百九十八年十月以後ニ支拂フヘキ外國債ノ利子ハ其公債所持人カ外國人タルノ證據正確ニシテ本法發布ノ日マテ六箇月間外國ニ居住セル者ニ對シテハ「フランク」貨ニテ之ヲ支拂ヒ其他ハ總テ西班牙國通貨ヲ以テ支拂フコト

斯クテ公然兌換ヲ停止セサリシモ六月上旬ニ至リ銀ノ輸出ヲ禁止シ事實上ニ於テ兌換ハ全ク停止ノ姿トナレリ

六月上旬政府ハ十億ペセタノ四分利水久公債ヲ發行シテ一ハ軍費ニ使用シ一ハ曩ニ借入レタル西班牙銀行借上金ノ償却ニ充テントセシモ應募者ヲ得ルハサリシカ爲メ已ムヲ得スシテ之ヲ西班牙銀行ニ與ヘテ之ヲ前債ノ擔保トシ兼テ將來ノ貸上ヲ引受ケシメシモ八月ニ至リテ構和成ルニ及ヒ軍費借上ノ事亦全ク息メリ

第二 増稅

西班牙國政府ハ千八百九十八年六月二十九日付ヲ以テ増稅ニ關スル勅令ヲ發布シタリ本令ニヨレハ關稅其他主トシテ間接稅ニ屬スヘキモノ、増徵ニ係ル今其要領ヲ示セハ左ノ如シ(明治三十一年九月十三日官報ニ據ル)

一 割ノ附加稅ヲ徵收スヘキモノ左ノ如シ

一 稅關收入、但シ關稅ヲ變更スルコトナシ此附加稅ハ精算ノ總額ニ對シテ徵收スヘシ最モ國際條約中ニ協定セラレタルモノニ關係ナキモノトス

一 領事手數料

一 燒酎、亞爾簡保爾及リキコール酒特別稅

一 外國及ヒ殖民地ヨリ輸入スル砂糖特別稅

一 旅客及ヒ商品ニ對スル稅

農產物、家畜及ヒ輸出稅ニ對シ 戰時特別稅ノ代ニ法律ヲ以テ定メラレタル輸出品ニ對スル二分五厘ノ附加稅ハ千八百九十七年度ニ係ル價額表各別類ニ照シ又陶土、五色石英及重結晶炭酸鹽、滑石、赭石及彩色用鐵土、浦奄炭酸鹽、エクセレル酒及ヒ之ニ類スル酒ノ價額ニ對シ國會ノ發議シタル追加規則ニ準據シテ徵收スヘシ
麵包、覆布、食卓掛布、麻綿又ハ大麻ノ屑布其他單ニ輸出稅則ニ定タル稅金ノ納付ニ止ル同物質ノ當用品ニ對シテハ附加稅ヲ徵收セス

硫化鉛鉛及含銀硫化鉛ニ對シテハ輸出税ノ二分五厘(從價税)ヲ徵收スヘシ又此等ノ諸品ニ對シテ輸出税ヲ設ケ若クハ設クヘキ諸國ニ仕向ラルル同上物品ニ對シテハ輸出税ノ五分(從價税)ヲ徵收スヘシ但シ現行税則ハ中止セラル

葡ニ對シテハ輸出税トシテ二分五厘(從價税)ヲ徵收スヘシ「カナリヤ」島ヨリ輸出スル石炭及「コーク」ハ輸出税ヲ免除ス本條ニ定ムル輸出税ハ西班牙ト外國トノ間ニ於ケル爲替相場カ百分ノ三十五以下ニ低落スルトキハ直ニ徵收ヲ止ムヘシ

本年七月一日以後税關ニテ取扱フ書類ノ實費ハ現今ノ二倍タルヘシ

又同日付第二勅令ヲ以テ制定セラレタル附加税徵收施行規定ハ左ノ如シ

領事手数料 外國駐在ノ西班牙領事ハ現行領事税則ノ手数料以外ニ臨時税トシテ二割ノ附加税並ニ二割ノ臨時特別附加税ヲ徵收スヘシ

旅客及ヒ商品ノ附加税 二割ノ臨時附加税並ニ二割ノ戰爭特別附加税ハ左ノ通り徵收スヘシ

鐵道、乗合馬車其他三十五「キロメートル」以上一定ノ區間ヲ往復スル各種ノ馬車營業ニ對スル通常税

即チ切符又ハ運賃ノ總額ニ對スル税金ト同時ニ徵收ス

税關收入及ヒ特別税 此種ノ附加税ハ左ノ通り徵收スヘシ

(イ) 現行税則ニヨリテナス處ノ精算ヨリ生スル輸入税ニ對シ二割

(ロ) 麵包覆布若シクハ食卓掛布、麻綿又ハ大麻ノ屑布並ニ同物質ノ當用品ニ關スル物價表ニ就キ

テ精算シタル輸出税ニ對シ二割

(ハ) 船舶出入ノ届書等ニ從ヒ旅客ノ乗船、上陸及ヒ荷物ノ揚卸ニ付キ國庫ニ納付スル航海税ニ對シ二割

(ニ) 衛生書察税ニ對シ二割

(ホ) 違警罪及ヒ輕罪罰金ニ對シ二割

(ヘ) 倉庫税ニ對シ二割

(ト) 税則第五表ノ諸税其他間税局ノ計算トシテ税關ニ於テ徵收スル特別税ニ對シ四割

以上ノ諸税ニ付テハ各種ノ報告書ヨリ生スル總額ニ照シテ附加税ヲ徵收スヘキ一定ノ精算額ヲ定ムヘシ本年七月一日以後ノ總テノ精算額ハ附加税ヲ課スヘシ但シ此期日以前ニ差出シタル申明書若シクハ國際關稅則ニ於テ除外例ノ目的物タル諸商品ニ關スル精算ニ對シテハ此限リニ在ラス

南阿戰爭及北清事變ニ於ケル英國ノ財政

南阿戰爭及北清事變ニ於ケル英國ノ財政

南阿戰爭ハ千八百九十九年十月ニ起リ千九百二年六月平和條約ノ締結ニ終レリ其間年ヲ閱スルコト二年九箇月兵ヲ用ユルコト三十万以上加之北清事變之ニ伴ヒシヲ以テ軍事費ハ無慮二十二億圓内外ヲ算スルニ至レリ今該軍事費支辨ニ關シ英國議會カ公ニシタル前後三回ノ報告ヲ掲ケ併セテ其概要ヲ示スコト左ノ如シ

千九百一年議會報告(第一回)

- (一) 歳入ヨリ支出セラレ又ハ支出セラルヘキモノ
- 一、千八百九十九年ヨリ千九百年ニ至ル經常費ノ剩餘 九、三三五、〇〇〇
 - 二、千九百年ヨリ千九百一年ニ至ル及ヒ千九百一年ヨリ 九、一八七、〇〇〇
 - 三、千九百年ヨリ千九百一年ニ至ル及ヒ千九百一年ヨリ 二六、七四九、〇〇〇

合計

四五、二七一、〇〇〇

(二) 公債ニヨリ支出セラレ又ハ支出セラルヘキモノ

- 一、大藏省證券 一三、〇〇〇、〇〇〇
- 二、軍事公債 二九五、一九〇〇〇
- 三、國庫債券 一三、四二三、〇〇〇
- 四、コロンツル公債(總額ヲ經タル六〇、〇〇〇、〇〇〇) 四二、一〇四、〇〇〇

合計

二百四十六

總計

(一) 公債償還基金ノ負擔

戰時負債ノ利子等ニ關スルモノ

- 一、千八百九十九年ヨリ千九百年ニ至ル
- 二、千九百年ヨリ千九百一年ニ至ル
- 三、千九百一年ヨリ千九百二年ニ至ル見積

合計

一一七、〇〇〇
一三八三、〇〇〇
三二五、〇〇〇
四、八五〇、〇〇〇

(二) 協賛ヲ經タル支出

南阿

- 一、千八百九十九年ヨリ千九百年ニ至ル
- 二、千九百年ヨリ千九百一年ニ至ル
- 三、千九百一年ヨリ千九百二年ニ至ル見積

合計

二二〇、〇〇〇、〇〇〇
六三、七三七、〇〇〇
五六、〇七〇、〇〇〇
一四二、八〇七、〇〇〇

清國

- 一、千九百年ヨリ千九百一年ニ至ル
- 二、千九百一年ヨリ千九百二年ニ至ル見積

三五〇、〇〇〇
一一六〇、〇〇〇

合計

五六六〇、〇〇〇

總計

一五三、三二七、〇〇〇

千九百一年及千九百年ニ於ケル増税ニヨリ二箇年間ノ收入概算總額ハ三千七百四十万四千磅ニ達スヘキ見込ナレトモ以上二箇年ノ歳入ハ經常費支辨ニ於テ千六十五万五千磅ノ不足ヲ生スヘキカ故ニ此レヲ差引クトキハ増稅收入額中ヨリ戰費トシテ用ヒ得ヘキ額ハ二千六百七十四万九千磅ニ過キス

「コンソル」公債六千万磅中四千二百十四万磅ヲ發行セハ目下戰費ヲ支辨スルニ足ルカ故ニ大藏尙書ハ尙將來ノ事件費トシテ千七百万乃至千八百万磅ノ殘額ヲ有セリ

千九百二年議會報告(第二回)

	一九〇二—三年	一九〇一—二年	一九〇〇—一年	一八九九—一九〇〇年	合計
(一) 南阿戰爭費					
一、常定基金					
軍事公債利子	四四〇,〇〇〇 磅	三、三六七,〇〇〇 磅	一、三八三,〇〇〇 磅	二七,〇〇〇 磅	九、三六七,〇〇〇 磅
二、補充費					
イ、陸軍費					

經常費	臨時費	行政費	小計	合計	補充費	陸軍費	總計
三九,六五〇,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	二,五五〇,〇〇〇	五九,二〇〇,〇〇〇	六三,六〇〇,〇〇〇		三九,〇〇〇,〇〇〇	六三,九五〇,〇〇〇
五八,〇七〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	六,六〇〇,〇〇〇	六九,六七〇,〇〇〇	七三,一九七,〇〇〇		二一,六〇〇,〇〇〇	六八,六二〇,〇〇〇
三七,七七七,〇〇〇	二五,九四〇,〇〇〇		六三,七三七,〇〇〇	六五,一四〇,〇〇〇		三,五〇〇,〇〇〇	六八,六四〇,〇〇〇
	一三,〇〇〇,〇〇〇		一三,〇〇〇,〇〇〇	一三,二七〇,〇〇〇			一三,二七〇,〇〇〇
一三三,五二七,〇〇〇	七〇,九四〇,〇〇〇	九,一五〇,〇〇〇	三三三,〇〇七,〇〇〇	三三三,六〇七,〇〇〇		六,〇一〇,〇〇〇	三三八,九八四,〇〇〇

備考

- 一、常定基金トハ議會ノ協賛ヲ待ツヲ要セサルモノ
- 二、補充費トハ議會ノ協賛ヲ要スヘキモノ
- 三、前表ニ依レハ英國カ軍事費トシテ要スル金額ハ開戦初年ヲ除クノ外毎年殆ント六千万磅乃至七千万磅ノ巨額ニ昇ル而シテ之ニ充當スヘキ財源ノ種類ヲ見ルニ公債ニ依ルモノ最モ多ク其

全額ノ六割六分餘ニ當リ租稅徵收額ハ二割六分餘ニ過キス今其割合ヲ示ストキハ左表ノ如シ

公債	一五二,四一五,〇〇〇	六割六分五厘
租稅	五九,九六八,〇〇〇	二割六分二厘
公債償還基金繰入	一三,八六八,〇〇〇	六分一厘
利餘全ヨリ繰入	二,七三三,〇〇〇	一分二厘
合計	二二八,九八四,〇〇〇	

右ハ軍事費充當額ヲ示スモノニシテ戰時稅及公債總額トハ一致セス
 次ニ租稅ト公債トノ内容ヲ左ニ略敘スヘシ
 第一、新稅ノ實收額及ヒ豫想額

稅目	新課稅率	一九〇二—三年	一九〇一—二年	一九〇〇—一年	合計
茶稅	一封度毎ニ二片	二,一五〇,〇〇〇	一,九二七,〇〇〇	二,〇九二,〇〇〇	六,一五八,〇〇〇
煙草稅	一封度毎ニ四片	一,三三三,〇〇〇	一,一八五,〇〇〇	一,四一一,〇〇〇	三,九一九,〇〇〇
酒精稅	一ガロン毎ニ六片	二一九,〇〇〇	二二四,〇〇〇	二二七,〇〇〇	六五〇,〇〇〇
砂糖稅	一「ハンド」レタ、ウエイト毎ニ四志二片	四,八五〇,〇〇〇	六,三三〇,〇〇〇	—	一一,一八〇,〇〇〇

石炭輸出税	穀物税	關稅合計	(二)内國稅		麥酒稅	酒精稅	所得稅	砂糖稅	印紙稅	内國稅合計	總計
輸出噸毎ニ一志 ト毎ニ三片乃至五片	一「ハンドレット、ウエイ」 ト毎ニ三片乃至五片	一三、三〇一、〇〇〇	一九〇〇—一年四片	一九〇〇—一年四片	一「パレル」毎ニ一志	一「カロン」毎ニ六片	一九〇〇—一年更ニ 二片 一九〇一—二年更ニ 二片 一九〇二—三年更ニ 一片	九〇,〇〇〇	小切手一ソニ付一片	二〇,八七二,〇〇〇	三三,一七三,〇〇〇
三、四〇五、〇〇〇	二、六五〇、〇〇〇	一〇、九七一、〇〇〇	八、八二〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇	八、五七〇、〇〇〇	一、四一三、六〇〇	六〇,〇〇〇	—	一六、八二六、〇〇〇	二七、七九七、〇〇〇
—	—	三、七一九、〇〇〇	—	—	一、七七八、〇〇〇	九、七二〇、〇〇〇	七、六四一、〇〇〇	—	—	一〇、三三六、〇〇〇	一四、〇五五、〇〇〇
—	二、六五〇、〇〇〇	二、七九二、〇〇〇	—	—	五、三三一、〇〇〇	二、六五五、〇〇〇	三、九三三、〇〇〇	一五〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	四、八〇三、〇〇〇	七、六〇五、〇〇〇

備考

一、關稅 戰時稅ノ總收入七千六百万餘磅中關稅ヨリ收納額二千七百九十餘万磅ヲ占ム内砂糖輸
入稅ノ目的ハ一方ニ於テハ收入ヲ補充センカ爲メナリト雖モ他ノ一方ニ於テハ歐大陸砂糖保
護政策ニ對抗シ殖民地ノ糖業ヲ發達保護セントスルモノナリ石炭輸出稅ハ英國炭ノ品質ハ殆ト
絶品トモ稱スヘク爲メニ假令輸出稅ヲ課スルトモ其ノ負擔ハ外國購買者ニ轉嫁スヘキヲ以テ英
國石炭業ヲ害スルコトナク適當ナル收入ヲ得ルト認メタルニ依ル穀物輸出稅ニ關シ政府ノ說
明スル處ニヨレハ本稅ハ帝國國家焦眉ノ急ヲ救ハンカ爲メ設ケタルモノニシテ英國カ自由貿易
主義ヨリ變シテ保護政策ヲ執リタルニアラサルヲ以テ千九百三年平和回復ト共ニ之ヲ廢止セ
リ

二、内國稅 内國稅ノ總額ハ遙カニ關稅ノ上ニ出テ四千八百万磅ノ收納ヲ見タリ所得稅ハ前後
三回一磅ニ就キ合計七片ヲ増課セリ千九百二年ニ至リテハ一磅ニ付一志三片ノ高率ニ達シ殆
ト戰爭前ニ倍セリ故ニ政府ハ昨年ノ豫算ニ於テハ四片ヲ減輕シテ十一片トナシタリ千九百二年
印紙稅ニ對シ更ニ一片ノ増稅ヲナサント計畫シタリシカ一般商業界ノ反對アリ政府ハ其議案ヲ
撤回セリ

第二、公債

別項公債ニ付キテハ二分利付軍事公債及千九百一年及其翌年ノ兩回募集シタル「コンソール」公債ヲ
合セ長期公債合計一億二千二百万磅ヲ募集シ國庫債券二千四百万磅大藏省證券一千三百万磅ヲ發行
セリ其總額ハ額面一億五千九百万磅ニ達セリ其細別左表ノ如シ

	募集總額	實收額	募集價格	利率	償還期限	同數	申込期限
「コンツルズ」	六〇,〇〇〇,〇〇〇	五六,五五三,〇〇〇	九四,一〇〇,〇〇〇	三	三三	九	一九〇一,〇四,三三
同 第二回	三三,〇〇〇,〇〇〇	二九,九一〇,〇〇〇	九三,一〇〇,〇〇〇	〃	三三	七	一九〇一,〇四,一六
軍事公債	五〇,〇〇〇,〇〇〇	二九,五一九,〇〇〇	九八,一〇〇,〇〇〇	〃	三〇	一〇	一九〇〇,〇三,一五
國庫債券	一〇,〇〇〇,〇〇〇	九七九〇,〇〇〇	九八,〇〇〇,〇〇〇	三	三	五	一九〇〇,〇八,〇七
同 第二回	三,〇〇〇,〇〇〇	二,九四〇,〇〇〇	九八,〇二〇,〇〇〇	三	三	一	一九〇〇,〇二,〇〇
同 第三回	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇六,八九〇,〇〇〇	九八,〇五〇,〇〇〇	三	三	一	一九〇一,〇三,一
大藏省證券	二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	三,一八〇,〇〇〇	〃	六	〃	一九〇九,一,一〇
同 第二	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	三,〇五〇,〇〇〇	〃	三	〃	〃
同 第三	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	三,〇五〇,〇〇〇	〃	三	〃	〃
同 第四	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	〃	三	〃	〃
同 第五	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	四,〇三〇,〇〇〇	〃	三	〃	一九〇〇,〇一,〇一
同 第六	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	三,〇七〇,〇〇〇	〃	三	〃	一九〇〇,〇三,一六
同 第七	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	〃	九	〃	一九〇〇,〇七,三三

同 第八	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	三,一九〇,〇〇〇	〃	三	〃	〃
同 第九	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,三〇〇,〇〇〇	〃	三	〃	一九〇一,〇三,一六
計	一五九,〇〇〇,〇〇〇	一五二,四一五,〇〇〇					

(備考) 償還期限欄ノ印ハ据置期間ナリ(一)國庫債券(「エグスチエツカー、ボンド」)第二三三四回ノ價格ハ應募平均價格ナリ(二)大藏省證券(「トリシュリー、ビルス」)ノ價格ハ平坂割引歩合ナリ、其償還期限ノ單位ハ月ナリ

千九百三年議會報告(第三回)

南阿戰爭費ノ總計ハ二億千五百六十六千磅ニシテ其他「トランスバール」及「オレンジ」河殖民地ニ對スル臨時費三百萬磅清國事件費六百一十萬磅ヲ要シタルヲ以テ戰費ノ總計ハ實ニ二億千七百六十六千磅ニ達セリ其内新規ノ租稅ニテ支出セラレタル額ハ即チ七千五百十五萬磅ニシテ其内譯ヲ示ストキハ左ノ如シ

租稅收入

茶 煙 酒 麥
草 精 酒

六〇一四〇〇〇
三九六七〇〇〇
三二八〇〇〇〇
五三三四〇〇〇

二百五十四

砂 糖 一、一〇三、〇〇〇

石 炭 三三二、〇〇〇

穀類及麵粉 二、三四七、〇〇〇

合計 三、五二六、〇〇〇

所得稅増徴 三、九八八、〇〇〇

總計 七、五二一、〇〇〇

次ニ經費ノ増加ニ隨ヒ借入レラレタル金額ヲ示セハ左ノ如シ

負債ノ性質	摘 要	負 債 額	實 收 額	償 還 期 限
大藏省證券	一八九九年大藏省證券 條令	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	一九〇三—四年
「トリジユリー、ビルス」	一九〇〇年戰時公債條 令	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	
國庫債券	一九〇〇年追加戰時公 債條令	一〇、〇〇〇、〇〇〇	九、七九〇、〇〇〇	一九〇三年八月七日
「エクスチユッカー、ボンド」	一九〇〇年追加戰時公 債(第二)條令	三、〇〇〇、〇〇〇	二、九四〇、〇〇〇	一九〇五年十二月七日
戰時公債	一九〇〇年戰時公債條 令	二〇、〇〇〇、〇〇〇	二九、五一九、〇〇〇	一九一〇年四月五日
「コンソール公債」	一九〇一年公債條令	六〇、〇〇〇、〇〇〇	五六、五五三、〇〇〇	一九二三年四月五日
	一九〇二年公債條令	三三、〇〇〇、〇〇〇	二九、八七五、〇〇〇	後償還
合 計		一五九、〇〇〇、〇〇〇	一五二、三七〇、〇〇〇	

租稅收入七千五百十五万磅ハ盡ク之ヲ戰費ニ充テ負債中ヨリハ一億四千九百四十八万二千磅ヲ支出シ
其他公債償還基金ヨリ九百二十二万八千磅ヲ繰入セリ乃チ左ノ如シ

租 稅 増 徴 七五、一五〇、〇〇〇

公債償還基金繰入 九、二二八、〇〇〇

負 債 一四九、四八二、〇〇〇

合 計 一三三、八六〇、〇〇〇

利 餘 一六、六九四、〇〇〇

總計戰費 二二七、一六六、〇〇〇

以上三回ノ報告中第一回ノ報告ハ戰時財政計畫ノ概要ヲ示シ第二回ノ報告ハ計畫ノ實行ヲ説明シ終ニ
第三回ノ報告ハ數字ヲ精確ナラシメタルモノナリ故ニ財政ノ運用方法ハ第二回報告ニ就テ之レヲ見ル
ヘク經費ノ多少ハ第三回報告ニ就テ之レヲ見ルヲ可トス

軍事費ノ總計ハ二十一億七千六百六十六万圓ニシテ其内公債ヲ以テ支出シタルモノ十四億九千四百八十
二万圓租稅増徴ヲ以テシタルモノ七億五千五百五十万圓ナリ即チ戰時稅ヲ以テ支辨シタル額ハ公債ノ半
額ヲ超ヘタリ其稅源トシテハ内國稅ニ於テ所得、麥酒、酒精、砂糖及印紙、關稅ニ於テ茶、煙草、酒精、砂糖、石
炭、穀物及麵粉ヲ撰ミタリ此レ等ノ課稅品ハ多ク奢侈品ナレトモ亦必需品トシテ見ルヘキモノナクシ

二百五十六
ハアラス次ニ公債ニ於テハ「コンソール」ニ回軍事公債一回出納局證書三回及大藏省證券九回ヲ發行シテ
ルカ利率ハ亦普通歩合ヨリモ幾分ノ高價ヲ示セリ

(參考書目)

BIBLIOGRAPHY
OR
THE FINANCIAL MANAGEMENT DURING
1. NAPOLEON PITT.

Imperial Library:—

- 109—96. Gustave Dicondary:—The History of the Modern Civilisation.
109—199. B. Rand:—Selections illustrating Economic History, since the seven years War.

Cabinet Library:—

Buxtons:—Finance and Politics.

English { 18753.
12827. } Gladstone:—Financial Statement.
2165. }

English, 18879. Northcote:—Twenty years of Financial Policy.

3. THE GREAT REVELLION IN THE UNITED STATES. 5. AMERICAN SPANISH WAR.

Imperial Library:—

- 109—180. A. S. Bolles:—The Financial History of the United States. . . . 3 vols
 150—18. D. R. Dewey:—Financial History of the United States.
 63—52. United States Report of the Secretary of the Treasury on the State of Finances.
 1860.
 63—53. United States:—Senates Document 1861.
 70—273. Edward Mepherston:—The Political History of the U. S. A. during the Great
 Revellion.
 48—53. Francis Bonnen:—American Political Economy.
 48—245. The Banker's Magazine (ed. America) 1895—99.

Cabinet Library:—

17303. English. Buxton:—Finance and Politics.
 21425. }
 16588. } Do. II. Adams:—Public Debts.
 19829. }

388. English. J. Sherman:—Selected Speeches and Reports on Financial and Taxation.
 1363. English. William D. Kelley:—Speeches, Address and Financial Questions.

4. FRANCE GERMAN WAR.

Imperial Library:—

- 124—191. von Ludwig Bamberg:—Die fünf Milliarden.
 124—190. Sölner:—Deutsche Beit und streit-Fragen. (5 Milliarden)
 48—130. Banker's Magazine and Statistical Register. July 1871—June 1872.
 102—98. Pl Bealien:—Traité de la science des finances.

Cabinet Library:—

- English. 8132. Baird:—Criticism on the recent Financial Policies of the United States and
 France.
 French. 5100. Octave Noel:—Étude sur la gestion financière en France depuis 1871.
 French. 1353. Rapport au Président de la République et déclarations générales de la cour des
 comptes 1870.

French. 5101. Les Grande crises financières de la France. (Gustave de puynode)
 French. 4990. Les Finances françaises de 1870 à 1878. (Mathien—Bodet.)

6. THE BOER WAR.

Imperial Library:—

- 141— 5. Finance Act. 1900.
 116—153. Estimates for Revenue Department, for the year ending 31 March 1899.
 116—160. Return of Public Income and Expenditure.
 115—133. Navy estimates for the year 1900—1.
 115—134. Estimates for Civil Services, 1900—1.
 115—134. Estimates for Civil Services, 1898—99.
 98— 30. Estimates for Civil Services for the year ending 31 March 1902.
 98— 39. Return relating to Imperial Revenue (Collection and Expenditure) for the year ending the 31st day of March 1901.
 39—174. Civil Services and Revenue Departments, Appropriation Accounts, 1898—99.
 40—104. Financial Statement (1900—1901). Final Figures.
 Return to the order of the Honourable the House of Commons.
 98— 42. Financial Statement (1901—1902).
 Return to the order of the Honourable the House of Commons.

- 40—105. Royal Commission on Local Taxation.
 141— 8. The Financial Half year, issued by the Times vol. 1. October 1. 1900, to March 31, 1901.
 48—130. The Banker's Magazine (Eng. ed.) Jan.—June, 1900.
 48—130. The Banker's Magazine (Eng. ed.) Jan.—June, 1902.
 48—242. Economist, London. 1899—1903.
 48—148. Review of Reviews. Annual. 1904.

OTHERS.

Imperial Library:—

- 48—130. The Banker's Magazine (ed. London) 1871—1872.
 96— 52. Fenn on the Funds.

Cabinet Library:—

- French. 1355. Rapport et proces-verbal de la commission de vérification des comptes des Ministères pour l'exercice 1871 et l'a année 1872.
 French. 3558. Compte définitif des recettes de l'exercice 1874.

French. 3565. *Projet de loi portant Règlement définitif de l'exercice 1872.*
 English. 10752.) Carey:—Miscellaneous papers on the national finances, the currency and other
 economic subjects.

Library, Tokyo Imperial University.

1—2—200. Cartmell, James Austin

The Finance Acts, 1894—1900.

VI—585. Root, J. W

Studies in British national finance.

Liverpool, 1901.

VI—604.

Zedlitz und neukirch, Octavio frhn, V.

Dressing Jahre preussisches Finanz und Steuerpolitik.

Y—1000.

London Times Weekly.

Ber. 1901.

VI—615.

Dewey, D. R

(1899—1903)

Financial History of the United States.

N. Y. etc. 1903.

VI—624.

Neymarch, A

Finances contemporaines

1. Trente années financières.

1872—1901.

Par. 1902.

VII—6—505.

Hiebs

A History of banking in all the leading nations.

VII—6—488.

Palgrave, R, H, Inglis.

N. Y. 1896.

Bankrate and the Money Market in England, France, Germany, Holland, and Belgium 1844—1900.

London 1903.

Leon Levi:—*The History of British Commerce.*

(VII—8—41 or VII—8—42)

Charles A Connant:—*A History of Modern Bank of Issue.*

(VII—6—183)

Leon Say:—*Les Finances de la France sous la Troisième République.*

(VII—253)

G. R. Rortter:—*Progress of the Nations.*

(VIII—18)

- Fowcett:—Gold and Debt
(VI—43)
- Spanking:—Financial History of the war. 96.
(VII—6—96)
- Henry Poor:—Monetary and its Laws.
(VII—6—78)
- Simon Newcomb:—A Critical Examination of our Financial Policy during the Southern
Rebellion.
(VI—88)
- H. C. Adams:—Public Debts.
(VI—1)
- S. Buxton:—Finance and Politics.
(VI—27)
- Do. Mr. Gladstone, as Chancellor of the Exchequer.
(VI—)
- The Economic Journal. vol. 9—vol. 12.
(VI—)
- Monthly Summary of Finance and Commerce of the United States.
Jan.—June 1898.
- July—Sep. . . (6/1).

- Sept.—Dec. . . (6/2).
/ 3 vols. (V—276)
- The Banker's Magazine (ed. America)
1898—99.
(2—200)
- Kaufman:—Die Finanzen Frankreichs.
(VI—71)
- Library of Finance Department.
Bastable, Public Finance.
Giffen R. . . . Essays in Finance.
Bolles, Financial History of U. S.
Buxton, Finance and Politics.
Gibbon, Public Debt.
Gladstone, Financial Statement.
Statistical Abstract.
Sanchole, F. . . .
- Les augmentations des impôts existants et les nouveaux impôts établis en 1871,
1872, et 1873.
(Cab. French. 1177.)

附錄

露國行政機關摘要

露國行政機關摘要

目次

第一章 中央行政機關	二百七十一丁
第一節 高級行政機關	同
第一項 帝國參議院	同
第二項 大臣委員會	二百七十三丁
第三項 內閣	二百七十七丁
第二節 下級行政機關	二百七十九丁
第一項 元老院	同
第二項 教務院	二百八十五丁
第三項 各省及主要ナル行政廳	二百九十二丁
(イ) 外務省	二百九十三丁
(ロ) 陸軍省	二百九十四丁
(ハ) 海軍省	二百九十五丁

(三) 大藏省	二百六十八
(ホ) 帝國會計検査院	二百九十五丁
(ヘ) 農務兼官有地事務省	二百九十六丁
(ト) 帝國種馬管理本部	同
(チ) 遞信省	二百九十七丁
(リ) 司法省	同
(ヌ) 内務省	二百九十八丁
(ル) 文部省	二百九十九丁
(ヲ) 宮内省	三百一丁
(ワ) 皇帝宛請願書調査局	同
第二章 地方行政機關	三百二丁
第一節 地方普通官廳	三百三丁
第一項 知事	三百五丁
第二項 州廳	同
第三項 總督	三百六丁
	三百七丁

第二節 地方特別官廳	同
第一項 財務廳	同
第二項 官有地事務局	三百八丁
第三項 消費稅管理局	同
第四項 會計検査院	同
第五項 州及郡警察署	三百九丁
第六項 地方軍政部	同
第七項 地方學政部	同
第八項 地方教務部	三百十一丁
第三節 地方混成官廳	同
第三章 自治	三百十二丁
第一節 貴族制度	同
第二節 村邑	三百十四丁
第三節 地方議會	三百十九丁
第四節 市制	三百二十三丁
	三百三十一丁
	二百六十九

第一章 中央行政機關

第一節 高級行政機關

高級行政機關ニ直接隸屬スル高級行政ハ一定ノ機關ニ存在スル主權之ヲ執行ス故ニ該機關ハ法律上ヨリテ自ラ之ヲ執行スルノ職權ヲ與ヘラレタルニアラス寧ロ該機關ハ惟一ノ主權掌握者タル皇帝ヲ補弼スルノ職責アリ即チ該機關トハ帝國參議院大臣委員會及ヒ内閣ヲ云フナリ

第一項 帝國參議院

權限 帝國參議院ノ本體ハ法律ニ於テ左ノ如ク規定セラレタリ即チ參議院ハ國家制度上ノ列位ヨリスレハ一ノ團體組織ヲナレ立法ト至大ノ關係アルヲ以テ各般ノ行政ヲ商議シ之ヲ皇帝ニ執奏スルモノトス(帝國法律第一卷第二部第一條)

右ノ規程ヲ一讀スルトキハ詳カニ其内容ヲ知ル能ハサルモ退テ之ヲ熟考スレハ帝國參議院ハ其院議ニ附セラレタル事項ヲ常ニ皇帝ニ執奏シテ勅裁ヲ仰クヘキ處タルヲ知ルニ難カラス前述セシ如ク參議院ハ獨立行動ヲナス職權ヲ有セス總テ帝國根本元法第五十條ニ明示スル法律ヲ發布スルニ方リ之ニ參與スルノ責アリ即チ參議院ハ各般ノ法案ヲ精査シタル上勅裁ヲ受ルナリ

其他現行法律ニ精確ノ解釋ヲ與ヘ其編制ヲナスモ亦參議院ニ於ケル立法上ノ行爲ニ屬ス(注 右根原法第五十條第二項ハ)參議院ハ軍事法律ニシテ一般國法ト一モ關係ナクシテ全ク技術的性質ヲ有スルモノニ訂正及解釋ヲ加フルトキハ前以テ帝國參議院ニ於テ商議セス陸軍會議又ハ海軍會議ヨリ直チニ之ヲ皇帝ニ執奏ス(帝國法律第一卷第二部第二十四條參照)

其他參議院ハ行政又ハ一般ノ國安ニ關スル事件ニシテ法律ニ於テ指定セラレサルハ勿論法律上ヨリ其規程ヲモ設定セス且ツ各省大臣ノ職權外ニ屬スルモノニ就テモ之ヲ商議スルノ責アリ該事件トハ例之ハ宣戰媾和及其他重大ノ事件ニシテ其物ノ性質ニ據リ前以テ大臣ニ於テ審議ヲ盡ス能ハサルモノ、如シ從來立法權ハ現行法ノ除外例ヲ必要トスルトキハ之ヲ設定スヘキモノタルヲ以テ參議院ハ此等ノ場合ニ於テモ右ト均シク之ニ參與スルノ責アリ是ヲ以テ參議院ハ株式會社ニシテ其特典ノ要求又ハ所有權引上ニ關スル規程及ヒ侯、伯、子ノ授爵ヲモ議定スルコトアリ其他最高等財政ニ關シ參議院ニ屬スル職權ハ即チ帝國豫算、此豫算ノ施行ニ關スル年報ノ查閱、歲入歲出ノ均衡ヲ得セシムル爲メ又ハ臨時ノ財政計劃ニ關シ其規程ヲ設ルコト各省及ヒ其他主モナル行政廳ノ豫算ヲ調査スルコト、豫算外ノ貸附ヲ命令スルコト、市ニ於テ新ニ地方稅ヲ賦課シ又ハ法律以外ノ増徴ヲナスヲ認可スルコト、國稅未納額及請求額ノ免除又ハ官有財產ノ讓與等ニシテ此等ノ場合ニ於テハ法律ニ據リ勅裁ヲ經ルヲ要ス

其他帝國參議院議員、各省大臣、或ル行政廳ノ長官及ヒ總督ニシテ其職責ヲ冒瀆スルカ又ハ三大位階ニ在ル官吏、軍事司令官竝ニ之ト同一ノ資格ヲ有スル者カ瀆職ノ爲メ告訴セラレヘキ場合ニ於テ參議院ハ此種ノ裁判事件ニ參與シ且ツ皇帝ヨリ命セラレタル各般ノ事件ヲ處理ス

組織 帝國參議院ノ議長ハ皇帝トス皇帝不在ナルトキハ每歲之カ爲メニ勅任セラレタル議員之ヲ代理ス各省大臣ハ其職務上ヨリ參議院ノ議席ヲ占メ發言ヲナスノ權アリ其他ハ各官廳ノ最高等官吏ニシテ其現職タルト否トヲ問ハス皇帝此内ヨリ議員ヲ任命ス參議院ヲ區分シテ總會議及ヒ諸局トナスト雖トモ局員ノ多クハ總會議ノ委員トナリテ其職務ヲ執行スヘキモノトス如何トナレハ總會議ニ於テ議スヘキ

議案カ皇帝ヨリ直接此會議ニ於テ議定スヘキ命令下ラサルトキハ常ニ各局ノ内就レカノ局ニ於テ此議案ヲ商議シ又ハ決定スルヲ以テナリ此局ヲ區分シテ即チ(第一)立法局(第二)軍事局(注 軍事局ハ數年ニ過) (第三)民事、教務局及ヒ(第四)財務局是レナリ以上四局ニ於テ議シタル事件ハ特ニ法律ニ示定シタル儘カノ場合ヲ除キ直接勅裁ヲ經ルニアラス總會議ノ商議ヲ經タル上初メテ勅裁ヲ受クヘキナリ議案ハ勅命ニ依リ各局ニ下附セラレ、コトアリ或ハ當局大臣ヨリ提出セラレ、コトアリ局ノ議事ニシテ教務院ニ關係スルトキハ其教長ヲ招喚スルヲ例トスレトモ局ノ見込ニ依テハ其議事ニ關シ必要ナル報告ヲナシ得ヘント認ムル 第三者ヲシテ之ニ立合ハシムルヲ得而シテ參議院中ニハ總會議ニ於テ議事ノ理由ヲ演述スルノ任アル 國務大臣ノ監督スル 宰相同ノ外尙ホ法律編纂部ナルモノアリ(以前ハ皇帝ニ屬スル書記局ノ第二部ニ當ル)又事件ノ性質ニ依リ 數局ノ精密ナル 調査ヲ要スルモノニ就テハ數局相聯合シテ會議ヲナス 其他鐵道認可ノ件ニ關シ 國家カ一人ニ對シ或ル保證、保護又ハ其他ノ義務ヲ負擔スルトキハ參議院ノ財務局及ヒ大臣委員會共同會議ヲ開キ之ヲ決議ス若シ參議院ノ會議ニ於テ意見ノ一致ヲ缺クトキハ參議院ハ只皇帝ニ發言數ヲ報告シタル上多數及少數ノ意見ヲ執奏スルヲ例トスト雖モ各議員ニハ其異議ヲ書面ニテ提出スルヲ許ス參議院ノ決議ハ請願書ノ形式ニテ之ヲ皇帝ニ捧呈ス而シテ該請願書ハ如何ナル方法ニテ其批准ヲ受ケ及ヒ其公布ヲナスヘキヤ他章ニ於テ之ヲ詳述セントス(註 帝國法律第一卷第二部第一條ノ備考ニ於テハ帝國參議院ニ於ケル口頭上ノ申立規程ニ書面ヲテ意見ヲ述フルハ黨派ヲ以テスルニアラサレハ之ヲ爲スヘカクサルコトノ特種ノ規程ヲ撰リケタ)

第二項 大臣委員會

各當局大臣行政上ノ權限ハ一般ニ能ク區劃セラル、ト雖モ國家生存ノ狀態自ラ複雜ナルニ依リ隨テ行政問題ヲ裁定スルニ方テモ各大臣ノ合議ヲ可トスルコト往々之アリ蓋シ是レ國家ノ利益ヲ偏在セシメスシテ之ヲ普及セシムルニ重キヲ置ク處ナリ斯ル次第ニ依リ各般ノ行政監督ノ任アル大臣絶ヘス互ニ此事ニ與カルヲ必要トス而シテ此必要ニ應スルカ爲メ千八百二十二年ニ於テ提出セル各省ノ意見ニ據リ夙ニ各大臣ハ皇帝ニ奏上セシ特別建言ノ外各大臣聯帶ノ建言ヲモナスニ至レリ一ダヒ此ノ如キ慣例ヲ設ケタルヨリシテ大臣委員會ハ更ニ常置ノ機關トナリ國家重大ノ事件ヲ裁定スルニ方テハ各大臣此委員會ヲ招集シ且ツ屢ニ確定セル規定ヲモ發布セリ而モ此規程ハ新法律トナシ素ヨリ參議院ノ院議ニ附セサルヲ得サリキ此法律タル多クハ臨時又ハ一時ノモノトシテ指定シタレハ之カ爲メ新法律トシテ其性質ヲ變更スヘキニアラス如何トナレハ新法律ハ決シテ法律ノ範圍内ニ於テ運動セサリシト雖モ現行法律ヲ變更若クハ廢止セシヲ以テナリ現ニ千八百八十一年ニ於ケル臨時ノ保護ニ關スル規程カ其成立ヲ見ルニ至リタルハ大臣委員會與リテカアルヲ以テ偏ニ其謝意ヲ同委員會ニ表セサルヲ得サルヘシ而レテ公ケノ安寧及秩序ヲ維持スルノ規程ニ干與スルハ亦是レ大臣委員會ニ於ケル權限ニ屬スト雖モ斯ル事項ノ内容ヨリ云ヘハ其權限以外ニ出ルモノトス如何トナレハ右ノ規程ハ各官廳及ヒ官吏ノ法律上ノ職權ヲ一ハ無効ニ歸セシメ一ハ著ルシク擴張セシメ且ツ大ニ各臣民權利ノ範圍内ニ立入ルモノナレハナリ然リ而レテ專制君主ノ意思ハ即チ是レ法律上惟一ノ源泉タルヲ以テ國家各般ノ秩序モ其意思ニ由テ破壞シ得ルノ結果トナルカ故ニ右ノ場合ニ於テ新法律ヲ發布スルニ方リ帝國參議院(注)帝國法律第二十條ニ於テハ地テ事件ノ内容ニ關リ帝國參議院又ハ元老)大臣委員會又ハ各當局大臣ヲシテ其議ニ

與カラシメ之ヲ贊助セシムヘキヤ否ヤハ其意思ノ如何ニ依ルモノトス
權限 大臣委員會ニ於テ所管スル事件左ノ如シ

(第一)總テ各省ノ行政上ヨリ生スル常務即チ(イ)數省ノ協議贊助ヲ要スルモノ(ロ)當局大臣ハ行政事件ノ裁定若クハ施行ヲナスニ方リ疑義ヲ生スルトキ(ハ)右事件ノ性質ニ依リ當局大臣ノ權限外ニ涉リ勅裁ヲ要スルトキ

(第二)法律カ大臣委員會ニ明示スル事件トス此等ハ帝國法律第二十六條第二十項第一(ロ)ニ揭示シ此内ニ諸般ノ事項包含シアルヲ以テ之ヲ左ノ科目ニ區別ス即チ(甲)高等警察ニ關スル事項(乙)財政事項(丙)行政上人ニ關スル件及ヒ(丁)自治體ニ關スル件是レナリ余輩ハ以上各種ノ事項ヲ一々茲ニ明示セサルモ其内最モ重大ナルモノヲ右科目中ニ入レ之ヲ指定セントス

高等警察事項 一般ノ安寧秩序及人民ノ給養ニ關スル規程、禁止セル會社、組合等ノ設置ニ關スル事項、教派事件、檢定ノ必要ヲ認メサル書籍及新聞雜誌ノ抑制等ハ右事項中ニ屬ス
財政事項 大臣委員會ハ商會及ヒ株式會社ニシテ特典、又ハ政府ノ保護等ヲ要求セサルモノニ限リ其定款ニ認可ヲ與ヘ又ハ鐵道ノ敷設ニ關シ一私人ニ許可ヲ與フルモ亦此事項内ニ屬ス其他大臣委員會ハ官設鐵道ノ敷設ヲ裁定シ、(注)千八百九十三年ニ於テ柴伯里鐵道ニ關シ特別委員會ハ内務大臣官有地事務省大臣、逓信大臣、陸軍大臣、海軍省官吏及)臨時設置ノ官衙ニ於ケル豫算ヲ確定シ又法人ノ建設物ニシテ其建設主最早生存セサルカ若クハ事情一變シ隨

テ其財産ノ管理ヲ變更スヘキトキハ此等法人ノ爲メニ其建設物ヲ整理シ其他恩給及ヒ一回ノ補助金ヲ定ムルニ方リ各大臣ニ屬スル職權外ニ出ル等ノコトアレハ委員會ハ此種ノ事項ヲ確定シ且ツ人ニ關スル行政上ノ事件ヲ負擔ス但シ此内ニハ大臣又ハ大法官ノ提議ニ依リ總督及總督府ニ對シ譴責ノ件ヲ申達シ勅命ヲ總督ニ傳達スルニ如何ナル法式、期日及ヒ順序ヲ以テスヘキヤヲ決定シ又如何ナル政府ノ官吏及ヒ地方吏員カ其兵役ヲ免除セラル、ヤ等ヲ規定スルノ件ヲ包含ス

自治體事項 大臣委員會ハ自治體ニ關シ二種ノ職權ヲ有ス即チ(第一)總督府ノ地方會議ヨリ提出セル或ル請願書カ大臣ニ於テ之ヲ却下セントスル場合ニ於テハ其却下前之二關スル書類調査ノ爲メ大臣委員會ニ提出スヘキコト(第二)右地方會及ヒ市會ニ於テ議決シタル事項ニシテ國家ノ利益ニ伴ハサルカ若クハ之カ明カニ地方人民ノ損害トナルカ又ハ之ニ變更ヲ加フルモ右地方會及ヒ市會ニ於テ決定シタル稅額以上ノ金高ヲ徵收スヘカノサルトキハ委員會ハ此等決議ノ事項ヲ廢止又ハ變更スルノ權アルコト是レナリ

大臣委員會ハ前記ノ外帝國ノ各地ニ設置シアル諸般ノ高等行政機關例之ハ高加索、オストゼー、柴伯里、波蘭王國ノ委員會及農事委員會等ニ關スル職務ヲ委任セラレタリ其他帝國法律第二十七條(第一)(丙)ニ於テハ芬蘭總督ハ帝國及大公爵領トモ同時ニ關係ヲ有スル事件ニシテ一モ芬蘭法律ノ變更ヲ要セサルモノハ大臣委員會ノ意見ヲ諮詢スルノ權利ヲ有ストノ事ヲ規定セリ
大臣委員會ハ帝國參議院ト一様ニ總テ自己ノ發案權ヲ有セサルモノニシテ單ニ大臣及ヒ高等行政官ノ

委任又ハ皇帝陛下ノ命令アルトキニ限り商議ヲナス其決議ハ只僅ニ異例ヲ以テ其批准ヲ經ヘキモノタリ而シテ其決議ノ實施ハ當局大臣ノ任タリ芬蘭總督ヨリ提出セル事件ニ關シ批准ヲ經タル大臣委員會決議ノ公布及ヒ實施ハ同總督ニ之ヲ委任ス

組織 大臣委員會ハ各大臣、大臣ト同等權利ヲ有スル高等行政官、帝國參議院ノ局長、法律編纂部長及ヒ特ニ勅任セラレタル官吏ヲ以テ其委員トナス其他芬蘭總督ノ提議ヲ議事ニ附セラレ、トキ總督ハ其會議ニ列シ又教務院ノ職權内ニ屬スル事件其議題トナルトキハ同院總監之ニ列スルモノトス加之ナラス大臣委員會ハ官廳ヨリ議場ヘ列席ノ要求アレハ其長官ヲ招集スルノ權アリ議長ハ皇帝ヨリ特ニ任命セラレ、モノトス

第三項 內閣

大臣委員會ニ屬スル事務ノ範圍漸次年ヲ逐フテ擴大シタルト共ニ其當初ノ目的即チ委員會ノ議事ニ附スヘキ重要ノ事項ヲ皇帝ノ面前ニ於テ執奏スルコトカ常務決議ノ爲メ自ラ停滯スルニ至レリ是ニ於テ乎各大臣相互又ハ皇帝ト相近昵シテ國家ノ統治ニ關スル普通ノ條項ヲ規定スルノ便宜ヲ得セシムヘキ一機關ヲ設置スルノ必要ヲ見ルコト、ナレリ斯ル次第トナリタル爲メ竟ニ千八百六十一年ニ於テ內閣ナルモノヲ設定セリ

權限 內閣ハ(第一)當局大臣又ハ高等行政官ニ於テ編制シタル法案ヲ調査シテ之ヲ帝國參議院ニ提出スヘキヤ否ヲ決定ス(第二)行政上ヨリ生スル各般ノ障礙ヲ排除センカ爲メ各省ノ提議ヲ調査ス(第三)各大臣ノ所管ニ屬スル諸般ノ必要ナル訓令ハ之ヲ內閣ニ告知シ閣員ハ之ニ依テ其事由ヲ知悉シ行政ノ

統一ヲ計ルヘキコト(第四)行政各部ノ普通規程ニシテ一モ國家ノ高等機關ニ屬セサルモノヲ議定ス(第五)大臣及ヒ高等行政官ノ計算報告ヲ通覽スル爲メ設置セラレタル委員會ノ決議及ヒ(第六)皇帝ヨリ内閣ニ下附セラレタル各般ノ事件ヲ領收スルコト是レナリ内閣ナル機關ニ於テモ右ト一般發案權ヲ有セス内閣ニ於テ議事ニ着手セントスルトキハ其都度又ハ各般ノ議事ニ付キ勅命ヲ受ルヲ要ス大臣又高等行政官ハ其勅命ヲ受クルカ爲メ直ニ皇帝ニ執奏スルモノトス

組織 皇帝陛下ハ親ラ内閣ノ首席ヲ占メ而シテ大臣及ヒ之ト同等ノ權利ヲ有シ且ツ大臣委員會ノ議席ヲ占メ發言權ヲ有スル高等行政官ヲ以テ閣員トナス而シテ第三者ト雖トモ皇帝ヨリ直接ノ命令アレハ内閣會議ニ列スルヲ得其他國務大臣ハ常ニ其議席ニ在ラサルヘカラス又各般ノ立法問題ニ關シテハ帝國參議院ノ法規ノ内ヲ拔萃シテ之ヲ報告スルノ權アリ皇帝陛下カ或ル事件ノ會議ニ親臨スルヲ欲セサルトキハ之カ爲メ別ニ委員會ヲ設置シ其決議ニ付勅許又ハ親裁ヲ仰ク爲メニ之ヲ皇帝ニ提出スヘシ

大臣委員會及ヒ内閣トモ兩カヲ相酷似スル機關ニシテ其職務ノ權限ト云ヒ組織ト云ヒ劃然區別スヘカラサルカ如シト雖トモ大臣委員會ニ於ケル職務ノ要點ハ行政ノ範圍内ニ又内閣ノ重要ナル點ハ立法ノ範圍内ニアリト一般ニ是認スル處ナリ斯ル次第ヨリシテ内閣ハ或ル程度マテ帝國參議院ト相競争スルコトアリ蓋シ此兩機關ノ判然相分ル、ノ點ハ「プロフェツアルレツキセーウ」ノ說ト均シク大臣委員會ハ法律發案權ヲ執行スルニ方リ皇帝ヲ補佐シ帝國參議院ハ法律ノ裁可ヲナスニ方リ皇帝ヲ補佐スヘント云ヘルコトニ就テ之ヲ求ムルノ外ナシ

第二節 下級行政機關

第一項 元老院

法律ハ元老院ヲ以テ最高等裁判、行政及ヒ執行ノ二官廳ヲ併合シタルモノトナシ國家ノ最高等機關及ヒ法律ニ依リ特ニ此最高等機關ニ附屬スルト認ムルモノヲ除クノ外帝國ノ各官廳ハ皆此元老院ニ隸屬ス而シテ元老院ハ行政及ヒ法律ノ執行ヲ監督スルノ責務アルヲ以テ法律ノ擁護者トナリテハ各所ニ於ケル裁判上ノ取扱、租稅ノ徵收及ヒ豫算ニ示シタル歲出ヲ監視シ國民ノ困難ヲ救濟シ一般ノ安寧ヲ確保シ及ヒ各所管ノ官廳ニ於テ不法ノ行爲アレハ之ヲ防遏スルノ方法ヲ捜査ス而シテ元老院ハ其人ノ如何ヲ問ハス公平無私裁判上ノ取扱ヲナスヘキヲ以テ同院ハ即チ民事及ヒ非訟裁定ニ關スル裁判ニ就キ最高監督ヲナスト同時ニ亦控訴院タリ元老院ノ首席ハ皇帝親ラ之ヲ占ム

夙ニ彼得大王ノ時代ニ於テ設置セラレタル元老院ハ總テ國家ノ統治權ヲ收攬セシヲ以テ今日ノ元老院ニ比スレハ更ニ廣大ナル職權ヲ有セリト雖モ其後帝國參議院、大臣委員會内閣諸願書取扱委員ノ設置竝ニ各省大臣ニ屬スル職權擴張セラレタルニ由リ漸次其統治權ヲ狹縮セラレ特ニ立法上ニ於テ往時ノ所管範圍ヲ削減セリ抑モ其此ニ至リタルハ國家ノ制度ト至大ノ關係ヲ有スルモノニシテ即チ帝國參議院ノ設置以來立法問題ハ轉シテ同院ノ職權ニ屬セサルヲ得ス啻ニ此一點ニ止マラス同參議院ノ外ニ尙大臣委員會、内閣及ヒ各大臣ハ勅許ヲ經レハ法律又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル條例ヲ發布シ得ルニ至レルカ故ニ元老院ノ職權上ヨリ見レハ大ニ昂スヘキコトナリ而シテ以上ノ機關設置アルト共ニ最高官衙ニ於テハ三權即チ立法(帝國參議院)行政(大臣委員會及ヒ内閣)及ヒ司法(元老院)ノ分立ヲ實行セン

ト希臘當時ノ立法者及ヒ其同僚トモ皆此種ノ意見ヲ懷キタルコトハ蔽フヘカラサル事實ナレトモ素ヨリ其目的ヲ達シ得ヘキコトニアラス是ヲ以テ元老院ハ時ノ經過ニ伴ヒ全ク別種ノ職權ヲ有セシニ尙ホ其後モ司法行政混淆ノ職制ヲ保持セリ

其他元老院ニ於テ新法律ヲ制定シ又ハ現行法律ヲ變更セントスルトキハ其法案ヲ司法大臣竝ニ帝國參議院ヨリ皇帝ニ提出シ又元老院ハ如何ナル現行法律ニテモ其施行上困難ヲ生スルトキハ之ト同一ノ手續ニ依テ其次第ヲ皇帝陛下ニ上奏スヘキコトナリ抑モ元老院ノ其此ニ至リタルハ同院ノ職權タル至高權ヲ以テ新ニ發布セラレ又ハ批准セラレタル法律ニハ全ク關係ヲ有セストノ追則ヲ以テ之ヲ制限セラレタルモノニシテ而モ此制限ハ亞歷山王第一世千八百三年ノ勅令ニ明示シ且ツ帝國根元法第七十四條ニモ掲載スル處ナリ然ルニ他ノ一方ヨリ云ヘハ元老院ハ或ル場合ニ於テハ省令カ果シテ合法的ナルヤ否ヲ監督シ且ツ省令ニシテ勅命ヲ受クヘキ場合ト雖モ尙ホ之ニ裁定ヲ與フヘキコトナリ此等ノ事項モ亦根元法第七十七條及第七十八條ヲ以テ規定セリ該根元法ニ據レハ各官廳ハ勅命ニ依リ達セラレタル省令ニシテ法律又ハ皇帝ノ署名アル勅令ト相離スヘシトノ意見ヲ有スルトキハ此種ノ省令ヲ施行セスシテ其意見ヲ大臣ニ具陳スヘシトノコトアルニモ拘ハラズ當該官廳ハ新ニ命令ヲ發セントスルトキハ元老院ノ裁定ヲ受クルノ義務アリ總督府ハ元老院ヨリ發シタル勅令ニ對シ抗議ヲナスヘキ權アリト雖トモ若シ元老院ニ於テ其勅令ヲ以テ正當ノモノト認ムルトキハ同院ハ該勅令ヲ以テ全ク皇帝親ヲ發布レタルト同様之ヲ施行スヘキナリ是ヲ以テ法律ハ元老院ニ對シ實際一大權力ヲ附與スレトモ此權力ナルモノハ重大ノ問題ニ關シ檢事總長若クハ司法大臣ノ同意ヲ得ヘシトノ點ニ依テ制限セラレ此際

司法大臣ハ普通會議ノ決議ヲ參議院ヲ經皇帝ニ執奏スルヲ得ヘキナリ

元老院ノ裁定ニ就テハ各大臣竝ニ高等行政官ニモ其影響ヲ及スコト鮮カラス是レ或ル事件即チ元老院ノ訴訟局カ此兩官吏ノ提議ニ贊助セシメテ其普通會議ニ委スヘキモノヲ裁定スルニ方リ兩官吏トモ其會議ニ出席スルノ必要アレハナリ然リ而シテ元老院民刑兩訴訟局ノ高等檢事ハ僅ニ一ノ意見ヲ述フルノ外最終ノ裁定ニ就テハ毫モ之ニ關係ナキヲ以テ常ニ充分ニ兩局ノ獨立ヲ得シコトヲ希圖セリ抑モ元老院ニ關シテハ前章ニモ述ヘシ如ク法律及ヒ省令ノ發布ヲ委任セラレ、ヲ以テ假令ヒ形式上タリトモ立法ノ範圍内ニ立入り其職權ヲ執行スルノ權アルヲ記憶セサルヘカフス然ルニ近代ニ及ヒ大臣ハ直接ニ官報ニ於テ其省令ヲ發表シ以テ元老院ニ代リ之カ取扱ヲナスコト往々之レアリ法律ニ據レハ大臣ノ職責ヲ監督スルハ元老院ノ任タリ蓋シ元老院ハ大臣ノ所管内ニ於テ一大弊害ノ生シタルトキハ當該大臣ヲシテ其理由ヲ説明セシメ若シ其説明ニシテ充分ナラサルトキハ勅裁ヲ經ルノ權ヲ有スルニ由ル總督及ヒ總督府ニ譴責ヲ加フルニ方テモ亦均シク勅裁ヲ要ス尤モ職責ノ懈怠ニ關シテハ只注意ヲ加フルニ止マリ別ニ之レカ爲メニ勅裁ヲ經ルヲ要セサルモ司法大臣ニシテ之カ爲メ命令ヲ下スヲ至當ト認ムル場合ニ限り之ヲ爲スノ義務アリ去レハ法律ヲ以テ元老院ニ附與シタル監督權ハ實ニ有名無實ノモノニ過キス如何トナレハ元老院ハ斯ル職權ヲ執行セントスルモ常ニ權方者ヨリ掣肘又ハ阻碍セラレ、ヲ以テナリ

組織 元老院議員ハ皇帝陛下ニ直接隸屬スル文武ノ官吏ヲ以テ之ニ任ス此種文武ノ官吏ハ元老院議員タルト同時ニ他ノ官職ヲ兼任スルヲ得而シテ元老院兩訴訟局ノ議員ハ少クトモ三箇年高等檢事又ハ高

等法院長、裁判官又ハ檢事トシテ在勤シタルモノヲ之ニ任ス其他元老院ノ會議ニハ(第一)大臣、(第二)教務院教長及ヒ(第三)總督及ヒ軍務知事ニシテ其政廳ニ關スル事件ノ爲メニ聖彼得堡ニ駐在スルモノヲレテ之ニ列席セシム其他此會議ニハ第三者ヲモ召集スルヲ得ヘシト雖モ第三者ハ僅ニ一ノ發言權ヲ有スルニ過キス而シテ第三者ノミ召集セラル、事件ニ關シテハ特ニ然リトス元老院全體ニ係ル總會ハ之ヲ設定セス只元老院ハ各局及ヒ或ル諸局ノ會合スル所謂普通會議ニ於テ其事務ヲ協議ス元老院ニハ都合八局アリテ各其職務ヲ左ノ如ク分掌ス

(第一)行政事件ニ關シテハ第一局第二局及ヒ第三局

(第二)司法事件ニ關スル局

(甲)舊司法制度ニ關シテハ民事局(第四)刑事局(第五)

(蓋シ亞歷山二世ノ司法制度初メテ全帝國ニ實施セラレントスルニ及ヒ此兩局ノ職權範圍極メテ狹隘トナリシヲ以テナリ)

(乙)新司法制度ニ據ル訴訟事件ニ關シテハ民事(第六)刑事(第七)

(第三)司法並ニ行政上ノ職務ヲ執行スル非訟裁定局(第八)

議官ノ勅任セラル、ト同時ニ其勤務ヲナスヘキ局ヲ指定セラル、モノトス會議ニ於テハ少クトモ二名ノ議員隨會セサルヘカラス局長ハ每歲司法大臣ノ上奏ニ依リ皇帝之ヲ任命スト雖モ第一局ハ此限ニアラス同局ハ位階ニ準シ其最モ高キ議官其首席ヲ占ム而シテ第一局ハ皇帝陛下親臨シテ之ヲ總裁スルモノト假定スルヲ以テ其總裁ノ席ハ常ニ皇帝ノ爲メニ備ヘ置クモノトス各局ニハ高等檢事一名ヲ置キ之ヲレテ事務ノ經過及判決ノ正否ヲ監督セシメ而シテ書記課之ニ隸屬ス元老院諸局ノ地位ハ帝國參議院

ノ諸局ト全然其趣キヲ異ニスルモノニシテ即チ帝國參議院ノ諸局ハ一モ獨立ノ職權ヲ有セスシテ多クハ總會ニ於テ商議決定シタル事項ヲ執行スト雖モ元老院ノ諸局ハ之ニ反シ共局ニ於テ下シタル判決モ元老院全體ノ名ヲ以テス尤モ此判決タル法律上規定シタル或ル場合ニ限テハ勅命ノ有無又ハ一定ノ發言數ニ達スルト否トニ拘ハラズ高等檢事又或ル事件ニアリテハ大臣及ヒ高等行政官ノ要求アレハ之ヲ普通會議ニ提出スルモノトス(註 各局ニ於テ下ス處ノ判決ハ各局一致之ヲ爲スヲ例トスレトモ)帝國法律第十二條及ヒ第二十八條(帝國法律第三類第一卷第一節元老院ノ組織)ニ於テハ元老院ニハ只二種ノ普通會議ヲ設置スヘキヲ指定セリ即チ第一普通會議ハ第一局第二局及ヒ第三局ヲ以テ組織シ第二普通會議ハ司法局(第四局第五局)及ヒ非訟裁定(第八局)ヲ以テ組織スヘシトセリ且ツ之ト同時ニ第十二條ニ於テハ或ル場合ニ依テハ同條ニ掲ケタル他ノ關聯事件ニ付テモ尙ホ普通會議ヲ召集スヘキコトヲ規定セリ陸軍及ヒ海軍會議ヨリ元老院ニ提出シタル事件ハ帝國法律第三百二十四條乃至第四百四十四條第一(丙)ニ於テ特種ノ性質ヲ有スル議事ト定メタリ

所管 元老院ノ所管ニ屬スル職務ハ上文既ニ詳述シ因テ以テ其國家ノ構造ニ適應スル地位ヲ識別セシメタリ而シテ同院ノ各局中獨立ノ官衙トモ看做スヘキモノ、職權ヲ區別スレハ左ノ如シ

第一局 第一局ハ特ニ左ニ掲ル職權(帝國法律第十九條)ヲ有スルヲ以テ行政上最モ重大ノ事件ヲ取扱フヘキモノトス即チ左ノ如シ

(第一)法律ノ發表及保存 普通ノ新法律ハ元老院ニ於テ之ニ關スル施行細則ヲ制定シタル上ニアラサレハ各大臣之ヲ施行スルヲ得ス諸般ノ新法律並ニ皇帝ノ名ヲ以テ發布スル命令ハ第一局ニ送附

スヘシ(根原法第五十六條及ヒ第五十七條第二備考)

(第二)第一局ニ隸屬スル官署ニ於テ疑義ノ生シタルトキハ法律ノ解釋ヲナスコト

(第三)所轄官署ノ權限爭議ヲ裁定シ及ヒ同官署ニ於ケル事務ノ取扱ヲ監督スルコト

(第四)地方會及ヒ市會ニ於テ決定シタル事項ニ對シ訴願ヲ提起シタルトキハ其事項ノ果シテ法律ニ適合スルヤ否ヤヲ裁定スルコト

(第五)勸解裁判官ノ任命及ヒ承認

(第六)身分法ヲ確保シ且ツ一方ノ身分ヨリ他ノ身分ニ移轉スル問題ノ生シタルトキ最終ノ裁定ヲナスコト(貴族ハ例外トス賞勳局参照)

(第七)所謂帝室財産管理事件ヲ決濟スルコト但シ帝室財産ノ所有ニ關シ又ハ帝室財産ト取結ヒタル

契約ヨリ生スル訴訟此内ニ屬ス

(第八)帝國會計検査院ノ命令ヲ以テ徵收スル金高竝ニ帝室財産ニ關シ徵收シタル不當金額ノ拂戻

(第九)會計検査ノ際一方ニハ帝國會計検査院ト一方ニハ陸軍又ハ海軍會議トノ間ニ生スル意見ノ衝突ニ關スル裁定

突ニ關スル裁定

第二局 該局ハ總督府ヨリ一私人ノ訴願ニ關シ提出セル事件ヲ裁定ス是レ此種ノ事件ハ總督府ノ權限外ニ互ルヲ以テナリ而シテ同局ノ重大ナル職務ハ農政事件ニアルカ故ニ總督府内農事課ハ第二局ニ直接隸屬シ總テ農事ニ關スル法律ハ同局ノ解釋ニ從フモノトス

第三局(賞勳局) 同局ハ總テ貴族ノ身分ニ關係スル事件ヲ處理スル處ニシテ貴族又ハ名譽アル人民ノ

所屬及ヒ官爵、稱號等使用ノ正否ヲ裁定シ且ツ法律上必要ノ場合ニハ貴族ノ撰擧ヲ認可シ又位階等ノ贈與ヲナス

司法局(舊)(第四局及ヒ第五局) 亞歷山王第二世ノ法律未タ充分ニ行ハレサル帝國領内ノ民刑兩事件

ニ關レテハ司法局ヲ以テ終審裁判所トナシテ之ヲ提出シ且ツ同局ハ同法律ノ施行後ト雖モ尙ホ從來ト關係アル訴訟事件ヲ決濟ス其他同局ニ於テハ獨立權失墜問題等ヲ裁定スルノ權アリ

訴訟局(新) 同局ハ亞歷山王第二世ノ法律ニ據ル民刑事ノ訴訟ヲ處理スヘキモノトス

非訟裁定局 同裁定署及ヒ非訟事件ニシテ司法大臣ニ屬セサルモノ同局ノ所管トス

第二項 教務院

露國ニ於テハ彼得大王カ教長ヲ廢止シテ教務院ヲ設置スルト共ニ教會ト政府トノ間ニ生スル葛藤ヲ根絶セリ蓋シ其葛藤ノ生シタルハ此最高教務院ハ國家制度ノ性質ヲ備フト雖トモ政府ハ教務院ニ對シ其至當ト認ムル程度以外活動ノ自由ヲ與ヘサルヲ以テナリ夫レ此ノ如ク教會ヲシテ國家ノ權力即チ獨裁君主ノ下ニ隸屬セシメントノ意向アルハ只皇帝ニ對シテノミ責任アル俗吏即チ教務院總長ヲ任命スルノ點ヲ以テ明カニ之ヲ知ルヲ得ヘシ故ニ總長ノ職務タル皇帝ノ代表者トナリテ教務院ヲ監督シ且ツ此教務院ト最高國家ノ權力トノ間ニ立テ雙方ノ疎通ヲ計ルニ在リ此等ノ方便ニ依テ教會ト政府トノ關係ヲ密接セシメ而モ教會ノ勢力ヲ國家ニ及ホスヲ掣肘セリ蓋シ露國ノ高等僧官ノ勢力タル共執行スル範圍決シテ狹少ナラサルコトハ露國ノ法律カ絶ヘス主要ナル教會ニ就キ其注意ノ怠タラサル一點ヲ見テモ明カナルヘシ此ノ如ク教會カ外形上特ニ形式上國家ニ從屬スルハ毫モ其損害トナラサルノミナラス

或ル點ヨリスレハ希臘正教會ハ之ニ依テ初メテ露國ノ主要ナル國教トナリタルカ故ニ其教律ヲ執行スルニ方リ寧ロ特別ナル國家ノ保護及ヒ干涉ヲ歡迎スル處ナルヘシ

以上政教ノ關係タル歐洲西部ノ狀況ヲ見ルニ互ニ其權力ノ爭奪ニ汲々タルカ如キモ露國ニ於テハ政教相提携扶掖シテ神ニ屬スルモノハ之ヲ神ニ與ヘ皇帝ニ屬スルモノハ之ヲ皇帝ニ與フルノ方便ヲ求メタリト謂フヘシ斯ク露國ニ於ケル政教ニ大勢力ノ互ニ一致和合シ以テ其國民ヲシテ劇烈ナル軋轢爭鬪ヲ避ケシメタルハ他諸國ニ於テ其比ヲ見サル所ニシテ之ニ依テ幾分ノ效果ヲ奏シタル素ヨリ疑ヒヲ容レズ然リト雖トモ此ニ一大問題アリ即チ以上ノ政教一致ニ依リ宗教外部ノ秩序竝ニ主要ナル國教ニ屬スル權力上其利益ヲ得タル素ヨリ論ヲ俟サルモ尙ホ果シテ其内部ノ勢力ヲ促進セシメタルヤ否ノ點ナリ余輩ハ此點ニ就キ大ニ疑ナキヲ得ス如何トナレハ所謂國教ハ神語ノ勢力即チ精神上ノ武器ニ依賴スル教會ニ附屬スルヨリモ寧ロ政府ノ指導ニ依ルコト多ケレハナリ斯ク教會ノ依賴スル俗界ノ勢力ナルモノハ或ル者ヲ威壓スルニハ決シテ其益ナキニアラサルモ教會ハ之ニ依テ自己ニ不利益ナル精神上ノ論争ヲ避ケントスルニ至テハ正當ノ手段ト云フヘカラス然ルニ希臘正教徒カ法律上認定セラレタル他ノ耶穌教徒竝ニ異教徒ニ對シテ此手段ヲ利用スルカ如キ毫モ怪シムニ足ラス故ニ正教僧徒ハ其多數ヲ率井テ精神上ノ論争ニ從事スルノ勇氣ナク其傳教師ノ如キ多クハ他ノ教徒ノ忿怒增加セントスルノ形勢ヲ探知スルモ敢テ其教示教條ヲ提ケテ飽マテ他教徒ト論争セントセス動モスレハ警察ノ力ヲ假リテ之ニ當ラントセリ去レハ以上ノ如キ政教一致ハ國民ノ信仰上別ニ必要アルニアラス隨テ其ニ大勢力ナルモノモ單ニ皮想的ノ必要アルニ過キストノ說蓋シ其當ヲ得タリト云フヘシ要スルニ政教一致ハ露

國人民ノ動モスレハ解脫セントスル意思ノ自由ヲ束縛スル同盟タルニ過キス然リト雖モ意思ノ自由ニレテ一旦其根底ヲ固ムルニ至ラハ彼ノ頹敗ニ傾キタル希臘教會ハ到底此自由ニ抗拒スルヲ得サルヘシ政府モ亦好時機ニ乘シ其同盟ノ羈絆ヲ脱スルニアラサレハ恐ラク右教會ト共ニ其浮沈ヲ與ニスルニ至ラン

教務院ハ教會ノ法律ニ關係アル諸般ノ問題ニ參與シ以テ新律ノ發布、編制及ヒ決議ヲナスノ外帝國參議院ニ屬スル事項ヲ負擔スルコト往々之アリ是レ教務院ノ總長ハ常ニ其教會ト直接ノ關係ヲ保持シ教務院ヨリ提出スル議案ハ一旦帝國參議院ニ提出セスシテ批准ヲ經以テ法律上ノ效力ヲ有スルニ至ルコト鮮ナカラサレハナリ而シテ教務院ハ教政事件ニ關シテハ最高法院ニシテ寺院管理所及ヒ寺院裁判所之ニ隸屬ス其他教務院ハ教旨ノ純潔ヲ維持シ宗教大學、中學及ヒ教會學校ヲ監督シ及ヒ教義ヲ記載シタル諸般ノ書類ハ其検査官ヲシテ之ヲ査閱セシム又僧徒全體ノ風紀ヲ維持シ其離婚結婚ノ適否ニ關スル各般ノ事件ヲ裁決スルモ亦教務院ノ任トス而シテ同院ハ最高俗僧及ヒ寺僧ニシテ終身勅任セラレタルモノ及ヒ一時彼得堡在リテ命セラレタル僧長ヲ以テ之ヲ組織スルモノニシテ其院長ハ彼得堡ノ大僧正トス教務院ハ一モ執行權ヲ有セスト雖トモ教長ハ之ヲ掌握シ教務院書記局ハ之ニ隸屬ス訓令布達ノ類ハ教務院令ノ形式ニテ之ヲ發布ス

官省一斑

職務 各省ハ法律ニ依リ各所管ニ對シ行政權ヲ執行スル國家ノ機關トス各省大臣ハ法律ノ發布及ヒ制度ノ新定又ハ現行制度ヲ變更スルノ權ヲ有セス司法權全體ハ元老院及ヒ司法省ニ一任スルカ故ニ各省

ハ何人ヲモ裁判シ又ハ如何ナル裁判事件ヲモ裁定スルヲ得ス
 法律ハ各省ノ行爲ニ關シ右ノ如キ消極的規程ノ外尙ホ以下ノ積極的規程ヲ設定セリ即チ各省ハ絶ヘス
 干涉監督ヲナシ以テ法律制度ヲ迅速精確ニ施行スルノ職責ヲ有スルヲ以テ大臣ハ之ニ隸屬スル官署及
 日屬僚ヲシテ其力ヲ法律制度ノ施行ニ致サシムルノ權アリ此點ヨリシテ大臣ハ高等官吏ノ任免ニ干繫
 シ下等官吏ニアリテハ大臣自ラ其任免ヲ決定シ官紀ヲ振肅シ若シ之ヲ濇亂スルモノアレハ之ヲ免官シ
 又ハ裁判所ヘノ引渡ヲ決定シ其他法律ノ執行ヲ妨礙スルモノアレハ法律ニ基ツキ之ヲ排除シ別ニ法
 律ノ施行ニ必要ナル規程ヲ設ルノ權アリ是ヲ以テ大臣ノ行爲ハ法律ノ範圍内ニ屬スレトモ實際ニ至リ
 テハ之ニ拘束セラレサルヲ例トス如何トナレハ大臣ハ往々訓令省令ヲ發シテ現行法ヲ補充スル爲メニ
 單ニ執行ヲ主トスル其職權外ニ出ルコト往々之アルヲ以テナリ加フルニ規程ニ依テ大臣ハ便宜ノ處置ヲ
 ナスコトアリ即チ大臣ハ高等ノ裁定ヲ要スル非常ノ場合又ハ此ノ如キ裁定ヲ要セス漸次危險ノ生セン
 トスルトキハ自ラ其處分ヲナスヲ得ヘク其際ノ手續ハ追テ報告スヘキナリ常ニ皇帝ニ昵近シテ其信任
 ヲ受ケタル大臣ハ此種ノ處分ニ就キ追テ其裁可ヲ受ルコト別ニ難事ニアラス是ヲ以テ法律ニ於テ官吏タルモ
 ノハ法律ニ抵觸スル省令ヲ施行スルノ義務ナクシテ寧ロ其意見ヲ開陳シ且ツ場合ニ依テハ其次第ヲ元
 老院ニ通告スヘントノ條文ハ一モ實際ノ價直ナキナリ其他官吏ニシテ大臣ノ命令ヲ違奉スルニ於テハ殆
 ント其身ニ危難ヲ及スノ虞ナキモノニシテ寧ロ大臣ノ保護ヲ求ムルヲ得ヘシ然レトモ全然大臣ニ隸屬
 スル官吏ニシテ大臣ノ職權上其障得トナルカ又ハ自ラ之ニ適合セサル旨ヲ大臣ニ證明スルトキハ該
 官吏ハ別ニ裁判所ニ告訴スルノ權利ナク大臣ニ於テ之ヲ罷免スルヲ得ヘキナリ又前記大臣ノ執行

權ヲ裁判權ヨリ分割スル法律モ亦全ク事物實際ノ情況ニ適合セス如何トナレハ或ル場合ニ於テハ各大
 臣ハ廣大ナル處罰權ヲ掌握スレハナリ現ニ内務大臣ハ政事上少シク疑ハシキモノアリト認ムレハ或ハ
 地方ニ滞在スルヲ禁止シ其自由ニ制限ヲ加ヘ全ク之ヲ警察監督ノ下ニ附スル等ノコトアリ其他大臣ノ
 立法上ニ干與スルノ權力甚タ廣大ナルモノニシテ是レ一ハ夙ニ大臣ハ立法上ノ關係ヨリシテ内閣ニ列
 スルノ職權アルト一ハ帝國參議院ニ提出スル各般ノ法案ハ實際各大臣ニ於テ編制スルヲ以テナリ各大
 臣カ參議院ノ會議ニ列スルノ權利アルヨリシテ之ニ對シ一大權力ヲ與フルト雖トモ露國ニ於テハ彼ノ
 立憲國ニ於ケルカ如ク各大臣全體ニ關スル聯帶責任ノ如キ素ヨリ見ルヘキニアラス如何トナレハ各大
 臣ハ只單ニ之ヲ任命シタル皇帝ニ對シテノミ責任ヲ有シ且ツ余輩ノ陳述セシ如ク内閣又ハ大臣委員會
 ト雖トモ右ノ如キ聯帶責任ヲ負フヘキニアラスルヲ以テナリ各當局大臣ノ意見竝ニ此意見ヨリ生スル
 行爲ノ一致ヲ必要トスルトキ此一致ハ君主ノ意思ヨリ發動ス而シテ君主ノ意思ナルモノハ法律其モ
 ノ、外ニ各大臣ノ行爲ノ標準ヲ規定ス各大臣ハ此等ノ目的ノ爲メニ毎歲皇帝ニ報告ヲ捧呈スルモノニ
 シテ此報告中ニハ前會計年度ニ關スル計算ノミナラス尙ホ之ト同時ニ將來採用スヘキ方針、特別所管
 ニ屬スル行政上ノ要點及ヒ其執ルヘキ目的ヲ提案ノ形式ニテ掲記ス此等ノ件々ニ就キ皇帝ノ批准ヲ得
 レハ大臣ハ既ニ先ツ其用ヲ處辨シタルモノニシテ最早之ニ就テ其責任ヲ有セス法律ハ其責任ニ關シ多ク
 ノ規程ヲ設ケタリ就中著目スヘキハ其規程ノ過半ハ大臣責任解除ノ場合ヲ規定シタルトモ只一個ノ規
 程ニ依リ其責任ヲ有スル場合ヲ規定シタルコトナリ即チ左ニ掲ル場合ニ於テハ大臣ノ責任ヲ問フヘキ
 モノトス

(第一)大臣ハ其職權以外ニ出ルトキ(第二)大臣其職務ヲ怠リ國家ノ弊害ヲ助長セシメタルトキ是レナリ此條項ニ關シテ例外ノ場合多キモ此等ハ姑ク措キ其形式ノ甚ク明瞭ナラサル爲メ其條項ヲ適用スル最モ困難ナルヘシ余輩ノ見ル處ヲ以テスレハ大臣ハ專ラ法律ノ範圍内ニ於テ動作スルノ權アルカ故ニ多クノ場合ニ於ケル職務上ノ僭越ヲ舉證スルコト職務ノ懈怠ヲ罰スル(第二)ノ場合ヨリ更ニ容易ナルヘシ然ルニ此ニ大ニ疑フヘキ點アリ即チ大臣ハ或ハ勅命ニ依リ又ハ非常ノ場合ニ於テハ非常ノ處分ヲ爲シ得ヘキ職權ニ依リ其失誤ヲ隱蔽セサルヤノコト是ナリ是ヲ以テ大臣其職權ヲ僭越スルモ之ヲ處罰スルノ範圍甚ク制限セラル、ナリ然リ而シテ大臣ノ責ヲ問フハ全ク何人ノ權利ニ屬スルヤト云ヘハ大臣ノ命令ニ依テ傷害セラレタル私人、大臣ニ從屬スル官吏及ヒ官吏ニシテ前述セシ如ク殆ント同大臣ニ信用ヲ置サルモノ其他元老院是ナリ而シテ元老院ニ於テハ一大弊害ヲ發見スルカ又ハ皇帝ニ捧呈シタル官省ノ報告中ニ記入シタル事項ニシテ事實ト齟齬スルノ點アルヲ驗知スルトキハ大臣ノ説明ヲ要求シ若シ其説明ニシテ元老院ニ満足ヲ與ヘサルニ於テハ同院ハ其旨ヲ皇帝ニ上奏スルノ權アリ一人ノ訴願モ亦上開ニ達スルカ故ニ大臣ハ皇帝ノ命令ニ依ルノ外別ニ責任ヲ有セス此ノ如キ場合ニ於テ帝國參議院内民事及ヒ寺院事件ニ關スル局ハ豫審ヲナシ而シテ豫審決了シテ司法大臣ハ該事件カ更ニ他ニ關係ヲ及サ、ルヤ又ハ犯則者ハ懲戒令ニ依テ處罰スヘキヤ若クハ高等刑事裁判所ニ移スヘキヤ否ニ就キ判決ヲ下シタル上(註)司法大臣其罪ヲ犯シタルトキハ何人ニ於テ其判決ヲ下スヘキヤハ法律上之ヲ明示セス其決定ヲナス而シテ斯ク決定ヲナスニ方テモ尙皇帝ノ批准ヲ經ルモノトス以上ノ場合ニ於テ大臣カ皇帝ノ信任ヲ忝フスル間ハ其自ラ認メテ刑法上各般ノ責任ヲ免ル、ヲ得ヘシト云ヘル說アルモ強チ一理ナシト謂フヘカラス蓋シ此事ニ

關シ又ハ前記諸般ノ規程ニ關スル學理上ノ意義ニ就キ適例ヲ求メシトスレハ則チ「プロヘツル、アレクセエウ」氏ノ著書第五十五章ニモ掲ケタル如ク亞歷山第一世ノ執政時代以後陸軍大臣タル「ゴルチア」ニウ「只一人其責任ヲ問ハレタルニ過キサル事實ニ照ラシテ明カナルヘシ然レトモ當世紀中大臣トシテ其職務ノ僭越ヲナスモノ全ク之ナカリシトノ斷定ヲ下シ難カルヘシ

組織 皇帝ヨリ任命セラレタル大臣、高等行政官又ハ高等司令官ハ各省ノ長官トス各長官ニハ一名又ハ數名ノ補佐官アリテ必要ノ場合ニハ長官ヲ代表シ(代表ノ事元老院ヨリ發表シタル勅命ニ依リ之ヲ命ルト云フ)且ツ一定ノ部局ヲ負擔スルヲ例トス各省主要ナル部分ハ(第一)局(第二)大臣附會議(第三)各局普通會議(第四)書記室及ヒ(第五)特ニ各省内ニ設置スル管理部トス而シテ局ノ下ニハ課、課ノ下ニハ掛アリ局ニハ局長、課ニハ課長及ヒ掛ニハ掛長ヲ置ク大臣附會議ニハ議長ノ外一名又ハ數名ノ補佐官及ヒ各局長アリ各局ノ普通會議ハ局長其議長トナリ當該課長ヲ以テ其委員トナス大臣ハ局長ノ申立アレハ學術技藝ニ關スル普通會議ニ於テ特別委員ヲ任命スルヲ得其他各局中ニハ一時若クハ常置ノ特別機關アリ例之ハ學士委員會、製圖所、化學試驗所等ノ如シ省内各部ニ於ケル職務ノ分掌ヲ舉レハ則チ局ハ材料ノ輯集、調製ヲ掌リ(局ニ屬スル機關ニ依リ)會議ハ其意見ヲ提出シ大臣之ヲ裁定ス是ヲ以テ各般ノ事件ハ一旦局ニ到達シタル後初メテ會議ニ附スト雖トモ特ニ必要ナル又ハ秘密ノ事件及勅命ノ類ニ限リ局ヲ經ス直ニ大臣ニ達ス今余輩ハ各省ニ於テ執リ來レル方針ヲ見ルニ統一及ヒ合議ノ兩主義ヲ實行スルカ如シ即チ各省結局ノ裁定ヲナスハ大臣又ハ局長ノ任ニシテ此等長官ノ傍ラニハ尙水補佐官アリテ長官ハ之ヲシテ商議セシムルヲ得又或ル場合ニ於テハ之ヲシテ商議セシムヘシト雖

モ長官ハ其意見ニ拘束セラル、コトナシ右補佐官ヲ以テ組織スル會議ハ其上官即チ大臣又ハ局長ニ對シテハ恰モ帝國參議院ノ皇帝ニ於ケルト同一ノ態度ヲ取ルト雖トモ只其間異ナル點ハ前ニモ述タル如ク皇帝ハ立法問題ニ付テモ必ラスシモ帝國參議院ヲシテ共議ニ與カフシメスシテ可ナリト雖モ大臣ハ或ル事件特ニ立法問題及ヒ勅裁ヲ要スル事項ハ補佐官ノ議ニ附スルノ義務アリ以上各省ノ制度ハ至急ヲ要スル場合ニハ割合迅速ニ行政事務ヲ處理スルト同時ニ責任アル官吏ニ對シテハ其自ラ不安心ヲ感スルカ又ハ事件ニ依リ其精査ヲ要スル場合ニハ其之ヲ處理スヘキ權力ヲ與フルモノナリ尤モ此等ノ場合ニ於テ右會議ノ爲メニ任命セラレタル省内官吏及ヒ勅任セラレタル官吏ノ外一人ヲモ鑑定人トシテ招集シ得ヘキコトヲ法律中ニ明示セリ

第三項 各省及ヒ主要ナル行政廳

各省ハ時代ノ經過中ニ於テ漸次増加スル國家ノ必要ニ應シ設置シタルモノニシテ其行政上職務ノ範圍ハ整然タル區別アルヲ見ス故ニ一定ノ通則ニ依リ其區別ヲ立ルコト頗フル困難トス例之ハ一切ノ教育ハ全ク文部省ニ屬スルニアラスシテ却テ或ル學校ノ如キ他ノ所管ニ屬シ同省トノ關係全ク疎遠ナルモノアリ内務省ノ如キモ亦然リ同省ハ第一著ニ安寧及ヒ秩序ヲ保持スヘキ外國信者ノ寺院事件ニ關シテハ最高法院トナルヘキ職責アリ實ニ奇ト謂フヘシ蓋シ此等ノ理由タル何人タリトモ主要ナル教會ノ信者ヲサルモノハ特別ニ警察ノ監督ヲ要スル危險ノ人物タルヘシトノ意見ヨリ出タルナリ余輩ハ前述セシ如ク露國ニ於テ信仰自由ノ權利ナルモノハ何故ニ犯罪者豫防法竝ニ刑法ヨリ生セサルヲ得サル乎其他鐵道ヲ國有トナシ又ハ新ニ線路ヲ敷設シタル爲メ鐵道制度著シク發達シタルモ特ニ之ヲ遞信省ノ所管

ニ屬セシメス却テ大藏省ノ管轄ニ歸セシムル乎尙ホ諸般ノ關係ニ就キ此等ノ類例ヲ舉レハ實ニ枚舉ニ遑アラサルヲ以テ職務ノ區別ヲ立ルノ難事タル推知スルニ足ルヘシ而シテ外部ニ對シ帝國ノ利益ト安全トヲ代表スル官省ノ組織ニ至テハ全ク簡易明瞭ナルヲ以テ余輩ハ第一類トシテ左ニ之ヲ示サントス即チ此種ノ官省ニ屬スルモノハ外務省、陸軍省及ヒ海軍省トナス

第二類ニ屬スルモノハ國家ノ財政及ヒ國民ノ物質的安寧ヲ監督スル官省ニシテ大藏省、帝國會計検査院、農務兼官有地事務省、帝國種馬管理本部及ヒ遞信省トス第三類ハ内部ノ秩序及ヒ權利ヲ監督スル所ニシテ司法省及ヒ内務省トナシ次ニハ精神上ノ安寧及ヒ人民ノ教育ヲ負擔スル所ニシテ文部省トス其他ハ宮内省ニシテ帝室財産ヲ管理シ且ツ同省ハ帝室ト特別ノ關係アルヲ以テ他省ニ比シ特種ノ地位ヲ占ム

(イ) 外務省 同省所管ノ事項左ノ如シ

諸外國ト政事上ノ關係ヲ媒介シ、外國ニ於ケル露國ノ商業及ヒ利益ヲ獎勵シ露國ノ臣民ノ外國ニ於ケル事件ニ關シ法律上ノ保護ヲ與ヘ及ヒ外國人ノ露國ニ於ケル事件ニ關シ法律上ノ要求ヲナストキ之ニ満足ヲ得セシムル様監督スルコト是レナリ

外務省ニハ大臣ノ傍ラニ常務ヲ處理スル補佐官及ヒ會議アリ會議ハ全ク一定ノ權限ヲ有セス只大臣ニ於テ適當ト認メ之ニ命スル處ノ事件ヲ商議ス而シテ外務省ハ其職務ノ關係ニ依リ之ヲ別チテ三局トナス即チ亞細亞局、内事局及ヒ人事兼經理局是レナリ

亞細亞局ハ東亞ニ於ケル政治上ノ事件ヲ處理シ内事局ハ其以外ノ事件、人事兼經理局ハ人事ノ外總

テノ計算ヲ負擔シ且ツ在外希臘正教々會ヲ管理シ及ヒ帝國ノ大憲ヲ必要トスル公文書類ニハ之ヲ押捺ス外務大臣ハ大掌璽官アリ而シテ外務省ノ機關トシテ外國ニ大使館又ハ公使館ヲ置キ政事上ノ事件ヲ處理セシメ其他總領事館、領事館及ヒ代理事務所ヲ置キ商業上ノ事件ヲ管理セシム又外務省ニハ書記室一箇所及文庫二箇所(彼得堡及ヒ莫斯科ニ於テ各一箇所)ヲ設置シ而シテ莫斯科ノ文庫内ニハ千八百一年マテ堆積シタル書類ヲ貯藏ス

(ロ)陸軍省

陸軍大臣ハ帝國陸軍全體ニ關スル行政ノ首席ヲ占メ一名ノ補佐官ヲモ有セス陸軍省ニ於テハ別ニ局ヲ置カスレテ左ノ如ク分割ス(イ)帝國本營(ロ)軍事會議(ハ)總軍事裁判所(ニ)書記室(ホ)參謀本部(ヘ)監督本部(ト)砲兵本部(チ)工兵本部(リ)軍醫本部(ヌ)陸軍學校管理本部(ル)病兵管理本部及ヒ(ヲ)陸軍裁判制度管理本部是レナリ而シテ右ノ軍事會議ハ軍律經濟及ヒ其他各種ノ事件ニ關スル事項ヲ商議スル所ニシテ更ニ之ヲ各部ニ分割シ特別軍律編制部此内ニ屬ス陸軍大臣ハ法律ニ依リ軍事會議カ其權限ニ屬スル事件ヲ處理スルニ遲滞ナキ様特ニ之ヲ監督スルノ義務アリ總軍事裁判所ハ陸軍裁判ニ關スル最高法院ニシテ尙ホ當該立法問題ヲモ商議シ參謀本部ハ軍隊ノ編制、經理等ヲ掌サトリ又軍事上ノ方略ヲ劃策シ及ヒ地圖ノ調製ヲナシ監督本部ハ軍隊ノ給養及ヒ被服ヲ監督シ工兵本部ハ城塞ノ築造及ヒ維持ヲナシ及ヒ陸軍裁判制度管理本部ハ軍事裁判ヲナス

陸軍大臣ノ代理ヲ必要トスルトキハ他ノ諸大臣ト同様勅命ニ依テ之ヲ任命ス皇帝旅行中ナレハ陸軍ニ關スル勅命ハ帝國本營長之ヲ傳達シ陸軍大臣不在ナルトキハ本營長ハ其勅命ニ署名シテ同大臣ニ之ヲ

報告ス

(ハ)海軍省

海軍全體ノ制度及ヒ海軍省ノ最高監督ハ艦隊及ヒ海軍高等司令官ニ屬セシメ而シテ海軍省行政官ニシテ大臣ノ權利ヲ有スル者同省ノ首席ヲ占ム海軍省ノ組織ハ陸軍省ト略ホ同様ニシテ同省ハ十一ノ各部ニ分ル即チ造船、技術、裁判本部等はレナリ而シテ同省ノ會議ハ海軍會議ナル名ヲ附ス

(ニ)大藏省

大藏省ハ國家ノ歲入歲出ニ關スル監督即チ稅制及ヒ國家ノ歲入ト密著ノ關係アル各機關ヲ統轄スル所ニシテ商工業モ亦大藏省ノ所轄ニ屬スレトモ官有財產ノ管理ハ此限ニアラス其他大藏省ニ於テハ鐵道制度ニ關シ重大ノ職權ヲ負擔セリ是レ大藏省ハ鐵道賃金問題及ヒ新線路ノ敷設ヲ認可スルニ方リ之カ決議權ヲ有スレハナリ近年ニ及ヒ火酒ノ販賣ヲ專賣トナシ漸次之ヲ帝國全體ニ普及セントスルニ至レルヲ以テ大藏省ノ職權著ルシク擴大セルヲ見ル爲メニ大藏大臣ハ省内普通ノ職權ノ外尙特別ノ職權之ニ屬スルヲ以テ同大臣ニハ二名ノ補佐官アリ其一名ハ常務ヲ監督セリ而シテ關稅表ニ掲ケタル全體ノ科目ノ如キ全ク財政ニ關スル規則ヲ發布スルト一般之ヲ規定又ハ變更スルヲ得ルコトナリ斯ノ如ク大藏省ハ其職權ノ重大ナルニ從ヒ同省ヲ分割シテ會議及ヒ六局トナスノ外尙ホ之ニ從屬スル別種ノ機關アリ例之ハ特別信用事務局、他省ノ委員ヲ以テ組織スル關稅委員會ノ外關稅會議、財政計劃ヲ決議スル學術委員會及ヒ補助員ヲ有スル常置法律顧問等ノ如シ局ノ名稱ヨリシテ其職務ノ範圍ヲ區別スレハ即チ左記ノ如シ直稅局、間稅局、關稅局、商業兼製造局、鐵道局及ヒ帝國公債局是レナリ右ノ外大藏省ノ所管

ニ屬スルモノヲ示サンニ帝國銀行、貴族農業銀行、農民農業銀行、國債償還委員會、造幣寮及ヒ證券發行局ナリ

大藏大臣ハ平時軍事編制ヲナシアル國境衛兵ノ長官タリ

(ホ)帝國會計検査院

會計検査院ハ所管官廳ノ收入支出及ヒ通貨ノ保管ニ關スル各般ノ命令ノ適法ナルヤ否ヤヲ監督スル所ニシテ而モ此種監督ヲナスノ外總テ經濟上ニ關スル規程ノ適否ニ就テモ其意見ヲ述フルノ權アリ其他検査院ハ各中央官廳(法律ニ據リ特ニ同院ノ所管ヨリ離レタルモノヲ除キ)又ハ地方廳、市町村役場若クハ私立會社ニシテ法律ニ依リ検査院ニ隸屬スルモノニ限リ右同様ノ監督ヲナス尤モ検査院ハ右地方廳等ヲ管理スル中央官廳ニ對シ其注意ヲ加フルノ權アリト雖モ若シ該官廳ト其意見一致セサルトキハ帝國參議院ハ會計検査院長ノ面前ニ於テ之カ裁定ヲナス検査院長ハ補佐官一名ヲ有ス検査院ハ會議ノ外ニ左ノ諸局アリ即チ文事會計局、陸海軍會計局及ヒ鐵道會計局トス

(ヘ)農務兼官有地事務省

同省ハ官有地及ヒ森林ノ管理ヲナスノ外農業一切ノ利益ヲ保護ス而シテ鑛山及ヒ採鹽業モ亦同省ノ所管タルト共ニ露國領内ニ居住スル猶太人、柴伯里農民、各州内ニ於ケル外國人ニ關スル監督ヲモナス此等ノ事項ハ同省ノ大臣竝ニ其補佐官ニシテ常務ヲ處辨スルモノニ於テ之ヲ管理ス同省ハ省内會議ノ外ニ左ノ各部ニ分割ス

(イ)農業會議 同會議ハ農業一般ノ振興ニ關スル事件ヲ議スル處ノ特別會議ニシテ之ニハ他省ノ代表者モ

勅任セラレ且ツ農務兼官有地事務大臣ノ申請ニ依リ農業者十五名ヲ招集スルモノトス(ロ)鑛山會議ハ學術委員會ニ農務局、(ハ)屋内工業委員會兼農業經濟及ヒ統計部、(ニ)土地改良部、(ホ)山林所有者ノ一團ヨリ成ル森林局、(ヘ)特別森林委員會、(ニ)鑛業事務課、(ニ)地質委員會ヨリ成ル鑛山局(高等學校、鑛山機關ハ特ニ同局ニ附屬ス)、(ト)帝國官有地事務局及ヒ(ル)裁判事務ヲ取扱ヒ及ヒ文庫ヲ有スル大臣書記局

(ト)帝國種馬管理本部
同本部ハ千八百八十一年マテハ官有地管理部ノ一部分ナリシカ其後一省タルノ資格ヲ備ヘタリ而シテ同本部ニ於テハ國有ノ種馬ヲ管理スルニ止マラス帝國全體ノ牧馬及ヒ此牧馬ト關係アル總テノ事項(競馬場、馬匹競進會)ノ設置、民間ニ於ケル牧馬ノ獎勵等)ヲ監視スヘキモノトス

(チ)遞信省

遞信省ハ千八百九十九年五月三日ニ於テ批准ヲ經タル帝國參議院ノ決議ニ依リ新制度ヲ設ケタレトモ此制度タル千九百二十一年一月一日ニ至ラサレハ效力ヲ有セサル筈ナレハ同省ハ遠カラスシテ更ニ其制度ノ變更ヲ見ルニ至ルヘシ當時遞信省ノ部局左ノ如シ(イ)大臣及ヒ其補佐官竝ニ省内普通會議口鐵道會議(同會議ニ於テハ線路ノ敷設、利用及ヒ經濟ニ關スル諸問題ニ關シ決定ヲ與ヘ又或ル場合ニ於テハ命令ヲ發スルノ權アリ而シテ同會議ノ委員トシテハ遞信省官吏ノ外ニ大藏省、司法省、帝國會計検査院、內務省、帝國官有地事務省及ヒ陸軍省ノ委員其他商工業、農業、鑛山業竝ニ私設鐵道ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ遞信大臣竝ニ右會議ニ列スル他省ノ大臣ニシテ同會議ノ決議ト意見ヲ異ニスル限リハ其決議ノ事項ヲ大臣委員會ニ提出スルノ權アリ鐵道事件ニシテ新規法律ヲ必要トスルモノハ帝國參議院ニ送達スルナ

リ以上ノ點ヨリ見レハ大臣委員會ハ鐵道問題ヲ裁決スル所タリ(ハ)技師會議(同會議ハ特ニ技術上ニ互
 ル問題ニシテ普通ノ效力ヲ有スルモノニ從事シ且ツ重大ナル國設工事ニシテ巨額ノ費用ヲ要スルモノ
 ノ圖案ヲ調製スヘキ所トス陸軍大臣竝ニ會計検査院ノ高等官吏ハ其所管ノ事項ヲ同會議ニ於テ
 議スルトキハ其委員ヲシテ之ヲ代表セシムルノ權アリ又高等郵便電信官吏ハ其所管ノ事項ヲ會議ニ於テ
 題ニ附セララルトキハ自ラ其議席ニ招集セララルヘシ(ニ)鐵道管理部(同部ハ官設鐵道ヲ統轄シ及ヒ私設
 鐵道ヲモ監督スルモノニシテ同部ニ於テハ逓信省官吏ノ外内務、大藏、農務兼官有地事務、陸軍ノ四省及
 ヒ會計検査院ノ官吏ヲ以テ其常置委員トナス而シテ特ニ重要事件ニ關シテハ鐵道會計局ノ總監督又其
 所管ノ事項ニ關シテハ高等郵便官吏其議席ニ列ス)ホ帝國鐵道監督部及ヒ(ハ)鐵道工事管理部(同部ハ
 新設官有鐵道ノ工事及ヒ營業ヲナスノ外工事著手中ノ私設鐵道ヲモ監督スルモノトス)
 前顯ノ事項ニ就テ見レハ鐵道問題ハ逓信省ノ職務中主要ノ部位ヲ占メ殆ント同省ヲ舉ケテ其力ヲ本問
 題ノ爲メニ致サシムルカ如キ觀アルモ是レ決シテ然ラス如何トナレハ同省ハ敷石道路ノ如キ水路ノ如
 キ將タ貿易港ノ如キ總テ特別ナル行政問題ヲ監視スルノ任アルヲ以テナリ其他同省ニハ船舶掛員及ヒ
 蒸汽鐵ニ關スル特別検査部、統計及地圖編製部及ヒ學校管理部アリ而シテ逓信大臣ノ下ニハ書記局アリ
 テ土地收用事務課之ニ屬ス亞歷山第一世ノ設置セル逓信技術部ハ右大臣ニ於テ之レヲ統轄ス
 (リ)司法省

司法大臣ハ獨リ司法事務ヲ監督スルニ止マラス尙ホ裁判上ニ就テモ幾分ノ勢力ヲ有スルモノトス是レ
 同大臣ハ元老院ノ普通會議ニ於テハ檢察總長トナリテ其職權ヲ行ヒ其判決シタル事項ヲ皇帝ニ上奏ス
檢察總長トナリテ其職權ヲ行ヒ其判決シタル事項ヲ皇帝ニ上奏ス

ルノ權アレハナリ其他大臣ハ裁判官ヲ任命シ且ツ檢察全體ノ最高長官タリ大臣ノ補佐官ハ法律ニ於テ
 規定シタル職務ヲ負擔ス而レテ大臣ノ諮詢ニ應スル機關ハ之ヲ稱シテ司法會議ト云フ該會議ハ各局長
 元老院高等檢察及ヒ之カ爲メニ勅任セラレタル官吏ヲ以テ之ヲ組織シ元老院普通會議ノ判決ニシテ司
 法大臣不同意ノ旨ヲ表白シタル事件ヲ特ニ調査スル處トス本省ヲ分テ二局トナス第一局ハ主モニ立
 法問題ヲ取扱フカ故ニ之ヲ稱シテ立法局ト云フモ可ナリ而シテ同局ハ會計報告ヲ編製シテ之ヲ皇帝ニ
 捧呈シ且ツ元老院ノ經理局(第一第二兩局)ヨリ提出ノ事件ヲ處理ス第二局ハ元來ノ司法事件ヲ處理ス
 ルノ外元老院及ヒ司法省全體ノ職員ニ關スル事件、請願委員會ヨリ提出セル特典願、會社定款等ノ取扱ヲ
 ナス監獄本部ハ千八百九十四年以降内務省ヨリ分離シ司法省ニ隸屬ス本部ノ長官ハ特ニ監督顧問ヲ置
 キ之ヲシテ司法大臣ノ命シタル事項ヲ議セシム司法省ハ舊來ノ文庫ヲ莫斯科ニ當今ノ文庫ヲ彼得堡ニ
 設置ス法律學校ハ司法大臣ノ監督ニ屬ス

(ヌ)内務省

内務省ノ權限ハ實ニ廣大ナルモノニシテ同省本來ノ職務ト密接ノ關係ナキ事項ヲモ之ニ附屬セシム例
 之ハ郵便電信ノ管理及ヒ外國ニ於ケル宗教事務ノ指揮監督ヲナスカ如キ是レナリ去レハ此等ノ行政事
 務ハ内務省ヨリ分割シテ各之ヲ獨立セシムルカ又ハ之ヲ他省ニ引移スヘシトノ意見提出セラレタルコ
 ト一再ニ止マラス抑モ此意見タル實ニ實際上ヨリスルモ其當ヲ得タルノミナラス尙内務省ニ於ケル過
 重ナル事務ノ負擔ヲ除却スルノ點ヨリスルモ實ニ至當ノ見タルヘシト雖モ是マテ一モ其説ヲ容レラ
 レサリキ同省本來ノ職務トハ即チ廣義ノ意味ニテ警察ヲ執行シ及ヒ各州、地方團體及ヒ其制度全體ノ

動作ヲ視察シテ市町村ニ於ケル共同生活ヲ總結スルニ在リ夫レ以上ノ如ク内務大臣ノ職權廣大ナルニ依リ隨テ補佐官モ二名ヲ置キ其一名ヲシテ警察竝ニ憲兵團ニ關スル事項ヲ負擔セシム此憲兵團ハ素ト皇帝ノ書記局第三部ニ附屬シタルモ其廢止後内務省ニ引移サレタルモノナリ上文既ニ監獄制度ハ司法大臣ノ所管内ニ屬シタルコトヲ述ヘタレトモ只タ政事上ノ犯罪人收容所ニ至テハ依然内務省ニ存在セリ而シテ本省ハ普通會議ノ外ニ左記ノ部局ヲ置ク

警察局 同局ノ職權ハ其名稱ノ示スカ如シ

濟民局 同局ハ人民ノ安寧幸福ヲ増進スル處トス

内外教務局 羅馬加特力教會、エフエンゲリッシユ、ルーテリッシユ「寺院裁判本部及ヒ回々教管理部門局ニ隸屬スルモノニシテ特別僧太教長委員會ハ猶太人ノ教會事件ヲ裁定ス

醫務局 同局ニハ特別醫會及獸醫委員會アリ

庶務局 同局ニ於テハ本省及ヒ其所轄官衙ノ職員ニ關スル事項ヲ取扱ヒ竝ニ貴族ノ撰定等ヲナス

地方局 同局ハ農民ニ關スル行政及ヒ制度問題ヲ統轄スル處ニシテ其下ニ特別ナル課アリテ波蘭王國ノ農民事件ヲ取扱フモノトス

工事委員會 同委員會ハ特ニ市ノ工事ニ關スル圖樣ヲ確定シ其他寺院ノ建築等ニ關スル圖樣ヲ檢查ス

建築學校ハ同委員會ニ隸屬ス

高等印刷管理部 同部ハ書籍ノ檢閱、印刷物、活版所及ヒ書肆ノ監督ヲナス

郵便電信管理本部ハ 同部ノ長官ニハ二名ノ補佐官アリテ廣大ナル職權ヲ附與セラレ内務大臣ト雖

モ撰リニ同部ニ干與スヘキモノニアラス

統計中央委員會 同委員會ハ各所管ヨリ材料ヲ徵收シテ全體ノ統計ヲ編纂スル所ニシテ其下ニハ統計ノ編纂ニ關シ學術上ノ原則ヲ確定スル課アリ

(ル)文部省

教育制度ノ指揮監督ハ文部大臣之ヲ爲ス但シ他ノ行政官廳ニ隸屬スル特種ノ學校ハ此限ニアラス同省ハ大臣、其補佐官及ヒ省内會議ノ外左ノ部局ヲ設置ス(イ)教育局(教育ニ關スル諸般ノ常務ヲ監視ス)(ロ)學術委員會(同會ハ技術的教育問題ノ解決、讀本ノ檢定、授業時間ノ確定等ヲナス所ニシテ會長ハ皇帝之ヲ任命ス省内會議ニ於テハ常置委員ノ外尙彼得堡駐在ノ學區視察官モ亦其議席ニ列シ發言ヲナスノ權アリ其他大臣ハ大學總長及ヒ其他ノ教授ヲ招集シテ右議席ニ列セシムルヲ得)(ハ)考古學會(同會ハ右ト同様勅任ノ會長及ヒ會員ノ互撰シタル委員數名ヲ以テ之ヲ組織シ露國歴史ノ材料ヲ蒐集シ之ヲ公示スル所トス)又彼得堡帝室書籍館モ亦文部省ニ附屬ス

(ヲ)宮内省

宮内大臣ハ一名ノ補佐官ヲモ有セサレトモ書記官一名ニテ之ヲ補佐ス同大臣ハ宮内大臣タルト同時ニ帝室財産ノ管理官及ヒ勅章局長官タリ而シテ宮内大臣ハ直ニ皇帝ニ隸屬シテ自ラ會計ヲ監督ス帝國會計檢査院ノ職權ハ宮内省所管内ニ及ホスヲ得スシテ同省自ラ其會計ヲ檢査スルノ權アリ宮内大臣ニ隸屬スル官廳ハ皇帝ノ名又ハ口頭ヲ以テスル命令ト雖モ宮内大臣之ヲ傳達スルニアラサレハ其法規トナスニ及ハス皇帝ニ屬シ皇室ノ系譜ヲ貯藏スル場所、賞勳會議、元帥府、離宮、美術大學、帝室演戲場、城塞等

ハ宮内大臣ノ監督ニ屬ス

(ワ) 皇帝宛請願書調査局

同局ハ一種貴重ノ官廳ナレハ之ヲ最高帝國官衙ノ内ニ算入シ各省ニ續テ記載セントス本來同局ハ帝室ノ本營ニ附屬スルモノニシテ總テ皇帝宛ノ請願書ハ其司令官ニ提出ス同局ハ長官一名及ヒ之ニ必要ナル官吏若干名ヲ以テ組織シ其權限ハ司令官規程ニ據リ之ヲ定ム左ノ書類ハ皇帝ノ名宛ニテ提出スルヲ得即チ元老院諸局(訴訟局ヲ除キ)ノ命令ニ關スル請願裁判ヲ經サル事件ニ關スル請願(但シ該事件ノ裁判ハ實際ノ出來事ニ適合セサル事實ニ基キ之ヲナシタル事ヲ精確ノ證明書ヲ以テ證明シタルトキニ限ル)各省大臣、特別ナル管區及總督府ノ長官ノ取扱及ヒ命令ニ對スル告訴ニシテ法律ニ據リ元老院ニ提出スヘカラサルモノ、普通法律ニ揭示セサル特別ノ場合ニ於ケル請願及特典願ニシテ法律上何人ノ利益及ヒ私法ニモ抵觸セサルモノ及ヒ判決ヲ受タル又ハ夙ニ贖罪シタルモノ、特典願是レナリ又元老院ニ對スル請願ニアリテハ其抵觸スヘシト思惟スル法律ヲ掲記シ且ツ之ニ關スル命令ノ同願人ニ通知シ又ハ執行セラレタル時日ヲ記載スル證明書ヲ之ニ添附セサルヘカラス總テ此等ノ請願ハ其命令ノ通知又ハ執行セラレタル日ヨリ起算シ四箇月間内ニ之ヲ提出スヘシ其他以上ノ條件ニ適合セサル請願書ノ外互ニ脈絡貫通セサル諸般ノ事項ヲ記載シテ事實ノ明瞭ヲ缺キ又ハ不當ノ語句ヲ用ヒタル書類又ハ一旦皇帝ヨリ却下セラレタル嘆願書ヲ再三提出シ更ニ新規ノ事由ヲ證明セサルモノ等ハ其儘ニ附シ置クモノトス今夫レ請願ニ限リ前記正當ノ手續ヲ履ムニ於テハ之ヲ調査局ニ提出スルヲ許可セラル、ヲ以テ其際別ニ法律上規定シタル官廳ヲ經由スルニ及ハス又官吏ハ長官ヲ經シテ其實與ヲ請

願スルヲ許サ、ルモ只長官ニ屬スル職權ニ基ツキ其理由ヲ告ケスシテ濫リニ下僚ノ官吏ヲ罷免シタルトキニ限リ之カ訴願ヲ爲スヲ得帝國本營司令官ハ勅許ヲ得テ同本營ノ所管トナリタル事件ヲ帝國參議院、元老院及ヒ大臣委員會ノ會議ニ附セラル、トキハ其議事ニ列スルモノトス

第二章 地方行政機關

歴史 露國現時ノ州政ハ「カマリナ」女皇第二世ノ創設セル制度ヨリ胚胎セルモノニシテ初メ女皇州ノ合議制ヲ設定スルニ方テヤ知事ヲ以テ其長トナシ之ヲ地方大臣ニ隸屬セシメタリ即チ地方大臣ハ數名ノ知事ヲ統率シ女皇ニ親昵シ非常ノ權力ヲ掌握セリ而シテ州政ハ女皇ヨリ直轄セラレ元老院ノ監督ヲ受ケ自治ノ體制ヲ採リ一意國民利福ヲ計ルヲ目的トセリ地方諸官廳及ヒ各官吏ハ二個ノ合議體即チ知事ヲ戴ク處ノ州廳竝ニ副知事ヲ長トスル財務廳ノ監督ヲ受ケ司法、警察、道路及ヒ貧民救助ニ關スル事項ヲ取扱ヒ自治體ノ代議士ハ右ノ官吏ヲモ撰舉スルノ權アルヲ以テ其職權範圍大ニ擴張セラレタルモ實際獨立ノ自治體ニ缺クヘカラサル條件特ニ賦稅權ヲ制止セラレ則チ此種ノ條件ヲ實行スルニ至當ナル事務ハ勉メテ之ヲ政府ニ歸セシムルノ職責ヲ有セリ當時謂ヘラク善良ナル專制政治ハ決シテ代議士ノ獨立行爲ヲ要セスト去レハ地方行政ノ中樞ハ獨立ナル自治制度ニアラスシテ中央政府ノ地方代表者即チ「カマリナ」法律ニ於テ地方長官ト認メタル知事及ヒ君主ノ信任ノ得其企劃ニ參與スル總督ニアリシナリ尋テ亞歷山第一世ノ時代ニ及ヒ新ニ所管大臣ヲ設定シテ地方大臣ニ代ヘ而モ此所管大臣制年處ヲ經ルニ隨ヒ暗々裡ニ其勢力ヲ伸張シ地方行政ハ之レカ爲メニ其獨立ヲ失ヒ併セテ其統一ヲ缺クニ

至レルヲ以テ各般ノ改革モ徒ラニ所管大臣ノ集中權ヲ助長セシムルノ基トナレリ去レハ折角ノ統一の合議制度モ一變シテ個々相分立スル所管大臣ノ代表機關トナリ竟ニ地方官廳ハ中央政廳ト均シク各其意見ヲ固執シテ相讓ヲサルニ至レリ蓋シ是レ地方官廳ハ其合議制ニ代フルニ吏權制ヲ以テシタルニ由ル夫レ然リ地方官廳モ亦往々知事ノ所管ヨリ分立シ更ニ內務大臣ノ機關タル觀ヲ呈シ知事ハ一個ノ行政官トナリテ政府ノ代表者タル性格ヲ失ヒ此ノ如クシテ地方官廳ノ統一ヲ缺キ其權力ヲ四分五裂セシメタルノ證ハ其後各種委員會ノ發生シタルヲ見テモ瞭然タルヘシ抑モ此委員會ノ組織制度タル殆ント同一軌ニ出ルト雖トモ素是レ各般ノ行政及ヒ中央諸官省ノ爲メニ特別ニ設置シタルモノナルヲ以テ從テ其交通事務ニモ錯雜煩繁ヲ來セシハ素ヨリ論ヲ俟タヌ加フルニ所管官省ニ於テ行政權ノ集中ヲ激勵シタルノ結果ハ所管官吏ヲシテ自治機關ニ對シ不信用ヲ懷カシムルコト、ナレリ凡ソ自治機關ナルモノハ國家ノ職務ヲ執行スヘキモノナルヲ以テ初メ「カタリナ」第二世ハ國家ノ機關タル權利統治權及ヒ狹隘ナル獨立權ヲ之ニ附與セリト雖トモ自治機關ハ此種ノ權利ヲ執行シ及ヒ擁護スルヲ知ラザリキ之ニモ拘ハラヌ其後尙右ノ獨立權ヲ増與スルノ方針ヲ取レリ然ルニ近代ノ法律ニ至テハ自治機關ニ對シ一モ統治權ヲモ與ヘサルノミナラス利ヘ之ヨリ國家ノ職務ヲ行フニ必要ナル資格ヲ剝奪セリ夫レ自治機關ハ以上ノ權力及ヒ資格ヲ得初メテ國家ノ職務ヲ行フモノナルニ若シ之微リセハ到底完然ナル自治ノ結果ヲ見ル能ハサルヘシ(「エンゲルマン」露國々法摘譯)

州内ニ設置シアル諸官廳ハ國家普通ノ行政權ヲ執行シ(第一)又ハ限界セラレタル一定ノ職責ヲ負擔スル(第二)程度ニ應レ之ヲ大別シテ二種トナス即チ(第一)ニハ知事、州廳及ヒ總督之ニ屬シ及ヒ(第二)

ニハ左ニ掲ル機關之ニ屬ス

第一節 地方普通官廳

第一項 知事

知事ハ諸般ノ職務ヲ負擔スルヲ以テ一々茲ニ之ヲ舉示スル頗フル困難トス今其概略ヲ述シニ知事ハ之ニ隸屬スル州廳ニ於テ執行スル行政權ノ代表者ニシテ直ニ皇帝ヨリ任命セラレ內務省ニ屬シ一切ノ警察ヲ指揮スルノ任アルト同時ニ他省ニ隸屬シタル諸官衙又ハ自治ノ機關ヲモ監督スルノ責アルヲ以テ知事ハ何時タリトモ此等機關ノ行爲ヲ觀察スルノ權アリ故ニ知事ハ其行爲ニ就キ突然検査ヲ遂ケ直ニ上申ヲナスヲ得ヘント雖トモ他ノ機關ノ行爲ニアリテハ不正ノ行爲アレハ其上司ノ官廳ニ其趣キヲ報告スルニ止マルモノトス以上ノ如ク知事ハ右官廳ニ就キ一般監督ヲナスト共ニ各官吏ヲモ監督スヘキヲ以テ行政官吏ノ任命ニ關シ抗議ヲナスノ權アリ而シテ知事ハ地方諸官衙及ヒ委員會例之ハ州廳給養委員會、州内地方及ヒ市務局并ニ農務署等ノ長タリ今知事ノ職務中重大ナルモノヲ舉ケンニ成規ノ法律ヲ公布スルニモ能ク之ニ注意ヲ加ヘ若シ此際危險ノ虞アリト認ムレハ其危害ヲ排除シ又ハ其旨ヲ上司ノ官廳ニ上申スルコトナリ「プロソ」ヘソソル、エンゲルマンハ以上ノ事ニ關シ其意見ヲ述ヘテ曰ク知事ハ各般ノ事項ヲ監督スルノ任アルヲ以テ該事項例之ハ自治機關ノ自治ニ委スヘキモノト雖トモ尙ホ之ヲ以テ其責任ヲシムルヲ得ト(注「マルカルト」セン公法)實ニ至「百」ト謂フヘレ而シテ知事ノ下ニハ副知事アリテ之ヲ補佐シ知事故障アルトキハ之ヲ代表ス知事ハ皇帝陛下ニ直奏シ得ルモノニシテ特ニ就職後毎歲管内ヲ巡回シテ其情況ヲ奏上ス

第二項 州廳

三百六

州廳ハ州ノ最高行政官廳ニシテ内務省ノ所管ニ屬スト雖トモ元老院ヨリ直轄セラレ同院及ヒ皇帝陛下ノ下シタル規程ヲ遵奉ス而シテ其職權ヲ舉レハ當初州廳ニ於テ負擔シタル職務ノ内多クハ特別ナル官廳又ハ地方廳ニ移轉シタルモ尙ホ其範圍ニ至テハ廣大ナリトス例之ハ國家警察(即チ政治警察)ハ知事及ヒ憲兵ニ於テ掌握スレトモ普通警察ハ州廳ニ於テ統轄スルカ如シ其他州廳ハ同廳發刊ノ州報ヲ以テ法律條例ヲ告示シ各行政官衙ニ於ケル權限爭議ヲ裁定シ且ツ元老院ノ命令又ハ法律ニシテ其目的ヲ達シ得サルトキハ同院ニ其旨ヲ上申スルノ權利ヲ有ス若シ又官吏ニシテ瀆職ノ廉アレハ裁判所ヘ引渡ヲ命ス知事ハ合議體ノ長ニシテ副知事ハ事務上ノ指揮ヲナス而シテ知事及ヒ副知事ニハ少クモ顧問二名即チ州醫務監査官(技師)及ヒ工事監督官ヲ置キ各地方ニハ試補一名ヲ置ク合議體ノ委員ハ各地トモ一様ナラス書記局ハ各課ニ分レ其課員ノ内一名ノ以テ長トナス其事務ノ性質ニ依リ或ル事件ハ合議體ニ於テ決定スルコトニシテ知事ハ合議體ニ於テ一ノ發言權ヲ有シ可否同數ナルトキハ知事之ヲ裁定ス即チ該事件トハ(第一)官吏ヲ裁判所ニ引渡スコト(第二)官吏ノ懲戒(第三)權限爭議ノ裁定(第四)法律條例ノ中止及ヒ訂正ニ關スル申告(第五)官衙ノ怠慢ニ關スル告訴(第六)書記局員ノ免職(第七)司法制度ノ改革未タ普クカラサル地方ニ於テ飲料、森林保護條例等ノ違反ヲ處罰スルコト是レナリ前記以外ノ事件ニ關シテハ合議體ハ單ニ知事ニ屬スル一種ノ顧問ニ過キス知事ハ之ニ依リ其事件ヲ決定ス法律ハ此種ノ事件ヲ認メテ第一種ノ行政事件トナスモノニシテ此等ハ各人ノ人權又ハ財產權ニ關係ス而シテ第二種ノ事件ニ至テハ其所管ニ依リ州廳ノ各部例之ハ醫務局、工部等ニ於テ之ヲ決定ス其他普通

ノ憲法ヲ有スル事件例之ハ衛生事項ノ如キハ他ノ地方廳(財務局、官有地事務局等)ノ長官又ニ地方會議ノ代表者(貴族總長、市長等)ヲ招集シテ其議ニ與カラシム

第三項 總督

前述セシ如ク此官職ハ歐洲露西亞ニ於テハ尙其範圍頗フル狹小ナルヲ以テ國家正式ノ機關ニ屬セス即チ或ル地方ノ情況ニ應シ設定シタル地方政府ノ性質ヲ有ス抑モ總督ハ知事ニ比スレハ特別ナル名譽ヲ負擔スルト共ニ政事的國家ノ意思ヲ懷抱スルモノトナシ知事ヨリモ一層重大ナル地位ヲ占ム故ニ總督ハ知事ト一般單ニ法律上指定セラレタル行政權ノ範圍内ニ拘束セラル、コトナシ而シテ總督ノ内務大臣ニ於ケル關係ニ至テモ知事ノ如ク之ニ直隸スルニアラス如何トナレハ法律ハ總督ヲ以テ特ニ皇帝ノ信任ヲ得テ職就シタルモノトナシ假令ヒ内務大臣ヲ經由スルコトアルモ皇帝ニ直奏スルノ權ヲ與ヘタルヲ以テナリ又法律條例ノ如キモ總督ノ管區内ニ於テハ其同意ヲ得サルニ於テハ一モ之ヲ施行スヘキニアラス總督ノ彼得堡滯在中元老院諸局ノ會議及ヒ通常會ニ於テ總督府ニ關スル事件其議事ニ附セラレルトキハ之ニ列席シテ決議ヲナスノ權アリ

莫斯科州ハ彼ノ數州ヲ合併シテ一大領土ヲナス總督府ト異ナリ同州特ニ總督府ヲ建設スルモノトス前記莫斯科ニ於ケル異例タル他ノ總督府ト一般別ニ此内ニ政事上ノ理由ヲ包含スルニアラス只此異例ニ依リ帝國舊都ノ存在セシ地方ニハ他州ヨリモ優等ノ資格ヲ與ヘタルモノナルヘシ而シテ總督ノ設定シアル地方ニ於テハ總督ハ知事ノ申告ヲ内務大臣ニ媒介スルモノトス

第二節 地方特別官廳

三百七

右官廳ノ内重要ナルモノヲ左ニ掲ク

第一項 財務廳

財務廳ハ國庫ノ利益ヲ計ルノ任アルヲ以テ商業稅其他ノ稅金ヲ管理シ金庫ノ名ヲ以テ契約ヲ締結シ又ハ此種ノ目的ヲ有スル競賣等ヲ指揮ス又同廳ニハ稅務監督官アリ其所管スル一定ノ區内ニ於テ稅法ノ施行ヲ監督ス其他財務廳ハ或ル行政上ノ裁判ヲナスヘキカ故ニ商工兩稅法ニ違犯スルモノアレハ之ニ罰金ヲ課スルノ權アリ同廳ハ州ノ最高財務官廳トモ云フヘキモノニシテ金庫モ同廳ノ直轄ニ歸ス而シテ金庫ハ分テ州金庫、郡金庫及ヒ扶助金庫トナル政府ノ諸稅及ヒ歲入ハ金庫ノ統一主義ニ從ヒ皆以上ノ金庫ニ注入シ來ルモノニシテ且ツ金庫ハ金額ノ支出ヲモナスト共ニ各種有價證券ノ保管ヲナス所ニシテ尙ホ印紙、商業手形等ノ販賣及ヒ貯金預リヲナス

第二項 官有地事務局

官有地事務局ニ於テ一大改革ヲナシ農業監督ノ任ヲ負擔セシ以來同局本來ノ職權著ルシク擴大シテ其名實相稱ハサルニ至レリ而シテ同局ハ各州ニ散在セス數州ヲ合シテ其一管理區ニ屬セシムヘキヤ否ハ一二事務大臣ノ意見ニ據リ之ヲ決ス

第三項 消費稅管理局

火酒、麥酒、煙草及ヒ砂糖ノ諸稅ハ總テ消費稅ニ屬スルモノニシテ此等物品ノ生産販賣ハ同管理局及ヒ其管區内ノ下級稅務署ニ於テ之ヲ監督ス又火酒ノ專賣ヲ施行スル地方ニ於テハ管理局ハ右ノ專賣ヲモ監督シ其他稅法違犯ノ場合ニハ行政上罰金ヲ課スルノ權アリ

第四項 會計検査局

同検査局ハ總テ州内ニ於テ國庫金ノ收支ヲ掌トル官廳及ヒ官吏ノ會計取扱方ヲ監査スル所トス而シテ同局ハ國家ノ官廳タル關係ヨリシテ管ニ金融上ノ秩序ヲ監督スルニ止マラス尙ホ各般ノ取引カ經濟上ノ目的ニ適合スルヤ否ヲ判定スルノ任アリ元來同局ハ州ノ官廳ト看做スヘキニアラス寧ロ帝國會計検査院ノ機關タルヲ以テ同局ハ全ク獨立ノ動作ヲナスモノニシテ詳言スレハ同局ハ帝國會計検査院ニ專屬シ總督又ハ知事ノ監督ヲ受ルコトナシ

第五項 州及郡警察署

州郡ノ警察ハ殆ント歐洲諸國ト異ナルコトナキモ只露國州郡ノ警察ハ他諸國ニ比スレハ稍ヤ其職權廣大ニシテ徵稅ノ任務ヲ有スルコトナリ前述セシ如ク州ノ高等警察ハ知事及ヒ州廳ニ於テ之ヲ執行スルノ外政事警察ヲ負擔スル憲兵屯所ニ於テモ亦之ヲ執行スルモノニシテ其下級機關ハ州内ニ配置ス州ノ市府其他法律上特記シタル地方(市府、市場、移民地)ハ警察區ニ分割セラレ警察長之ヲ支配スト雖トモ其餘ノ地方ニ於ケル警察ハ通常郡ノ市内ニ於テ郡長及ヒ書記ヲ以テ組織スル郡警察署ニ附屬スルモノトス

警察區ヲ分割シテ「スタン」(警察區)トナシ之ニ「プリスタウ」(警察執行吏)一名ヲ置ク千八百七十八年以來其下級機關トシテ「ウリアドニクス」(右プリスタウヲ)ヲ置キ尋テ町村ノ撰出ニ係ル百人長並ニ十八人長ヲ置ク

第六項 地方軍政部

帝國ハ軍事上ノ目的ニ依リ數州相合シテ特別軍事區ヲ設定シ軍隊司令官之ヲ統轄ス軍區會議、區參謀部其他各種ノ下級軍事機關之ニ隸屬ス

第七項 地方學政部

同部ノ長ハ學區觀察官ニシテ別ニ大學教授及ヒ中學長ヲ以テ會議ヲ組織シ同部長ヲ補佐ス學區ハ數州ニ互リ觀察官ハ其居ヲ大學所在ノ市ニ占ムルヲ例トス

第八項 地方教務部

希臘加特力教會ヲ管理スル爲メニ帝國ヲ分割シテ希臘正教區トナシ皇帝ノ任命セル大僧正若クハ教長ニシテ兼テ教會會議ニ於テ首席ヲ占ムルモノ一名其教區ヲ監督ス州毎ニ一ノ教區ヲ設定スルヲ例トスレトモ「ワガ」「ワルンヤウ」及ヒ「リタウ」ノ諸教區ノ如キハ數州ニ跨カリ高加索及ヒ柴伯里ニ於テモ教區ト州トノ兩界相分ル而シテ右教區及ヒ會議トモ教務院ニ隸屬ス

外國教會管理ノ事ニ就テハ帝國法律第六卷第一部ニ於テ規定シタルヲ以テ茲ニハ羅馬加特力教及ヒ「ユフアンゲリム、ルーテル」教ヲ以テ外國教會ノ重モナルモノトナシ之ノミヲ略記シ傍ヲ同法律中ニ於テ「ツウイングリ」「パプチスチン」「メーニーンテン」(以上兩者トモ再「アルメニエン」加特力及ヒ「アルメニエン、グレゴール」諸教會ノ管理竝ニ「カライメ」猶太、回教及ヒ「ラマ、ハイデン」教ノ教法ニ關シ各自其規程ノ設ケアルヲ示サントス

羅馬加特力教會 露國ニ於ケル同教區ヲ大別シテ大僧正領、モヒレウ(僧長領、ウイルナ、「ルツク」シトミール、「テルレニ」、「チラスケル」ヲ込メ)及ヒ「ワルンヤウ」(僧長領「アウグストウヲ」、「カリシユ」、「クエ

チ「ルブリン」プロツク「サンドミル」ヲ込メ)ノ兩區トナス即チ「モヒレウ」ノ大僧正ハ之ニ隸屬スル管區ノ長ニシテ兼テ在彼得堡羅馬加特力僧侶ノ合議體即チ最高教會監督官職ノ長タリ而シテ僧長領及ヒ同領内ノ寺院會議之ニ隸屬ス以上ノ合議體ハ議長竝ニ內務大臣ノ上申ニ依リ皇帝ノ任命シタル常置委員二名ノ外各寺領ノ本山ニ於テ撰舉シタル代表者各一名ヲ以テ之ヲ組織ス 露國大市ノ大僧正、寺領ノ教長及ヒ副僧正ハ前以テ法王ノ同意ヲ得レハ「アルレルヘクスト」(至高ノ義)ナル尊號ヲ受ルモノト露國臣民ニシテ羅馬加特力ヲ奉スルモノ、僧侶又ハ俗僧ト雖トモ內務大臣ヲ經由スルニアラサレハ羅馬政府ト交通スルヲ許サス又法王ノ諭告、布令等ニ至テモ勅許ヲ得タル上ニアラサレハ之ヲ施行スルヲ得ス抑モ此勅許ナルモノハ法王ノ諸法令カ國家ノ制度若クハ獨裁君主ノ至高權ヨリ生スル神聖ナル法條ト抵觸セサル旨ヲ內務大臣ヨリ證明シタル上其下附ヲ奏上スルモノナリ

「ユフアンゲリム、ルーテル」教會 同教會管理ノ爲メニ寺院會議ヲ招集セリ即チ彼得堡、莫斯科「ワルンヤウ」「クールランド」「リーフランド」及ヒ「ヘストランド」ノ諸會議是レナリ而シテ此會議ノ内「リーフランド」及ヒ「ヘストランド」兩會議ノ範圍ハ之ト同名ノ州内ニ止メ其他ノ會議ハ之ヲ擴張シテ歐洲ニ及スナリ此等ノ會議ハ皇帝ノ任命シタル俗僧ヲ以テ其議長トナシ會議所管區ノ總監督ヲ以テ副議長トナシ議長ヲ補佐セシム俗僧及ヒ寺僧各一名ハ其陪席官トナリテ其職務ヲ執行ス(註 彼得堡會議ノ陪席官)左ノ寺院會議ハ在彼得堡總會議ニ隸屬スルモノニシテ總會議モ亦俗界ノ議長及ヒ宗教界ノ副議長(各勅任トス)ヲ有スルノ外俗僧寺僧各一名ヲ以テ其陪席官トナス(註 前記地方諸官職ノ外尙ホ地方ニハ各關稅局等アレト)モ之ヲ省略ス)

州郡ノ官廳ニシテ一部分ハ政府ノ官吏ヲ以テ一部分ハ町村ノ吏員ヲ以テ組織スルモノ若干ハ地方混成官廳ニ屬ス此種ノ官廳ノ長官ハ州知事ニシテ其職權範圍ハ其名ノ命スル處ニ依リ之ヲ識別スルヲ得其内必要ナル官廳ヲ左ニ示ス

- (第一) 州又ハ郡ノ徴兵局 同局ハ兵役義務者ヲ招集採用スル處トス
- (第二) 州内地方市務局 同局ハ地方及ヒ市ノ自治ヲ監督スル官廳トス
- (第三) 州又ハ郡ノ農務局 農民區ノ自治及ヒ農業條例ノ施行ヲ監督スルハ同局ノ任トス
- (第四) 州統計委員會
- (第五) 州監獄監督委員會
- (第六) 州學校會議 同會議ハ小學校ヲ監督ス
- (第七) 森林保護委員會 同委員會ハ森林保護條例ノ施行ヲ監督ス(註 貴族院見事務局及ヒ市立孤兒院セサルヲ以テ之ヲ貴族制度又ハ市制ノ部ニ掲記セントス)

第三章 自治

國民ヲシテ公共事業ニ參與セシムルノ端緒ヲ開キタルハ「カタリナ」第二世トス抑モ此女皇ハ地方分權ニ重キヲ置キ千七百八十五年四月二十一日ノ特許狀ヲ以テ自治權ヲ備ヘタル機關ヲ貴族ニ附與シ之ト同時ニ市ニ就テハ市制ヲ制定シ市民ヲ其職業ニ依リ等級ヲ設ケ其ノ地方ノ事件ヲ管理スルニ方リ之ニ少ナカラサル自由ヲ與ヘタリ

右ノ特許狀タル尙ホ今日ニ至テモ露國貴族團體制度ノ根原トナリタレトモ市制ハ之ニ反シテ當初ノ目的ニ趣願セリ當時市制ハ市ノ發達ニ比スレハ之ヨリ數歩ヲ進メ市民ハ其市内ノ事件ヲ處理スルニ尙ホ習熟セサルヲ以テ寧ろ從來ノ如ク官吏社會ヲシテ其事件ヲ管理セシメントシ官吏ハ飽マテ市民ヲシテ自治ニ伴フ處ノ各般ノ計劃ニ盡瘁スルコトナカラシメントシタルヲ以テアリ其後自治制ハ彼ノ農民解放(千八百六十一年二月十九日)ニ端ヲ開キタル亞歷山第二世ノ改革時代ニ至リ初メテ其實施ヲ見ルコトトナリ而モ農民ノ一種屬ハ之カ爲メ再ヒ廣大ナル自治權ヲ得タルカ故ニ當代ニ對シ深ク謝意ヲ表セサルヘカラス地方制ハ千八百六十四年一月一日ニ於テ先ツ三十四州ニ頒布シ尋テ漸ク以テ其他ノ地方ニ及ホシ千八百七十年六月十六日ニ於テ此地方制ニ新ニ市制ヲ加ヘタリ降テ亞歷山第三世ノ執政時代ニ及ヒ多少自治ノ發達ヲ阻碍レ此間ニ於テ兩制トモ訂正ヲ加ヘラレ千八百九十年六月十二日及ヒ九十二年六月十一日附法律ノ精神ハ自治機關ニ對シ大ニ地方廳ノ權力ヲ伸張セントスルニアリタルヲ以テ更ニ右兩制ニ變更ヲ加ヘタルコト尠ナレトモ

如上ノ次第ニ依リ自治制カ變シテ國家的トナリタリト云フモ決シテ過言ニアラサルヘシ如何トナレハ州郡並ニ市ノ撰舉人ハ強テ之ヲ國家官吏ノ等級内ニ編入シ官吏ノ爲メニ設定シタル官紀ヲ遵奉セシメ加フルニ自治監督ノ範圍著ルシク擴大シタルヲ以テナリ蓋シ其此ニ至リタルハ監督官廳ハ市會及ヒ州郡兩會ノ決議ヲ調査スルニ方リ獨リ之カ法律ニ適合スルヤ否ノ點ノミニ止マラス尙ホ其當不當ヲモ査閱レ又ハ之ニ干涉スルノ職權ヲ有シタルニ由ル其他改正地方制ハ國內ノ一種族即チ貴族ニ法律上一大權力ヲ與ヘ彼ノ千八百六十四年ノ制度ニ胚胎セル各種族同等ノ權利ヲ亡失セリ斯ノ如ク時勢ノ變更ヲ

促シタルハ蓋シ國政復古ノ氣運此ニ至ラシメタルヨリモ寧ろ露國ノ貴族カ他ノ種族ニ比シ割合ニ大ナ

ル智徳ヲ兼備セルノ事實與リテカアルヘシ

第一節 貴族制度

彼ノ地方行政ニ幾分ノ參政權ヲ得タルモ中央行政ニハ容喙スルノ權ナキ貴族團體モ亞歷山二世ノ改革時代前ニ於テハ普通司法行政兩權ヲ其撰舉ニ依テ占得シタルコト鮮ナシトセス然ルニ他ノ種族モ自治ニ干與スルノ權ヲ得階級制度亡滅ノ端ヲ開クニ至リタルト同時ニ最早貴族ハ以上ノ如キ公法上ノ特權ヲ永久維持スルノ場合ニ至ラスレテ之ヲ公益ノ犧牲ヲシメサルヲ得サリキ尤モ政府ト雖トモ貴族ニ對シ或ル賠償ヲ與フルニアラサレハ以上ノ追求ヲナスヘキニアラス所謂賠償トハ重モニ貴族團體ノ代表者即チ州貴族總長ハ許多行政官廳ノ議席ニ列シ發言スルノ權ヲ之ニ與ヘタルコトナリ

貴族會議 同會議ハ法律上貴族團體ニ委任セラレタル各般ノ事件ヲ決議スルモノニシテ特ニ此決議ハ州貴族會議ニ於テ之ヲ爲ス而シテ郡ノ市部ニ開始スル郡貴族會議ハ右州會議ノ爲メ豫備行爲ヲ負擔スルニ過キス(註 郡貴族會議ハ貴族團體ノ會計及ヒ金庫ノ検査ヲナス爲メ委員ヲ撰舉ス) 貴族會議ノ通常會ハ州知事ノ命令ニ依リ二箇年毎ニ招集スルヲ例トスレトモ臨時會ハ知事ノ認可ヲ得タル上州貴族總長之ヲ招集ス

會議ノ委員ハ州又ハ郡ノ世襲貴族ニシテ其年齡丁年以上ニ達シ私法公法ノ執行ニ故障ナキハ勿論總テ其他ノ條件ニ適合スルモノヲ以テ之ニ充ルト雖モ其權利ニ至テハ同等ナラス是レ何人ヲ問ハス不動產ヲ所有セス其位階少クモ第四級ニ達セス露國ノ勳章ヲ有セス高等若クハ中學校ヲ卒ヘス且ツ未タ撰

舉上ニ關係セサルモノハ右會議ニ列スルモ其議事ニ與カルヲ許サ、ルヲ以テナリ而シテ會議ノ議事及ヒ決議ニ與カルノ權利中ニハ自己ノ撰舉權ヲ包含セス即チ其撰舉權ハ專ラ左ニ掲ルモノニ屬ス(第一) 郡内ニ於テ有利ナル廣大ノ土地ヲ所有シ郡會議員ヲ直接撰舉スルノ權アル者(第二) 其他市若クハ郡内ニアル不動產(土地ニアラス)ノ所有者ニシテ其納稅額少クモ一万五千(留)ニ評定セラレタルモノ是レナリ是ニ由テ之ヲ觀レハ撰舉權ヲ得ルニハ一定ノ不動產ヲ所有スヘキヲ通則トスレトモ法律ハ以下ノ除外例ヲ設ケタリ(甲) 就職中(退職ノ場合ニアラス) 大佐又ハ當務國務議官ノ位階ヲ有スル貴族ハ多少ヲ問ハス不動產ヲ所有スルヲ要ス(乙) 三年間貴族總長ノ職ヲ奉セシ貴族ハ全ク不動產ノ所有ヲ要セサルコトナリ

上記ノ如ク自身會議ニ參與スルノ權アル貴族ノ外尙ホ他人ノ代表者トシテ會議ニ列スルモノアリ即チ父タルモノカ右法律上ノ條件(位階又ハ勳章)ヲ具備スルトキハ其子不動產ヲ所有スルモ丁年未滿ナレハ其後見人トシテ之ヲ代表シ又貴族ノ婦ハ其男系ニ依テ代表ヲナサシムト雖モ若シ男系ヲ有セサルカ又ハ故障アレハ一般ノ撰舉條件ニ適合スル他人ヲレテ其代表ヲナサシメ又撰舉標準資格ヲ有スル不動產ヲ數人ニ於テ共有スルトキハ其共有者中ヨリ委員一名ヲ撰出シ又不動產ニレテ其内ニ數箇ノ標準資格ヲ包含スルトキハ該不動產ハ其標準資格ノ數ニ相應スル共有者ヲ代表スルヲ得其他州ノ貴族ニシテ少クモ撰舉ニ必要ナル標準資格高二十分ノ一ヲ所有スルモノハ郡撰舉會ニ代表シタル不動產ト相合シテ標準資格ヲ作り此資格ニ相當スル若干ノ議員ヲ撰舉スルモノトス

或ル州ノ貴族團體ニ加入セントスルモノハ其州ノ貴族々譜ニ登記スルヲ要ス但シ族譜ノ登記ハ世襲貴

族ニ限ルモノニシテ若シ該貴族中孰レヲ問ハス各州ニ於テ不動産ヲ所有スルモノハ其州ノ貴族團體ニ加入レテ其撰擧ヲ執行スルヲ得無資産ノ貴族ニ就テハ左ノ區別ヲナス即チ貴族ニシテ其祖先資産ヲ有シ登記ヲナシアルトキハ之ト均シク其地方ニ於テ登記ヲナスト雖トモ祖先ニシテ貴族ノ資格ヲ失フカ又ハ一モ不動産ヲ所有セサルニ於テハ貴族ハ其加入セントスル團體ヲ撰定スルノ權アリ以上ノ規程タル一代貴族(官等ニ伴フ貴族)又ハ勳等ニ依リ貴族トナリタルモノ若シハ外國貴族ニシテ露國ニ奉仕スルモノニモ之ヲ適用ス而シテ此種ノ貴族ハ不動産ヲ所有スルト同時ニ其不動産ノ所在地ニ於テ貴族レテ少クトモ一個ノ標準資格ヲ作ルトキハ其加入セントスル團體ヲ撰定スルノ權アリ

何人ト雖モ二個以上ノ投票權ヲ執行スルヲ許サズ即チ二個投票權ノ内一個ハ自己ニ關スルモノ一個ハ代表スルモノ是レナリ是ヲ以テ數郡ニ於テ標準資格ヲ所有スルモノト雖モ州貴族會議ニ於テハ一個ノ投票權ヲ有スルニ過キス知事ハ貴族團體ノ委員タルヲ得ヘント雖モ貴族會議ニ列席スルヲ許サズ其他本會議ニ於テ職務スル州檢察モ其議事又ハ撰擧ニ干與スルノ權利ヲ有セス

貴族會議ノ權利 前述セシ如ク貴族タルモノ、本領ヨリスレハ多數行政官吏ノ撰擧及ヒ諸般ノ改革ヲ避クヘキコトニシテ今ヤ此種ノ撰擧權其範圍ヲ縮小シ之ヲ維持スルモノ僅カニ二三州ニ過キス(註 帝第九號第四百一十一條ニ曰ク通常州貴族會議ノ主要ナル事項ハ各州ニ適用スル現行法)而シテ現今ニ及ニ據リ貴族中ヨリ法律ニ示定シタル各種ノ職務ヲ執ル官吏ヲ撰擧スル權利ナリトス而シテ現今ニ及ヒ通常貴族ハ其團體ノ吏員ヲ撰擧スルコトニ限レリ即チ其撰擧ヲナスモノハ州郡ノ貴族總長貴族會議ノ委員書記並ニ貴族後見事務局ノ局員等ノ如シ

貴族ハ貴族會議ニ於テ前記ノ撰擧權ヲ執行スルノ外其利害ニ關スル事項ヲモ商議シ得ルモノニシテ同事項ニ關シテハ州貴族總長ヲ經由シテ之ヲ州知事又ハ內務大臣ニ上申シ特ニ重要ナル事件ニアリテハ請願書トナシテ皇帝ニ直奏シ且ツ其説明ヲナス爲メニ委員三名ヲ派遣スヘシ貴族ハ直接其職權ニ關係ナキ事件特ニ露國ノ現行制度ヲ變更スルハ議事問題トナスヲ許サズト雖モ地方行政ニ弊害ノ顯出シタルトキハ其旨ヲ上司ノ官衙ニ申告スルヲ得其他貴族會議ハ特別ニ團體金庫ヲ設定シ任意其出金額ヲ負擔スヘキモノトス右出金ノ諾否ニ關スル件ハ州貴族總長ニ限リ之ヲ提出スルヲ得

法律ハ以上ノ目的ニ依リ其出金額ヲ左ノ如ク區別ス

- (第一) 貴族團體全體ノ費用ニ充テ若クハ共同ノ目的ニ供スル金額
- (第二) 共同ノ目的ヲ有セス私人ノ性質ヲ有スル金高
- 前(第二)ノ出金ハ全然任意ニ依ルモノニシテ是レ其金額ハ之ヲ承諾セシ團體委員ニ限リ知事ノ認可ヲ經タル上支出ノ義務ヲ生シ(第一)ニ記載シタルモノト全ク其性質ヲ異ニスレハナリ而シテ右出金ノ件ヲ承諾スルトキハ內務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ決定スト雖トモ若シ之ニ異議故障ヲ生シタルトキハ大臣委員會ヲ經皇帝ニ之ヲ奏上ス皇帝之ニ勅許ヲ與ヘタルトキハ其出金ハ各團體委員ノ義務的負擔トナリ委員カ貴族會議ニ列席スルト否トヲ問フコトナシ
- 會議ニ列席ノ權アル貴族ニシテ缺席セントスルトキハ時ヲ誤マラス屆書ヲ總長ニ差出スヘント雖トモ其缺席ノ理由ヲ充分ニ證明シ能ハサル場合ニハ必ラス參會スルノ義務アリ之ヲ犯ストキハ刑法千四百三十條及ヒ三十一條ニ據リ懲戒ノ處分ヲ受ヘシ

會議員ノ除名ヲナスニカテ法律カ同會議ニ充分ノ權利ヲ附與シタルハ專ラ其團體ノ決議ヲ重シタル
モノトス會議ハ出席員三分ノ二ノ同意ヲ得レハ裁判所ノ判決ニ依リ過失ト認メタル者ヲ除名スル權
ルノミナラス尙ホ裁判所ノ判決ナキモ委員ニシテ不名譽ノ行爲アリト認ムルトキハ右除名ノ決議ヲ
スヲ得但シ本人ニ於テ自ラ辯護スルノ理由アレハ此限ニアラス尤モ以上ノ決議アルモ單ニ形式上ノ過
失ナレハ訴願手續ニ由リ元老院ニ上告スルヲ得

貴族擯出官吏 同官吏ハ三箇年ノ任期ニテ擯出セラレ知事ノ認可ヲ受クヘシト雖トモ貴族總長ニ限リ
候補者二名ヲ撰定シ其内一名ハ皇帝ノ批准ヲ受ルモノトス總テ總長ハ貴族ノ利益ヲ代表シ且ツ成規ノ
通り團體ノ秩序ヲ維持スルノ義務アリ州貴族總長ハ州會、州評定委員會及ヒ小學校會議ノ長ニシテ兼
テ州公共營造物ノ委員トナリ知事ノ次席ヲ占ム郡貴族總長ハ郡會及ヒ概シテ郡内諸役所ノ長タリ同總
長ハ全ク獨立ノ行爲ヲナシ其公務上ニアリテハ殆ント州貴族總長ニ從屬スルモノニアラス只タ貴族ニ
關スル事件ニ限リ州貴族總長ヲ補佐シ之ニ一定ノ報告ヲナスヘキナリ

貴族ノ代議士ハ一個ノ合議體ヲ組織シ州貴族總長ニ隸屬シ特ニ下記ノ義務ヲ負擔ス即チ貴族議ノ
取扱、貴族證明書ノ交附及ヒ個人ヨリ申出タル貴族資格ノ調査等ナリ而シテ此合議體ハ元老院賞勳局
ノ直轄ヲ受ク

貴族後見事務局 同局ハ右ト一様ニ貴族團體ノ一機關ト看做スヲ得ヘシ是レ同局長ハ實ニ郡貴族總長
ニ隸屬スルノミナラス局長ノ補佐官(通常二名乃至四名)モ亦當該郡内ノ貴族中ヨリ撰出セラレ單ニ貴
族ノ後見并ニ身分財產等ニ關スル事件ヲ取扱フニ過キササルヲ以テナリ而シテ事務局ハ以上ノ事件ノ外

尙ホ貴族ニ屬スル土地ニシテ差押ヲ受ケ、保等中ノ遺產ニ屬シ又ハ或ル理由ヨリ官廳ニ保管セラレタ
ルモノヲ管理ス同局ノ所轄區域ハ郡ノ廣狹、人口ノ多寡ニ依リ大小アリ或ハ其區域一郡ヨリ數郡ニ互
ルコトアリ

右事務局ヲ直轄スル上司ノ官衙ハ區裁判所ニシテ同裁判所ハ貴族後見事務局ニ提起シタル訴願ヲ裁決
ス

第二節 村邑

農民制度

露國ノ農民ハ村邑ニ依テ區劃セラレ法律ハ此村邑ニ割合ニ廣大ナル自治權ヲ附與セリ抑モ村邑自治ノ
制タル帝國ノ各地ニ適用スル特種ノ農業條例ト相待テ之ヲ施行スヘキモノナルカ故ニ各地方ニ依リ全
ク其制ヲ異ニス波蘭王國諸州及ヒ「フストゼー」ノ三州ニ於テハ千八百六十四年二月十九日竝ニ六十六
年二月十九日ノ特別村邑制ヲ施行セリ然リ而シテ其他ノ露領ニ於テモ經濟上ノ狀況決シテ一様ナラス
隨テ村邑制ヲ設定スルニモ團體財產ヲ主眼トスルアリ又ハ個人タル農民ノ財產ヲ主眼トスルアリ即チ
團體財產ノ存在ヲ認ムル地方ニ於テハ其制度ヲ區別シテ二種トナス(第一)村即チ本原ノ村落及ヒ(第
二)邑即チ合同ノ村落是レナリ然ルニ帝國內各個農民ノ財產ヲ重要視スル地方ニ於テハ全ク邑ノミヲ
置ク右(第一)種ニ屬スル地方ハ露西亞本部及ヒ露國ノ東南兩部ニシテ(第二)種ニ屬スルハ西部露西亞
(即チ「リツメウ」ノ外西部露西亞及ヒ小露西亞ヲ込メ)トス

村ハ農業法ニ依リ附與セラレタル土地ヲ利用スルノ權アル團體トス故ニ村ハ第一ニ經濟上利益ノ集合

體トモ看做スヘキモノニシテ該集合體ハ共同地ノ利用、權利者ヘ小區劃ノ土地ヲ配當スルコト其他總テ此等ノ事項ニ關係アル事項(註 該事項トハ國稅、地方稅、村邑稅其他土地負擔額ノ賦課徵收)ヲ監督シ又ハ法人トシテ財產ノ獲得、管理及ヒ村內ノ目的ニ依リ稅金ヲ徵收スルノ權アリ團體員ノ內再ニ刑法上ノ犯罪ヲナシタルモノアレハ三年間村內事件ニ關與スルヲ禁スルカ又ハ全ク團體ヨリ除名シ若クハ政府ニ上申シテ此等ノ者ヲ追放ニ處スルヲ得其他村ハ未丁年者ニ就テ後見人ヲ命シ其監督ヲナシ又村內ノ利害ニ關係アル各般ノ事件(村內ノ安寧ニ關スル事項、學校等)ヲ決議レ特別委員ヲシテ訴訟ヲ提起セシメ若クハ請願書ヲ提出スルノ權アリ以上諸般ノ權利ハ村會ニ於テ之ヲ執行ス村會ニ屬スルモノハ總テ戶主即チ村內ノ所有地ヲ獨立經營スルモノ及ヒ村內撰出ノ役員トス此役員中特別ノ任務ヲ負擔スルモノ例之ハ收稅吏、倉庫管理役、田畝看守役ノ內ヨリ村長ヲ撰舉シ村長ハ必要ト認ムルトキハ村會ヲ召集シ其指揮監督ヲナスヲ例トス村會ハ特別ナル事項ヲ議スルカ爲メ法律上發言數ノ三分ノ二ヲ要セサル場合ニ限リ單ニ多數ヲ以テ之ヲ決ス村長ハ村內ノ行政機關タルト同時ニ其執行機關タリ故ニ村長ハ村內各般ノ建設物即チ學校、病院、穀倉等ヲ監視シ並ニ村會ノ決議ヲ實施スルノ義務アルモノニシテ而モ此等ノ事項ニ就キ監督官廳ト相共ニ責任ヲ負擔センカ爲メ其認可ヲ經ヘキナリ加之ナラス村長ハ區內ノ警察吏トシテ其職務ヲ執行スルト共ニ國家警察ノ警察吏トシテ同警察ノ命令ニ服從ス其他村長ハ村民ニ對シ一種ノ懲罰權ヲ附與セラル、ヲ以テ若シ村民ニシテ從順ヲ缺クカ又ハ違警罪ヲ犯ストキハ村金庫ヲ利スル爲メ之ニ「留」以下ノ罰金又ハ拘留ニ處シ若クハ之ヲ二日以内ノ勞役ニ服セシム邑即チ合同村落ハ少クトモ二百人ノ男子ヲ有スヘキモノナルカ故ニ村ノ存在スル地方ニ於テハ其數村

ヲ包含ス而シテ邑ハ成ルヘク寺領ト合併スヘント雖トモ其大小廣狹一様ナラサルヲ以テ邑ニ依テハ其內ニ數多ノ寺領ヲ包含スルモノアリ法律上邑ノ男子二千人以上ヲ以テ最高限トナスモ邑內移住者増加シテ此人員以上ニ達スルコトアリ而モ尙ホ此地方ヲ稱シテ邑ト云フヲ得ヘシ邑ノ機關ト看做スヘキモノハ(第一)邑會(第二)邑長(第三)邑役所及ヒ(第四)邑裁判所ナリ

邑會ハ各邑吏並ニ十戸毎ニ一人ノ比例ニテ撰舉スル議員ヲ以テ組織ス同會ハ邑內ノ撰舉ヲ執行シ邑吏ノ掌トル會計ヲ検査シ邑ノ需用高ヲ確定シ國稅及ヒ地方稅ヲ賦課シ邑政ノ爲メニ自ラ稅金ヲ負擔シ特ニ邑ノ利害ニ關係スル各般ノ事件ヲ議定ス是ヲ以テ邑會ハ法人タル權利ヲ附與セラレタル地方ノ議政機關トス邑長ハ邑會ヲ招集指揮スルト共ニ執行權ヲ有ス、邑役所ハ村長又ハ特別ノ補員ヲ以テ組織シ邑長ヲ補佐ス但シ邑長ハ法文ニ明示シタル場合ニヨルニアラサレハ合議體タル邑役所ト一致ノ行動ヲナスヲ得ス通常邑長ハ獨立ノ行爲ヲナスモノトス邑長ハ村長ト均シク懲罰權ヲ有スルノミナラス尙之ト同様ニ邑警察ヲ執行ス總テ邑長ハ村吏ノ上司タレトモ國家警察機關ニ隸屬スル點ニ至ツテハ村吏ト異ナラス

邑裁判所 邑會ハ每歲若干名ノ裁判官ヲ撰定シ其內三人ハ常ニ一定ノ列次ニ依リ裁判事務ヲ執ルモノニシテ同裁判所ハ司法制度ノ改革ヨリ生スル影響ヲ受ケス隨テ普通裁判所ニモ關係ヲ有セス單ニ一種族ニ屬スル裁判所ニシテ即チ農民ニ裁判ノ申渡ヲナス所トス該裁判事件タル百「留」以下ノ民事訴訟又ハ違警罪ニ止マルヘシ其判決ヲ下スニハ道義ヲ證據トナレ多クハ古來ノ習慣法ニ則ルモノトス刑ノ種類ハ七日以下ノ拘留、六日ノ勞役、「三」留ノ罰金、二十ノ管刑等ニシテ婦女、官吏、六十歳以上ノ老人ハ總テ

體刑ヲ免除セラル若シ裁判所ノ判決ニシテ其管轄ヲ異ニスルカ又ハ其手續ノ重要ナル規定ニ抵觸スルカ若クハ被告ヲ訊問セスシテ直ニ判決ヲ下シタル場合ニ於テハ之ニ對シ原裁判破毀ノ上訴ヲナスヲ許ス
 村邑ノ監督 其監督ハ統一のニ規定セラレスシテ農民開放ノ際之ヲ特種ノ官吏即チ勸解裁判官ニ委任シタルト同時ニ贖罪釋放ニ關スル事項詳言スレハ地主農民間ノ秩序ヲ維持セシメ加フルニ郡勸解裁判官ニ於テハ右ノ設置シテ第二審裁判所トナセリ夙ニ千八百七十四年地方制及ヒ勸解裁判制度ヲ設定シタル州ニ於テハ右ノ勸解裁判官ニ代フルニ州農務局ヲ以テセリ尋テ千八百八十九年七月十二日ノ法律ヲ以テ右合議體タル諸官衙ヲ補充スルニ漸次地主會議ヲ以テスヘキヲ明示シ併セテ其ノ委員タルヘキ條件ヲ規定セリ所謂條件トハ貴族團體ニ加入スルコト、教育ノ程度、州又ハ郡内ニ於テ一定ノ不動產ヲ所有スルコト、年齡少クモ二十五歳ナルコト等ナリ以上ノ條件中年齡ニ關スル事項ハ缺クヘカラサルモノナレトモ其他ノ條件ニ至テハ單ニ法文ニ示シタルニ過キス郡ノ地主會議ハ其負擔ノ事項ヨリ見レハ右ニ關スル第二ノ官廳ニシテ彼ノ州貴族總長ヲ以テ委員トナシ知事ヲ以テ其長トナス處ノ州官廳ヲ最高官廳ト看做スヘキナリ郡長ハ其所管スル村邑役場及ヒ其吏員ニ對シ廣大ナル威權ヲ附與セラレ總テ村邑會ニ於テ決議シタル事項ヲ查閱シ若シ違法ノ廉アレハ之ヲ廢止スルヲ得其決議ノ事項ニシテ有效ナラシメントスレハ特ニ郡長ノ認可ヲ受ルヲ要ス而シテ郡長ハ村邑吏ノ懲戒及ヒ停職ヲナシ直ニ其專斷ヲ以テ農民ヲ處罰スルノ權アリ所謂專斷ノ處罰トハ農民ニシテ法律上ノ命令ニ服セサルモノアレハ形式上ノ手續ヲ經スシテ之ヲ三日ノ拘留ニ處シ又ハ六「留」以下ノ罰金ヲ課スルコトナリ其他郡長ハ郡警察署長不在ナルトキハ之ニ代リ警察ノ職務(犯則者等ノ追究、一般ノ安寧ヲ監督スル類)ヲモ執

行ス

第三節 地方議會(郡會及州會ヲ云フ)

地方機關 地方制ヲ施行スル州ニ於テハ州會ナルモノアリ又州内ニ於テ郡ノ存在シアレハ其郡ノ數ニ應シテ郡會ナルモノアリ(註 彼得堡莫斯科並ニオデッサノ諸市ハ白ラ郡ヲ組成スルモノニシテ各郡兩會ハ其委員中ヨリ州又ハ郡參事會員ヲ撰舉シ其執行機關トナス郡内ノ撰舉權ヲ有スル者ハ郡會議員ヲ撰舉シ而シテ各郡會ヨリ州會議員ヲ撰舉ス)

各個人並ニ學士會、學校並ニ慈善所、商業會社及ヒ商會ニシテ郡内ニ於テ法律上各郡一般ニ規定セラレタル大サヲ有スル土地ヲ所有シ又ハ其他(市ヲ込メ)ノ不動產ニシテ地方稅徵收ノ際其價格少クトモ一萬五千「留」ヲ算スルモノヲ所有スルトキハ郡會議員撰舉ノ權アリ尤モ議員ハ普通ノ條件(被撰權、露國臣民タル等)ヲ備フルヲ要ス而シテ終身不動產利用權ヲ有スルモノハ所有權アルモノト同等ニ看做スト雖トモ少クモ一箇年其權利ノ存在ヲ認メサルニ於テハ撰舉權ヲ執行スルヲ得ス但シ各人トモ皆同等ナル撰舉權ヲ附與セラレタルニアラス即チ以下ノ條件ニ依テ差異アリ(第一)所有權ノ大小(第二)撰舉人ノ年齡(第三)男女兩性はレナリ此種ノ條件ノ異ナルニ依リ其人自身又ハ代理人ニ依リ其撰舉權ヲ執行ス

(第一)撰舉人ニシテ其年齡二十五歳ニ達シ郡ノ納稅率(撰舉標準資格)ヲ代表スル土地(註 法律ハ各所有者ニ撰舉權ヲ附與センカ爲メニ若干「デ」セソチ「ネ」ノ土地ヲ所有スヘキ)又ハ少クモ價格一萬五千「留」ノ不動產ヲ所有スルモノハ自ラ議員ヲ撰舉ス(註 會社、組合及ヒ慈善遺物等ハ法定代理人ヲシテ其撰舉權ヲ執行セシム該代理人ハ不動產ヲ所有スル

ニ及ハサルモ自ラ選舉
格ヲ備フヘキモノトス

(第二)代理人ヲシテ選舉セシムヘキモノ(甲)二十五歳以下ノ男子及ヒ女子 男子ニシテ丁年(二十一歳)ニ達スレハ其選舉權ヲ代理人ニ交附スルヲ得ヘシト雖モ未丁年者及ヒ幼者ハ其後見人又ハ監督者ニアラサレハ其代表ヲナサレムルヲ得ス 女子ハ其權利ノ交附ヲ制限セラル、ヲ以テ之ヲ附與スルハ其父、夫、長子、夫ノ兄弟、孫、兄弟又ハ甥ニ限レリ是ヲ以テ此種ノ代理人ハ自ラ選舉權ヲ要セサレトモ其他ノ代理人及ヒ幼者ノ監督人ニアリテハ其權利ヲ必要トス(乙)二十五歳ニ達シタル男子ニシテ郡内ニ於テ郡稅ヲ代表スル土地ノ十分ノ一ヨリ少ナカラサル又ハ少クトモ千五百「留」ノ價格アル不動産ヲ所有スルモノ 此等ノ男子ハ選舉會ニ於テ推薦シタル選舉代表者ニ依リ間接ニ其選舉權ヲ執行ス同會ノ選舉ハ右選舉人ヲ選舉會ニ招集スルト同時ニ開始スルモノニシテ該選舉人ノ種類ヲ區別シテ二種トナス(第一)郡貴族總長ノ監督ヲ受ケ其選舉代表者ヲ推薦スルモノニシテ即チ世襲及ヒ一代貴族之ニ屬シ(第二)州又ハ郡ノ市長ノ指揮ヲ受ケ總テ選舉代表者指名ノ權アルモノ之レニ屬ス右兩種選舉人ノ内ヨリ選舉會ニ於テ推薦スル選舉代表者ノ人員ハ郡會ニ代表セル土地及ヒ不動産ヲ合算シタル選舉資格標準數ノ多少ニ依リ之ヲ定メ一個ノ標準數毎ニ一人ノ選舉代表者ヲ推薦ス 以上ノ如クシテ推薦セラレタル選舉代表者ハ郡會議員選舉ノ權アルモノト相合シテ郡選舉會ヲ組織スト雖モ此選舉會タル人ノ豫想スルカ如ク一致シタル集合體ニアラス素ト選舉人ニ二類アルヲ以テ隨テ其會合モ更ニ相分離ス是レ前述セシ如ク選舉人ノ内一ハ貴族ニシテ郡貴族總長ヲ戴キ一ハ總テ農民以外ノ有權者ニシテ州又ハ郡ノ市長ニ屬スレハナリ而シテ市長ニ屬スル有權者ハ前記ノ選舉制度ト全ク

關係ヲ有セサル更ニ第三種ノ選舉區ヲ作り以テ郡内ノ各邑會ハ郡會議員一名ヲ選舉ス前記三種ノ選舉團體ニ於テ各自選舉スヘキ議員ノ員數ハ法律上各郡ニ就キ之ヲ規定スルモノニシテ特ニ貴族ハ其選舉ノ際大ナル特權ヲ有スルコトナリ如何トナレハ貴族ハ何地ノ選舉ニアリテモ他二團體相合スルヨリモ多數ノ議員ヲ選舉スルノ權アレハナリ若シ一郡ニ於テ農民區ノ數カ農民代表者ノ數ヨリ多キトキハ知事ハ當選簿ヲ調査シタル上被選人ノ内議員トナスヘキモノ又次點者ヲ其補缺員トシテ採用スル順序ヲ決定スト雖モ右ト正反對ノ場合ニ於テハ知事ハ議員二名ノ選舉權ヲ大農民區ニ附與スルヲ得 選舉會ニ於テハ選舉セントスル議員三分ノ二以上出席シタル場合ニ限リ其選舉ヲ執行スト雖モ若シ定數ニ滿サルトキハ開會出席者ヲ以テ議員ト看做ス前記二種ノ選舉團體ハ各自ノ附屬ノモノニ限リ之ヲ選舉スルモノニシテ其内缺席者アルモ其棄權ヲ申出サル以上ハ此缺席者ヲモ選舉スルヲ得 郡會ニ於テハ郡内居住者ノ選舉シタル議員ノ外左ニ掲ル者ハ其議席ニ列シテ發言スルノ權アリ(第一)帝室及ヒ王子領地管區ノ代表者各二名(第二)寺領區ノ代表者ニシテ其ノ長官ヨリ派遣セラレタル者一名及ヒ(第三)州又ハ郡ノ市長(以上ハ郡内居住年限ニ依ル)郡會議長ハ郡貴族總長トス郡通常會ハ知事ノ認可ヲ經毎年一回郡參事會ニ於テ之ヲ招集スルモノニシテ(十月以後招集セス)其會期ハ十日間トス其會期ヲ延長セントスルトキハ知事ハ之ニ對シ認可ヲ與フルノ權アリ 郡通常會ハ(第一)郡參事會員ヲ選舉スルモノニシテ同會ハ會長一名及ヒ助役二名ヲ以テ組織スト雖モ内務大臣ノ認可ヲ經レハ更ニ二名ノ増員ヲナスヲ得(第二)通常會ニ於テハ法律上指定ノ人員ヲ州會ニ選舉ス

州會ニ於テハ郡會ヨリ撰舉シタル議員ノ外左ニ掲クルモノハ其議席ニ列シ發言スルノ權アリ(第一)郡貴族總長(第二)帝室及ヒ王子領地ノ地方管理官及ヒ(第三)寺領區ノ代表者ニシテ其長官ヨリ派遣セラレタルモノ一名是レナリ而シテ州貴族總長ヲ以テ其ノ議長トナス但シ皇帝ニ於テ特別規程ヲ設定セラレ、ノ意向アレハ此ノ限ニアラス

州通常會ハ知事ノ認可ヲ經毎年一回州參事會ニ於テ之ヲ招集スルモノニシテ(十二月以後ニ招集セス)其會期ハ二十日間トス若レ其會期ヲ延長セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ州通常會ハ州參事會員ヲ撰舉スルモノニシテ同會ハ會長一名及ヒ助役二名ヲ以テ組織スト雖モ内務大臣ノ認可ヲ經レハ更ニ四名ノ増員ヲナスヲ得其他通常會ハ必要アレハ委員ヲ撰舉シ吏員ヲ任命スルノ權アリ州並ニ郡臨時會ハ内務大臣ノ認可ヲ經之ヲ招集スルヲ得州參事會長ハ内務大臣ニ於テ認可シ其他ノ會員ハ知事ニ於テ之ヲ認可スルモノニシテ總テ參事會員ヲ以テ國務ニ參與スルモノト看做セリ是ヲ以テ會員ニシテ未タ國務ニ參與スルノ權利ヲ有セザルモノアレハ之カ爲メ二年間勤續シタル後知事ノ推薦ニ依リ位階第一級ニ昇進スルヲ得隨テ國務ニ參與スルノ權利ヲ得タルモノニアラサレハ州參事會長及ヒ州地方市事務局長ニ採用セラレ、コトナレ總テ參事會員ノ撰舉ハ敢テ州郡兩會議員ニ限ルニアラサルモノニ其候補者ハ前述ノ撰舉會ニ列席スルノ權利ヲ有スルヲ要ス故ニ同候補者ハ其本職ニ就クト同時ニ當該地方會ニ於テ其議員トシテ發言スルノ權アリ參事會員ニ推薦セラレタル候補者ヲ内務大臣並ニ知事ニ於テ引續キ二回トモ認可ヲ與ヘサルトキハ次回ノ撰舉期マテ自ラ之ニ代リ就職スルノ權アリ州會ノ開閉ハ知事ニ於テ郡會ノ開閉ハ郡會議長之ヲ爲ス兩會ノ決議ハ議員ノ出席數半數ニ達セラレハ其效力ヲ生

セス無固又ハ充分ノ理由ナクシテ缺席スルモノハ刑法千四百四條ニ據リ之ヲ處罰ス州會ハ其委員中ヨリ書記役一名ヲ撰定ス議員ハ二箇年毎ニ改撰ス

左ニ掲クルモノハ法律上ノ資格ヲ備フルトキト雖モ地方會議議員ノ撰舉ニ加入セシムルコトナシ(第一)猶太人(第二)耶穌宗僧侶及ヒ教務員(バイアデン)宗ハ此限ニアラス(第三)州地方市事務局長及ヒ局員(州貴族總長、州參事會長並ニ州會議員ハ此限ニアラス)(第四)警察官及ヒ(第五)地方檢事局員等ナリ

地方會議ノ權利及權限 左ニ掲クルモノハ州會ノ職務ニ屬ス

- (第一) 地方ニ於テ通貨又ハ現物ヲ以テスル負擔額ノ管理
- (第二) 地方財産ノ管理
- (第三) 人民ノ給與ニ關スル監督
- (第四) 地方ノ道路及ヒ市外上陸地ノ維持及ヒ築造
- (第五) 地方郵便ノ設置及ヒ維持
- (第六) 相互財産保險ニ關スル管理
- (第七) 病院及ヒ慈善造營物ノ管理其他老人及ヒ不具者ノ監督
- (第八) 流行病及ヒ獸疫ノ豫防
- (第九) 建築及ヒ火災防禦
- (第十) 普通教育及ヒ學校ノ設置等

(第十一) 農工商業ノ獎勵及ヒ牧場田畝ヲ損害スル昆蟲ノ撲滅

(第十二) 成規ニ從ヒ軍政上竝ニ民事上ヨリ課セラレタル地方負擔額ノ納附

(第十三) 特別法律條例ニ據リ地方ニ負擔セシメタル事件

前記ノ各事項ニシテ州全體及ヒ郡ニ關係ヲ有スルトキハ州會ニ於テ之ヲ議定スト雖モ若シ其事項ニシテ特ニ郡ニ關係アルトキハ郡會ニ於テ之ヲ取扱フモノトス斯ク州郡兩會ノ權限殆ント同様ニシテ其間確乎タル區別ヲ立ル能ハサルヲ以テ往々其間ニ錯雜紛擾ヲ來スコトアリ而シテ兩會ハ負擔ノ事項ヲ處理スルカ爲メ左ノ税金ヲ徵收スルノ權アリ

(第一) 郡又ハ市内ノ不動産ニ課スル税金但シ特ニ法律ニ於テ指定シタル一定ノ不動産ヲ除ク而シテ不動産ヲ其價格及ヒ所得ニヨリ評定スルハ全ク州郡兩會ニ一任スレトモ此際兩會ハ製造所其他ノ工場ニ就テハ其不動産ノ價格竝ニ所得ヲ評定スルニ止メ製造品ノ取引又ハ價格ニ關係セス

(第二) 國稅ノ附加稅

(甲) 帝國營業稅ニ關スル千八百九十八年六月八日ノ勅令第十三條(第一)及ヒ(第二)ニ依リ指定シタル營業證券即チ州内ニ於テ營業スル第一級五種ノ營業證券(市内ニアルト又ハ他地方ニ於ケル第一種及ヒ第二種ノ商業タルト同ハス)竝ニ漁業使用企業ニ要スル營業證券ハ其價格ノ一割五分ヨリ多カラス其ノ他ノ各營業證券ハ其價格ノ一割ヨリ多カラサル金高

(乙) 各種飲料物ノ製造及ヒ販賣ニ關スル特許稅

右ノ外州會ハ牛疫豫防ニ關スル施設ヲナストキハ特ニ其所有者ヨリ防疫ノ目的ニ要スル税金ヲ徵收スルヲ得地方金庫ハ裁判手数料及ヒ印稅ヲ徵收シテ其費用ニ充ツ郡參事會ニ於テハ特ニ帳簿ヲ調製シテ之レニ各種ノ不動産ノ評定價格ヲ記入ス而シテ市町村ニ於ケル不動産ヨリ税金ヲ徵收スルハ其地方ノ取扱ヒニ一任ス其他州會ニ於テ決定シタル税金ヲ納稅者ヨリ直接徵收スルモ若クハ郡ニ配賦シ之ヲシテ徵收セシムルモ州會ノ隨意トス州郡兩會ハ法人タル權利ヲ有スルモノニシテ訴訟事件ニ關シテハ金庫ニ與ヘラレタル同様ナル特權ヲ有ス其他州會ハ州全體及ヒ各地方ニ關係アル規程ヲ發布シ若シ此規程ニシテ知事ノ認可ヲ受クルトキハ之ヲ公告スルヲ得次ニ州會ハ地方ノ需要ニ關スル伺書ヲ知事ヲ經テ地方廳ニ又請願書ヲ上司ノ官廳ニ提出スルノ權アリ、州會ハ其負擔ノ地方事務ト關聯シテ資本ノ募集ヲナスノ外義務的又ハ任意的ノ行政ヲ掌トル

義務的行政トハ特ニ警察、地方官衙(治安裁判所及ヒ地方監獄署)及ヒ道路ノ維持又ハ牛馬ノ徵發及ヒ陸軍大臣ニ於テ規定シタル低廉ノ價格ヲ以テ軍隊ノ舍營ヲナス類ヲ云ヒ任意的行政トハ教育、衛生、救貧事業、病院等ノ費用ヲ負擔スルヲ云フ

地方會議ノ行爲ニ關スル監督 知事ハ地方市事務局ト相共ニ同會議ヲ監督ス該事務局ハ知事其長トナリ外ニ左ノ委員アリ(一)州貴族總長(二)副知事(三)財務局長(四)區裁判所檢事(五)州參事會長(六)州ノ市長及ヒ(七)州會議員一名

知事ハ地方參事會及ヒ各種ノ機關ヲ檢閲シ若シ弊害ヲ發見シタルトキハ之カ矯正ヲ申告スルノ權アリ若シ其申告ニシテ毫モ結果アラサルトキハ知事ハ同事件ヲ地方市事務局ニ引渡ス地方會議ハ同局ノ裁

定ニ服従スルノ義務アレトモ訴願手續ヲ以テスレハ之ヲ元老院ニ上告スルヲ得

地方會議ノ決議ハ國家ノ監督上ヨリ之ヲ區別シテ三種トナス即チ(第一)内務大臣ニ於テ認可スヘキモ
(第二)知事ニ於テ認可スヘキモノ及ヒ(第三)一モ其ノ認可ヲ要セサルモノ是ナリ(第一)ノ決議ハ州
地方市事務局ノ意見ヲ附シテ大臣ニ提出シ大臣ノ決議ヲ以テ終局ノ裁定トナスト雖モ若シ大臣ニ於テ
之ヲ拒絕シテ認可ヲ與ヘサルトキハ他ニ求ムヘキ法律上ノ手續ヲ有セス

知事ノ認可ヲ經ヘキ決議ハ左ノ條件ヲ要ス即チ知事之ニ認可ヲ與フルヲ拒絕スルトキハ之ヲ地方市事
務局ニ提出シテ其裁定ヲ受クルコトナリ若シ同局ニ於テ知事ノ意見ヲ採用スルニ至レハ同事件其終局
ヲ告クト雖モ若シ否ラサル場合ニ於テハ之ヲ大臣ニ提出シテ確定ノ裁決ヲ受クヘシ

官廳ノ認可ヲ要セサル決議ト雖モ左ノ場合ニ於テハ知事ハ之ニ對シ異議申立ノ權アルヲ以テ同決議ハ
知事ノ監督ヲ受ク(第一)其決議ニシテ法律違犯ナルカ若クハ地方會議ノ職權ヲ僭越スルカ又ハ方式ニ
準據セサルモノト認ムルトキ(第二)決議ニシテ國家ノ公益ニ背戾スルカ又ハ明カニ國民ノ利益ヲ損害
スルトキノ如シ知事ハ以上ノ場合ニ於テ異議ノ申立ヲナサントスレハ二週間以内ニ於テ其意見ヲ發表
セサルヘカラス否ラサレハ右ノ決議ニ對シ其效ナキニ至ルヘシ而シテ異議ハ左ニ掲グル場合ニ於テ其
結果ヲ異ニス

- (第一) 疑義アル決議ハ一箇月以内ニ於テ州地方市事務局ニ引渡スモノナレトモ同局ノ裁定ニ關シ
不服ナルトキハ當該地方會議並ニ知事ヨリ更ニ之ヲ元老院ニ上告スルヲ得
- (第二) 疑義アル決議ニハ州地方事務局ノ意見ヲ附シ之ヲ内務大臣ニ提出ス此場合ニ於テハ大臣自

ラ裁定ヲ下スモノトス但シ地方税ノ増額ニ關スルトキハ帝國參議院ヲ經由シ其他ノ場合ニ於テハ大
臣委員會ヲ招集ス郡會ニ於テ以上ノ如キ疑義アル決議ヲナシタルトキハ一旦之ヲ州會ニ提出スト雖
モ若シ州會ノ決議ニシテ知事ニ満足ヲ與ヘサルトキハ同決議ニ就キ更ニ前記ノ手續ヲナスモノトス

第四節 市制

市會ノ組織 市會議員ヲ撰舉シ市政ニ參與スルノ權利ハ普通條件(撰舉資格、性行、露國臣民タル等)ノ
外財産評定額ノ多少ニ由テ定マル而モ其評定額ハ市ノ大小ニ依リ同シカラス法律上ヨリスレハ財産
所有權即チ動産ニシテ市稅徵收ノ際評定セル市内ノ不動産ヲ終身利用スヘキ權利ニ關係ヲ有ス今市政
參與ニ關スル財産評定額ヲ舉ケンニ帝國首府ニ於テハ少クモ三千留、人口十万以上ノ市ニ於テハ千五
百留、州市及郡内大市ニ於テハ少クモ千留、其他ノ市ニ於テハ少クモ三百留トス而シテ右財産利用權
ナルモノハ一箇年以上之ヲ所有セサル可ラス是等ハ一私人ニ限ラス會社組合等ニアリテモ皆ナ此條件
ニ依テ撰舉權ヲ得ルコトナリ其他一私人竝ニ會社ハ千八百九十八年六月八日ノ帝國營業稅法ニ據レハ
營業認可證券ヲ受クヘキ商業工業ヲ少クモ一箇年間市内ニ於テ營業トキ其撰舉權ヲ得故ニ首府ニ於テハ
第一種ノ商業第一種三類ノ工業及ヒ汽罐使用企業ニシテ毎年營業稅五百留以上ヲ納ムルモノ其他ノ
市ニ於テハ第一種及第二種ノ商業第一種五類ノ工業及ヒ汽罐使用企業ニシテ毎年營業稅五十留以上
ヲ納ムルモノハ其撰舉權ヲ有ス是ニ由テ之ヲ觀レハ兩商業組合(カウフマンスギルデン)ノ内孰レカ
一ニ屬スルモノハ市制中ニ示シタル商人ノ撰舉權ニ關スル條件ヲ要セス

二十五歲未滿ノ者、未丁年者、幼者、女子、會社、組合等ノ代表者ニ關シテハ地方制ト同一ノ規程ヲ適用ス

市會ノ撰舉ハ直接撰舉ニシテ特ニ撰舉會ヲ招集シテ之ヲ執行スト雖モ大市ニ於テハ監督官廳ノ認可ヲ
 經ルトキハ市内ニ於ケル數多ノ區部會ヲ以テ右撰舉會ニ代用スルヲ得此ノ如キ場合ニ於テハ各區部會ハ
 特ニ區内有權者ノ内ヨリ其撰舉人ノ員數ニ比例スル議員ヲ撰舉ス撰舉會ハ市長ノ指揮監督ヲ受ルモノ
 ニシテ撰舉人ノ出席數カ被撰議員竝ニ候補者ノ員數ヨリ超過スルニアラサレハ其撰舉ヲ執行セス右ノ
 撰舉權ノ内ニハ被撰權ヲ包含スルモノニシテ一市内議員ノ數ハ撰舉者ノ現在數ニ比例ス例之ハ一市内
 撰舉者ノ現在數カ百名ニ過キサルトキハ二十名ノ議員ヲ撰舉スレトモ更ニ其人員倍加シテ百名ニ達ス
 ルトキハ撰舉人五十名毎ニ三名以上ノ議員ヲ撰舉シ此ノ如クシテ漸次左ノ割合ヲ見ルニ至ル即チ首府
 ニ於ケル議員ノ數百六十名、人口十万以上ノ市及ヒ「ヲデツサ」ニ於テハ八十名、州市竝ニ著名ノ都市ニ於
 テハ六十名其他ノ市ニ於テハ四十名ナリトス然リ而レテ二回ノ撰舉ニ依リ推薦セラレタル議員ノ數カ
 定數ノ三分ノ一二達セサルトキハ前回ノ撰舉ニ於テ最多數ノ投票ヲ得タル議員ヲ以テ其不足ヲ補フヘ
 キヤ否ハ内務大臣ノ權内ニ屬ス全ク耶蘇教徒ニアラサル議員ノ數ハ議員定數ノ五分ノ一ヲ超過スルヲ
 許サス市ノ改撰期限ハ三箇年トス
 猶太人ニ就テハ市政ニ干與スルノ權ヲ與ヘサルヲ例トスレトモ猶太人ノ居住地ニ屬スル地方ニ限リ同
 人種ヲシテ市會議員總員ノ十分一ヲ占領セシムルヲ許ス其他左ニ掲クル者ハ例令ヒ成規ノ撰舉資格ヲ
 有スルモノ之ヲシテ市政ニ與カラシムルコトナレ(第一)半箇年以上市稅ヲ滯納スル者(第二)耶蘇宗ノ僧
 侶及ヒ教務員(第三)州内地方市事務局長及ヒ局員(州貴族總長、市長、地方又ハ市ノ代議士ハ此限ニア
 ラス)(第四)警察官(第五)地方檢事局員等

市會ニ於テハ民撰市會議員ノ外左ニ掲クルモノハ市會ニ列レテ發言スルノ權アリ(第一)地方參事會長
 (地方制ノ施行レアル地ニ於テ)(第二)寺領區長官ヨリ派遣セラレタル代議士一名及(第三)市長及市評議
 員評議員(市會議員ヲラサル者カ市評議員ニ就職シアルトキ)是ナリ市長ハ市會ヲ指揮監督スルモノニシ
 テ其開會ハ毎歲四回ヨリ少ナカラス二十四回ヨリ多カラス其決議ハ議員ノ半數出席スルニアラサレハ
 效力ヲ有セス無屆又ハ充分ノ理由ナクシテ缺席スルトキハ刑法第千四百四十條(第一)ニ據リ處分セラル
 總テ市ノ利害ニ關係スル各般ノ事件ハ市會ノ議事ニ附シ之ヲ決定ス市會ハ其權限内ニ屬スル地方規程
 ヲ設定スルノ權アルモノニシテ該規程カ知事ノ認可ヲ經レハ之ヲ公布スルヲ得又地方ノ需要及ヒ請願
 ニ關スル伺ハ知事ヲ經由シテ上司ノ官衙ニ提出スルヲ許ス市會ハ市ノ執行機關タル市參事會員ヲ撰舉
 スルモノニシテ參事會ハ其會長タル市長及ヒ少クモ二名(大市ニ於テハ六名以下)ノ助役(市參事員)ヲ
 以テ之ヲ組織ス(註)小市ニ於テハ市參事會員撰舉ノ要ナク却テ同會ノ職
 權ヲ市長ニ委任スルヲ得此際市長ニハ一名ノ助役ヲ附ス)
 右ノ外市會ハ必要アリト認ムレハ特別委員會ヲ設ケ此委員會又ハ各個人ニ或ル行政ヲ委囑スルノ權アリ
 リ首府ノ市長ハ皇帝之ヲ任命スレトモ其助役及ヒ州市ノ市長竝ニ其助役ハ内務大臣ニ於テ總テ其他ノ
 市長及ヒ市參事員ハ知事ニ於テ之ヲ認可スルモノニシテ市書記ニ就テモ之ト同様ノ手續ヲナス同書記
 ハ市會竝ニ市參事會ニ於テ其職務ニ從事レ市會ノ見込ニ依リ定メラレタル期間中之ヲ撰任ス市參事會
 員ノ在職年限ハ市會ノ改撰期限ニ準シ每四箇年ト定ムルト雖モ地方制ニ反シ其全員ヲ同時ニ解職セス
 二箇年毎ニ其半數ヲ解職セシムルモノトス會長及ヒ會員ハ地方參事會員ト均シク國務ニ參與スルモノ
 ト看做レ懲戒ヲ受クルト雖トモ其内國務ニ參與スルノ權利ヲ有セサルモノニハ地方制ニ反シテ位階ヲ

與フルヲ得ス

市會ノ權利及權限 法律ハ左記ノ事項ヲ以テ市會ノ權限ニ屬スルモノト看做ス

- 第一 市稅ノ管理
 - 第二 市財產ノ管理
 - 第三 人民ノ給養ニ關スル監督
 - 第四 庭園、道路、橋梁、運河ノ築造
 - 第五 貧民救助、病院及ヒ慈善的營造物等ノ設置
 - 第六 衛生事項
 - 第七 火災防禦竝ニ之ニ關スル事項
 - 第八 相互財產保險ノ管理ニ干與スルコト
 - 第九 普通教育ノ獎勵及ヒ學校監理ニ干與スルコト
 - 第十 劇場、博物館、書籍館其他共同建設物ノ設置ニ關スル監督
 - 第十一 商工業ノ獎勵、貸附所ノ設立竝ニ「ブールス」ノ設置ヲ補助スルコト
 - 第十二 成規ニ依リ軍政竝ニ民政上ヨリ市ニ負擔セシメル義務ノ履行
 - 第十三 特別法律又ハ命令ニ依リ市ニ委嘱シタル事件
- 市ハ前記地方ニ附與セラレタル職務ト一致スル普通規程ヲ設定スルノ外更ニ希臘正教教會堂ノ建設竝ニ信仰心ノ鞏固又ハ風教ノ維持ヲ目的トスル營造物監督ノ任アルコトヲ明示セラレタリ

市ニ地方ト同様或ル義務ヲ負擔ス例之ハ警察ノ維持、消防上ノ監視、軍隊營舎ノ設置等ノ如シ

市ニ於テ徵收スヘキ稅金左ノ如シ

(第一) 市内ノ不產稅但シ法律ニ特示シタル不產產ヲ除ク而シテ其徵稅高ハ評定價格ノ一分以上

又ハ純收益ノ一割以上ニ達スルヲ許サス

(第二) 營業證券ヨリ徵收スル國稅附加稅竝ニ旅宿營業稅

同附加稅ハ地方會ニモ委嘱シタレトモ市ニ於テハ市内ノ企業ニ就テ交附シタル營業證券ノ費ヨリ附加稅ヲ徵收スルニ過キス法律上規定シタル契約、債務證券等ノ手数料ハ市金庫ニ納入スルモノニシテ犬稅、私有車馬稅竝ニ運輸營業稅ヲ設定スルハ市ノ權利ニ屬スル處ニシテ其他市ハ家屋稅施行ノ爲メ之カ認可ヲ申出ルヲ得尤モ家屋稅ニ關シテハ特ニ法律ノ發布ヲ必要トス

市ハ法人タル權利及ヒ訴訟事件ニ關シテハ國庫ニ屬スルト同一ノ特權ヲ有ス

市會ノ監督 其監督ハ州内地方市事務局ノ外知事ニ於テモ之ヲ負擔ス而シテ同事務局ニ於テハ市務ヲ執行スルニ方リ州會議員ヲ補フニ市會議員ヲ以テス此等監督官廳ノ市ニ對スル權限ハ地方ニ對スル權限ト異ナルコトナシ其詳細ナル點ニ至テハ前章ヲ參照スヘシ

單純ナル市政 小市ニ於テハ大市ニ必要ナル條件(市民竝ニ資本)ヲ缺キ普通市政ヲ施行スルニ困難ヲ感スルヲ以テ若干ノ小市ニ施行スルニ單純ナル市政ヲ以テス而シテ如何ナル小市ニ此種ノ市政ヲ適用スヘキヤノ點ニ關シ大臣委員會ハ內務大臣ノ上申ニ基ツキ皇帝ノ批准ヲ經テ之ヲ決定ス以上ノ市政ヲ施行スル小市ニ於テハ少クトモ「百」留ノ價格アル不產產ヲ所有スル者ハ其内ヨリ十二名乃至十五名ノ

職員ヲ撰舉シテ市會ヲ組織シ其年長者ヲ以テ議長トナス議長ハ一名又ハ二名ノ助役ト共ニ市政ノ執行ヲ掌トル改換期限ハ前同様三箇年トス

市立孤兒裁判所 同裁判所ハ商人、細民、職工組合竝ニ一代貴族ニ關スル監督竝ニ後見事件ヲ管理スル所ニシテ同所長タル市長及ヒ市會ニ於テ指名シタル助役若干名ヲ以テ右裁判所ヲ組織ス同助役ハ三箇年ノ期限ヲ以テ商人、細民竝ニ職工ノ各集會ヨリ之ヲ撰舉ス市長ニシテ所長ノ職ヲ擔任スルヲ欲セサルトキハ市會ハ特ニ適任者ヲ撰舉シ知事ノ認可ヲ受ク單純ナル市政ヲ施行シアル市ノ孤兒裁判所ハ市長及ヒ助役二名ヲ以テ之ヲ組織ス總テ市立孤兒裁判所ノ職權ハ貴族後見事務局ト相關聯シ且ツ兩所トモ區裁判所ノ所管ニ屬ス

露國財政狀況概要

露國財政狀況概要

- 一 開戰數年前ニ於ケル財政ノ狀況ハ逐年膨脹ヲ示シ其歳入出各二十一億餘留ニ達シ國債ハ六十六億餘留ニレテ國庫ノ資金ハ三億餘留ナリト稱ス其詳細ハ別表第一號乃至第七號參照スヘシ
- 一 開戰後ニ於ケル財政狀況ヲ摘記スレハ左ノ如シ
 - 一 紙幣増發 紙幣ノ増發ハ開戰後間モナク即チ二月十三日五千万留、四月上旬二千万留、五月末二千万留、七月上旬二千万留、合計壹億千万留ニ達ス(九月末以前)
 - 一 政費節減 三月中旬政費凡一億三千四百萬留ヲ節約スルニ決ス
 - 一 外債募集 四月勅令ヲ以テ三億留ノ外債ヲ巴里ニ募集ス
 - 一 内債募集 八月勅令ヲ以テ一億五千万留ノ短期内國債ヲ募集ス
- 一 露國帝國銀行ニ於ケル前段財政施設ノ結果ハ別表第八號及第九號ニ示スカ如シ
- 一 露國輸出入ノ狀況ハ別表第十號ニ示スカ如シ
- 一 露國公債ノ倫敦ニ於ケル相場高低ハ別表第六號ニ示スカ如シ

第一號 歲入 歲出 額表

年次	入			出		
	經常	臨時	合計	經常	臨時	合計
千八百九十一年	八九九,二八一,七五	二九,五三三,四八六	九八八,七九五,二二	九三二,四二,一九	一八四,二三五,五三	一一一五,六四六,七〇四
千八百九十二年	九七五,五〇九,九四九	一九五,三三三,九六四	一,一六八,八四三,九一三	九五八,六九六,三九七	一六六,七五九,三二〇	一一,二五,四九五,七〇七
千八百九十三年	一,〇五二,七九二,七〇三	一六八,二六七,五三三	一二,三〇〇,〇六〇,二三四	一一〇,一五四三,八二六	四八,九九二,〇三六	一一,〇六〇,五三三,八五二
千八百九十四年	一,一五七,二〇〇,三〇二	七五,六〇四,九四五	一,二三三,七五,一八六	一〇,五三三,五七三,九六九	一〇,一五六七,六九三	一一,一五五,一四一,六六二
千八百九十五年	一,二五五,八二八,七八一	一六二,二七四,九四四	一,四一八,〇九三,七二五	一,一三七八,〇九九,九四八	三八三,〇〇九,三三三	一,五二〇,八一九,一七二
千八百九十六年	一,三六八,七一九,三三二	四三,五〇〇,四五七	一,四一二,二九八,八八二	一,二九九,〇四四,二八〇	二五五,三〇八,六五五	一,四八四,三三三,九三五
千八百九十七年	一,四二六,三六六,〇九六	四三,五九一,五三九	一,四七〇,九七七,六三五	一,二九八,九四四,七五六	一九五,六五三,四六八	一,四九四,五九八,二三四
千八百九十八年	一,五八四,八五四,四五五	八七,八七,八三六	一,六七二,六七二,二八二	一,三五八,二七五,四九六	四三,九九五,五三六	一,七七二,二二一,〇三二
千八百九十九年	一,六七三,三三三,〇六二	一八三,八四八,九四一	一,八五七,一八二,〇〇三	一,四六三,五七二,五二七	三二,五三九,七九四	一,七八五,一一二,三一一
千九百年	一,七〇四,二八八,五〇六	三二,五六八,九八三	一,七三六,八四七,四八九	一,五九七,一八五,七二四	三三三,七八八,五一五	一,九三〇,九七四,二三九
千九百一年	一,七九九,四七七,一五五	一六三,九一五,九一五	一,九六三,三九三,〇七〇	一,六六四,〇八九,二五二	二〇九,五九九,八〇八	一,八七三,四九九,〇五九

千九百二年	一,八〇〇,七八四,四八二	一四四,七二七,四九四	一,九四六,五一一,九七六	一,七三〇,九一三,四八一	一七〇,六五八,四九五	一,九四六,五七二,九七六
千九百三年	一,八九七,〇三三,六七八	一七四,六三三,七九四	二,〇七二,六六七,四七二	一,八六三,四〇三,三三九	一九二,三三三,二四三	二,〇七二,六六七,四七二
千九百四年	一,九八〇,〇九四,四九三	一六,五三三,五六二	二,一七八,六二七,〇五五	一,九五二,四五六,二五一	三三,二七六,八〇四	二,一七八,六二七,〇五五

第二號 經常歲入額表 (△印ハ間接税中ニ含マル、海關稅ナリ)

年次	直接税	間接税	雜種税	官業收入	官有財產及資産	國有財產拂下
千八百九十一年	八八、五四四、三四六	四〇〇、四七七、三二五 △二八、六六一、九七六	六二、一〇六、五二三	三五、六二、五四二	一一五、四四三、七五九	九〇五、〇七九
千八百九十二年	九一、三四三、三六三	四七四、八七三、四三三 △一三〇、五五一、六一〇	六六、五四三、八三〇	三七、五三八、二九七	一四三、二七、六八四	一一〇、九、一三七
千八百九十三年	一〇〇、四九六、五五七	五一、九二六、九八六 △一六五、九八九、〇三六	六八、七八〇、二二七	四〇、〇二五、二二八	一四二、四七六、九二四	八六六、二五三
千八百九十四年	一〇二、〇二八、二六五	五八一、四一五、七三七 △一八三、七八一、五四九	七一、五七四、一三八	四一、二八五、五六二	一七九、九一九、〇四四	八九〇、五八八
千八百九十五年	一〇五、九二四、六〇四	五八六、三三八、九五五 △一七八、六〇五、〇八七	七三、〇七三、三五三	五四、〇六六、七六〇	二五六、一三九、八四一	七四、九六六
千八百九十六年	九九、五三三、七二七	五八一、五八九、九八八 △一八二、三〇二、八二六	七四、七四一、六九三	八四、二八九、〇八五	三五九、三〇八、九七七	八五四、五六二
千八百九十七年	一〇一、四二七、〇九五	五九六、四〇七、七八八 △一九五、六二五、三三一	七五、一六六、八一六	一一五、〇三二、六一八	三六九、八三六、一五三	六六一、四一三
千八百九十八年	一〇三、八六〇、〇五二	六三四、八八〇、五三九 △二二八、九一〇、三九九	八六、二九五、一五三	一四四、六五一、二七六	四三四、三四七、二〇五	八三六、〇七六
千八百九十九年	一三二、三四五、六六五	六六八、九九七、四七二 △二二九、二七六、〇五五	九五、九五四、六二〇	一七七、五三三、二〇二	四四〇、〇六七、〇〇二	一一九〇、五九三
千九百年	一三二、九一〇、五〇九	六五八、一三二、二六八 △二〇三、九六三、九四七	八八、二七五、〇九五	一七六、八〇六、八四三	四七三、五四一、〇八六	五九七、九四二
千九百一年	一三〇、八九〇、〇五〇	六八六、六三〇、九四四 △二一九、六九〇、〇〇〇	九四、六二二、四六六	三三三、三九四、三九一	四九三、七六四、五七〇	七四二、二〇八

年次	贖田納金	國庫金回收	雜收入	其他	合計
千九百二年	一三〇、四九三、八三六	三八七、二七、六〇〇 △二〇五、七三三、〇〇〇	九一、九九九、〇六一	五二、七二四、〇〇〇	五〇八、四一四、九九八
千九百三年	一三三、〇五一、九四九	四〇五、九九四、三〇〇 △二二六、一九七、〇〇〇	九八、一六九、三三三	五六二、二八四、八〇〇	五三三、四〇六、三三三
千九百四年	一三五、一八八、四七七	四二二、一五七、一〇〇 △二三八、五二六、〇〇〇	一〇三、五八一、三三三	五八九、八五一、三〇〇	五三〇、九三三、八四一
千八百九十一年	七〇、七八一、二四四	七〇、〇三七、二二三	七、六七七、三九一	七、六八七、四〇四	八九九、二八一、七二五
千八百九十二年	七七、〇八八、二七四	七〇、七五三、一九四	七、七八八、三三〇	三、三四五、四〇七	九七三、五〇九、九四九
千八百九十三年	九八、九九四、四八〇	七二、二六九、九八三	九、八四八、八五四	六、一〇七、三三〇	一、〇五一、七九二、七〇二
千八百九十四年	九二、八一九、三三二	七五、二九三、九二四	七、五五九、二〇二	三、三三四、四二九	一、一五七、一一〇、二四一
千八百九十五年	一〇一、二九七、三四六	七二、九八六、八六一	七、二六七、〇九五	〇	一、二五五、八二八、七八一
千八百九十六年	九六、九四四、八五一	六三、九一八、七四六	六、五四七、二三三	〇	一、三六八、七一九、三五一
千八百九十七年	八八、五二八、八六〇	六一、一七一、六二二	八、一六五、六五一	〇	一、四二六、三八六、〇九六
千八百九十八年	八六、一五三、四七五	六六、二七一、七二五	七、五五九、九四五	〇	一、五八四、八五四、四四五
千八百九十九年	九五、四九六、五四五	六五、一九九、二二二	七、五五八、八四二	〇	一、六七三、三三三、〇六二
千九百年	九六、二三〇、四七七	七二、〇九五、五〇八	七、五三八、七七八	〇	一、七〇四、二八八、五〇六

年次	國債費	最高官衙	大教院	宮內省	外務省	陸軍省	海軍省	大藏省	農務及官有財產事務省
千九百一一年	八九,九七〇,四九一	七,一九〇五,六四三	七,五三八,三九三	〇	一,七九九,四五七,一五五				
千九百一二年	八六,四三一,〇〇〇	六,七五三,九八四	六,二九六,一五八	〇	一,八〇〇,七八四,四八二				
千九百一三年	八九,一六二,六〇〇	七,九〇八,五〇四	六,三五六,四七五	〇	一,八九七,〇三二,六七八				
千九百一四年	八六,一六四,三〇〇	七,六三二,二〇六	六,四八一,四六四	〇	一,九八〇,〇九四,四九三				

第三號 經常歲出額表

年次	國債費	最高官衙	大教院	宮內省	外務省	陸軍省	海軍省	大藏省	農務及官有財產事務省
千八百九十一年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十二年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十三年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十四年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十五年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十六年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十七年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十八年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十九年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千九百年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
千九百一一年	三三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇

年次	內務省	文部省	逓信省	司法省	會計検査院	帝國本部	其他	合計
千九百零二年	三六九,四九七,七二五	五,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	二,六〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	九六五,二八八,九八五	五五五,一六六,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
千九百零三年	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	九六五,二八八,九八五	五五五,一六六,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
千九百零四年	三六九,四九七,七二五	五,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	九六五,二八八,九八五	五五五,一六六,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十一年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十二年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十三年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十四年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十五年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十六年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十七年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十八年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十九年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇
千九百零年	六五,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇

千九百零一年	八八,八八八,八八八	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇
千九百零二年	八八,八八八,八八八	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇
千九百零三年	八八,八八八,八八八	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇
千九百零四年	八八,八八八,八八八	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇

第四號 國債現在高表ノ一

計	一九〇〇年一月一日		一九〇一年一月一日	
	定期公債	無期公債	定期公債	無期公債
三分利付	五三九,九二七,七五〇〇	一九,三三四,九一三〇〇	五三四,二四七,六六三〇〇	一九,三三四,九一三〇〇
三分半利付	一四八,三八二,八二五〇	五,七三三,六〇一〇〇	一五四,二六四,一三五〇	八,一三三,一三六〇〇
三分七厘九毛利付	六,二五二,〇〇〇〇〇	〇	六,二五二,〇〇〇〇〇	〇
三分八厘利付	八五,二四七,四〇〇〇〇	〇	八五,〇七九,四〇〇〇〇	〇
四分利付	二,三二六,六六三,三三九〇九	二,四四四,四一九,四九六〇〇	四,七六一,〇八二,七三五〇九	二,四八八,八八三,八八五七八
四分半利付	二四七,三七〇,〇〇〇〇〇	〇	二四七,三七〇,〇〇〇〇〇	〇
五分利付	一五二,八五二,〇〇〇〇〇	一,一五,四一三,三三八〇〇	二六七,二六四,八三八〇〇	一,一五,四一三,三三八〇〇
六分利付	〇	三八,四八三,五二五七七	三八,四八三,五二五七七	〇
合計	三,五三四,九四三,六九一,五九九	二,六三三,三八四,八六三,五七七	六,一八九,三三八,五五五,一六三	三,五五三,二四四,五二九,四四三

計	一九〇一年一月一日		一九〇二年一月一日	
	定期公債	無期公債	定期公債	無期公債
三分利付	五五九,八八三,六八七,五〇	一九,三三四,九一三〇〇	五七九,二八,六〇〇,五〇	一九,三三四,九一三〇〇
三分半利付	一四七,五七一,八七五,〇〇	〇	一〇,五六七,九四六,〇〇	〇
三分七厘九毛利付	四三,〇〇〇,〇〇〇〇〇	〇	四三,〇〇〇,〇〇〇〇〇	〇
三分八厘利付	八四,九〇八,四〇〇〇〇〇	〇	八四,九〇八,四〇〇〇〇〇	〇
四分利付	四,七八九,三三七,一五二,二二	二,二九〇,九六五,九九七,一九	五,一〇八,八五九,〇三八,七一	五,一〇八,八五九,〇三八,七一
四分半利付	二四六,九三〇,〇〇〇〇〇	一三〇,三三三,三二五〇	一三〇,三三三,三二五〇	〇
五分利付	二六三,四三九,四三八〇〇	一四四,二二五,七五〇〇〇	二五九,五三九,〇八八〇〇	〇
六分利付	三八,四八一,〇七五,五七七	〇	三八,四七七,一五〇,五七七	〇
合計	六,一九三,四〇一,八六七,七八	三,三九〇,六八八,〇三,二一九	六,三九二,三七四,四二,二八	三,三九〇,六八八,〇三,二一九

第五號 國債現在高表ノ二

(千九百三年一月一日)

(甲) 金貨公債	三、〇四九、五二二、六三六留
(イ) 外國債	一、四七〇、二一四、七二五
(一) 抽籤償還外國債	一、四〇七、六二四、〇〇二
四分利一八八九年露國債	一八一、九一二、五〇〇
同 一八九〇年同	二五五、二七六、五六三
同 一八九三年同	六五、六三九、〇六三
同 一八九四年同	一六七、五三一、二五〇
三分半利一八九四年同	一四七、一四五、三二三
三分利一八九一年同	一八〇、七二一、八七五
同 一八九四年同	六〇、五五三、一二五
同 一八九六年同	一五〇、〇〇〇、〇〇〇
四分利一八六七年及一八六九年 <small>「ニコラス」 鐵道公債</small>	一九二、三六四、三二三

(二) 非抽籤償還外國債	六、四八〇、〇〇〇
五分利一八二二年第二公債	六二、五九〇、七二三
三分利一八五九年公債	四三、二五五、八〇〇
(ロ) 內國債	一九、三三四、九一三
(一) 抽籤償還內國債	三五、四七〇、六五〇
四分利露西亞銀行公債	一、七九二、八〇〇
同 波蘭王國公債	三、六七七、八五〇
(二) 非抽籤償還內國債	三〇、〇〇〇、〇〇〇
五分利一八八四年金貨公債	一、五四三、八三七、二七一
(ハ) 鐵道公債	一五、九八二、五〇〇
五分利「モスコウヤロスルヴ」	二二一、五八二、三二三
四分利一八八〇年露西亞鐵道固定債	七〇七、五七五、一二五
同 一八八九年同	

同 露西亞鐵道固定債第三次	一一六、五九六、八七五
同 「モスコウスモレンスク」	二〇、六三七、五八四
同 鐵道公債	八、七二九、六二五
四分半利「イバンゴロド、イランブロボ」	二二、四〇二、〇六三
四分利露西亞鐵道大會社公債	八三、四九三、三七五
同 「サラトフ」	一〇、四九五、三二三
同 「オレルヴィテプスク」	一六、三六八、七五〇
同 「リガ、ドインスク」	一一、八九一、七五〇
同 「イビインスク、ヴィテプスク」	二七、二三一、五四七
同 「オレル、グリアヂ」	二五、五八三、二三四
同 「コールスク、カスコフアゾフ」	八九、三八五、七七〇
同 「イヲネス」	一〇、〇三五、七五〇
同 「モスコウ、コールスク」	九、〇三一、六四二
同 西南鐵道公債	四〇、九五九、〇〇〇

(乙) 銀貨公債及借入金

(イ) 外 國 債

(一) 抽籤償還外國債	三、五七九、七二三、四五〇
三分八厘利整理公債	三〇八、二二五、三四九
四分利一九〇二年公債	八四、七二二、四〇〇
(二) 非抽籤償還外國債	一八一、六三三、七八八
五分利一八二〇年及一八二二年公債	一六、七八七、六六一
同 一八五四年及一八五五年公債	二五、〇八一、五〇〇
同 「モスコウ、ヤロスラビアルカンゲル」	一四、六一四、六七九
三分利鐵道公債	七三、五〇五、二五〇
同 「モルカンスク、レヅラネ」	三、八四五、四三八
同 「リアヂスク、ヴィアズマ」	四、七八〇、五〇〇
同 一八八一年露西亞鐵道大會社公債	一七、一〇九、一八八

(口) 内 國 債

(一) 抽籤償還内國債

五分利一八六四年及一八六六年公債

四分半利一八九〇年及一八九二年國定債

同 一八九三年内國債

四分利波蘭王國債

(二) 國庫公債證書

(三) 非抽籤償還内國債

六分利一八一七年及一八一八年公債

五分利永久預金

四分利永久預金

三分半利永久預金

四分利一八五九年永久預金

同 露西亞公債

三三、二四九、一一〇、二〇一

一三三、二九五、一、二四四

一三三、六二〇、〇〇〇

六〇、七七六、五〇〇

三三、四四二、四〇〇

六、一一二、二四四

一〇〇、五一六、〇〇〇

二、九一五、六四三、〇五七

三、八、四七五、四四七

二、八八、三七七

三〇、六二六、〇〇〇

一三、四四一、〇〇〇

一、五三、八一三、二二三

一、五二〇、〇〇〇、〇〇〇

一五九、〇〇〇、〇〇〇
 二二、三九七、九〇〇
 二、四五八、三〇〇
 一、二四六、二〇〇
 七、一二八、九〇〇
 一、一五六、四、五〇〇
 六、六二九、二四六、〇八六

(ハ) 同 固定公債

(ハ) 鐵道公債

四分半利モスコウ、ヤラスロピアルカンゲル

四分利一八九三年大會社公債

同 「イバンゴロド、イランブロボ」

同 一八九五年、一八九七年及一八九九年公債

國債總額

第六號 倫敦ニ於ケル露國公債(四分利付)相場表(一九〇四年)

日次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月
一日			九二、〇	九五、 $\frac{7}{8}$	〇	九〇、〇	九一、 $\frac{7}{8}$	九一、 $\frac{3}{8}$	九二、〇
二日			九三、 $\frac{7}{8}$	〇	九二、〇	〇	〇	九二、 $\frac{5}{8}$	〇
三日			〇	九四、 $\frac{7}{8}$	九一、〇	〇	〇	〇	九一、 $\frac{7}{8}$
四日			〇	〇	九〇、〇	〇	九二、 $\frac{7}{8}$	〇	〇
五日			〇	〇	〇	〇	〇	〇	九一、 $\frac{3}{8}$
六日			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
七日			九三、 $\frac{7}{8}$	〇	九〇、 $\frac{3}{8}$	〇	九二、 $\frac{7}{8}$	〇	〇
八日			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
九日			〇	〇	九〇、 $\frac{3}{8}$	〇	〇	〇	九二、〇
十日			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十一日			九四、 $\frac{7}{8}$	〇	〇	〇	〇	九一、 $\frac{7}{8}$	〇

十二日			九三、 $\frac{7}{8}$	九五、〇	八七、 $\frac{7}{8}$	〇	九二、〇	〇	九二、 $\frac{7}{8}$
十三日			〇	〇	八八、〇	〇	〇	〇	〇
十四日			九二、 $\frac{7}{8}$	九四、 $\frac{7}{8}$	〇	〇	〇	〇	〇
十五日			八八、 $\frac{7}{8}$	九三、〇	〇	〇	〇	〇	〇
十六日			八八、 $\frac{3}{8}$	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十七日			九〇、 $\frac{7}{8}$	〇	八八、 $\frac{7}{8}$	〇	〇	〇	〇
十八日			九一、〇	九三、 $\frac{7}{8}$	〇	〇	〇	〇	〇
十九日			〇	〇	八八、 $\frac{7}{8}$	〇	〇	〇	〇
二十日			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十一日			〇	〇	九〇、 $\frac{7}{8}$	〇	〇	〇	〇
二十二日			八九、 $\frac{7}{8}$	九四、 $\frac{3}{8}$	八九、〇	〇	〇	〇	九二、 $\frac{3}{8}$
二十三日			〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十四日			九一、〇	九五、〇	九〇、 $\frac{7}{8}$	〇	〇	〇	九二、 $\frac{7}{8}$
二十五日			〇	〇	八九、 $\frac{3}{8}$	〇	〇	〇	〇

平均	三十一日	三十日	二十九日	二十八日	二十七日	二十六日
九〇、三八	〇	〇	九〇、 $\frac{2}{3}$	〇	〃	九〇、 $\frac{2}{3}$
九三、八〇	九五、 $\frac{2}{3}$	九四、 $\frac{2}{3}$	九四、 $\frac{2}{3}$	九五、〇	〇	〃
九三、四三	〇	九二、〇	〃	九一、 $\frac{2}{3}$	〃	九二、〇
八九、四九	〇	八九、〇	〇	八八、 $\frac{2}{3}$	八九、 $\frac{2}{3}$	〇
九〇、七九	〇	〃	九二、 $\frac{2}{3}$	〃	九二、〇	〇
九一、九五	〇	〃	九一、 $\frac{2}{3}$	九一、 $\frac{2}{3}$	〃	九一、 $\frac{2}{3}$
九一、四五	〃	九二、〇	九二、 $\frac{2}{3}$	〇	〃	九一、 $\frac{2}{3}$
九二、二二	〇	九二、 $\frac{2}{3}$	九二、 $\frac{2}{3}$	〃	〃	〃

三百五十六

第七號 國庫現在金高表

年 月 次	現 金 在 高	現在金ノ内自由資金高
千八百九十年一月一日	四二一、六〇三、九七三、二二	二一八、五五九、六〇八、五三
千八百九十一年一月一日	四八一、一八一、八九八、九〇	二三四、一五八、二四六、〇三
千八百九十二年一月一日	三三一、五六五、二八二、〇四	三五、三六四、九二〇、二三
千八百九十三年一月一日	三五九、八四六、四九六、八四	九二、三七八、五五八、一九
千八百九十四年一月一日	五九三、八一五、六二三、三一	二八二、〇一六、六五五、五九
千八百九十五年一月一日	七五八、一九一、四五〇、一九	三五五、七九三、〇九一、五三
千八百九十六年一月一日	六四八、二〇三、七〇七、九九	二八九、八七九、七九五、四六
千八百九十七年一月一日	七五五、八一七、八九二、〇七	二四六、四九六、〇四三、四〇
千八百九十八年一月一日	五六二、六七八、二六四、九九	二一四、七三三、四四三、〇八
千八百九十九年一月一日	五四五、六四〇、六五二、一六	一三四、八八五、六六九、八五
千九百年一月一日	六四九、四二六、五七九、二五	二二六、七二七、二二二、三九

三百五十七

千九百一一年一月一日	四五四,四三四,六〇五五〇	一〇四,九七五,五三四,九二一
千九百一二年一月一日	五〇六,三三三,一〇七五一	二六八,四二〇,二六六,四四四
千九百一三年一月一日		二五七,四〇〇,〇〇〇,〇〇〇
千九百一四年一月一日		見積三二二,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇

三百五十八

第八號 露西亞帝國銀行狀況其一

年	月	紙幣流通高		正貨(金)	銀及補助貨	在外資金	政府預金
		六億以下半額時	六億以上半額時				
一九〇一年	一月	五二四,一五〇,七〇〇	六七二,二四六,三八〇	六〇,一九四,七五〇	二五,八三九,二五六	二九〇,八三三,五〇〇	
	六月	五二,七六〇,〇二八	六七〇,〇三三,六三六	七,七二〇,五九六	九,三四四,五〇四	一八五,八〇二,四一〇	
	十二月	五八,一三五,二六二	六四三,六六四,一九〇	六〇,九一八,四三六	二,九六六,九一八	二三八,八七一,二四八	
一九〇二年	一月	五〇,六六五,七九四	六五〇,七三三,七七四	六三,六七二,一五六	二七,二四八,四九八	二七八,四六二,四三六	
	六月	五二七,〇二八,一三四	六八五,九三三,五三四	八四,一七六,三〇〇	三三,二五七,三三三	二一八,五二八,一九八	
	十二月	五三〇,一三〇,三五八	六六六,七七〇,〇八四	六四,四三七,三五四	五九,五四七,五六八	一三三,三三五,三八八	
一九〇三年	一月	五二九,三三九,三三三	六七三,七五〇,〇八八	六八,〇六九,三三六	五三,六八九,四三八	一七三,五三五,三八四	
	六月	五四三,六八三,六七二	七二八,四二〇,三三三	八五,七四六,三二八	三五,九四〇,四〇〇	一六八,三五二,四〇〇	
	十二月	五四七,九〇一,九四〇	六八五,六〇〇,九六二	六九,一六六,三五四	一三八,四一七,八三〇	二八八,七六二,一九八	
同	一月一日	五四七,三三三,三七六	六九三,二四四,六五三	六九,六三九,二五四	一六五,二七八,五五〇	三三四,五九八,五六〇	
	一月八日	五四一,八八六,六五二	七〇一,三三五,五七八	七二,七六〇,三九四	一六五,八七四,四〇四	三三九,二七三,〇九二	

三百五十九

開戰		一九〇四年			
一月十六日	五〇七、四一九、五八二	七二〇、一五五、九三〇	七五、二一九、四七四	一六六、五八七、二五二	三三三、七三〇、六二六
二月十三日	五五七、五七七、四七四	七〇二、九二六、〇二二	七五、七五八、五八〇	一六四、三三三、二九二	三五六、六〇四、四三二
二月五日	五六六、一五五、八八〇	七〇五、二八三、〇六〇	七五、〇六八、一四六	一六八、一六三、二四〇	三九六、六四九、六〇四
二月四日	五七一、五四六、九四〇	七〇六、五三三、〇五八	七五、四九三、七五六	一六四、一五三、〇四八	三九三、五〇九、五四八
二月八日	五七八、三二八、八六八	七二四、八八二、九三〇	七七、八〇一、五〇八	一五二、〇八四、六四〇	三八六、三八七、六七四
二月十九日	五九三、六七八、六六〇	七二二、七二六、五〇六	七八、九四四、九二六	一三九、〇七九、八九〇	三八五、四七九、七〇六
三月七	五九四、九三六、五七四	七三四、六五〇、一五〇	八〇、一六六、〇〇八	九一、九七九、〇五〇	三三四、〇三三、七四四
三月十六日	六一四、一九三、〇六二	七二五、四二八、六〇〇	七七、二四三、四八六	七七、〇五四、三二六	三三〇、五〇九、八一〇
三月二十三日	六〇〇、一七六、九〇六	七二九、七三三、〇七四	七七、一五八、三六四	七七、二四三、四八六	三二七、九九六、八七六
四月一日	五九五、四三七、八四八	七四七、五九八、一五三	八一、〇一七、三三八	六八、八九二、〇七二	三〇〇、二四四、二二〇
四月八日	五九二、〇九九、一七四	七五五、七二一、一三八	八一、〇三六、二四四	五四、七五二、三六二	二六五、六七五、二二〇
四月十六日	六〇九、七〇〇、五二二	七五四、〇一〇、六七六	七九、一五四、〇〇二	五〇、七〇〇、五四四	二六四、七六七、二五二
四月二十三日	六三三、七四五、八八〇	七六四、七六五、三二〇	七九、一四二、三六〇	四四、七〇七、九六〇	二六一、六三三、三三〇
五月一日	六二〇、六二三、八四〇	七六八、六七三、三〇〇	七七、〇三三、八六〇	三九、三三二、五二〇	二三五、八一八、八八〇
五月十六日	六三四、四七二、七四〇	七六七、八四九、二八〇	七七、四二一、一八〇	三九、六〇九、〇二〇	二二六、一〇三、四六〇
五月十四日	六二九、一九三、四五〇	七七七、三三三、五六二	七八、八九七、七二〇	九〇、八二五、一七四	二六六、一六七、〇三六
六月八日	六三七、一九二、二五四	七八一、五八〇、七四六	八〇、〇九九、八〇二	一〇三、七八二、六三四	二七三、九三二、〇五四
六月十一日	六三八、五九四、七〇二	七八八、三三二、六七四	八〇、八〇九、一五二	九七、四四五、七七四	二九〇、四〇七、八九〇
六月十六日	六五二、一〇〇、七二六	七八五、二九七、七四〇	八〇、八六五、九〇〇	八九、〇二八、一五四	二七六、二四九、二六四
七月六日	六五二、九三九、九四〇	七九三、三五五、九五六	八二、五六八、三四〇	九五、四八七、九六八	二八三、五七九、二四四
七月十四日	六三八、四四二、八三二	七九八、九二六、七二八	八四、六二〇、七二六	八八、三四七、一七八	二八四、九九七、九一四
七月二十一日	六三四、八四九、三三四	八〇四、七二四、四七二	八四、六六八、〇一六	九三、七〇九、八六四	二六五、八九二、七五四
七月二十九日	六五〇、七一九、八五八	八〇〇、三四五、四一八	八四、二四四、〇三二	八六、八三三、八九八	二五一、五六三、八八四

五月二十三日	六三四、四七二、七四〇	七六七、八四九、二八〇	七七、四二一、一八〇	三九、六〇九、〇二〇	二二六、一〇三、四六〇
六月四日	六二九、一九三、四五〇	七七七、三三三、五六二	七八、八九七、七二〇	九〇、八二五、一七四	二六六、一六七、〇三六
六月八日	六三七、一九二、二五四	七八一、五八〇、七四六	八〇、〇九九、八〇二	一〇三、七八二、六三四	二七三、九三二、〇五四
六月十一日	六三八、五九四、七〇二	七八八、三三二、六七四	八〇、八〇九、一五二	九七、四四五、七七四	二九〇、四〇七、八九〇
六月十六日	六五二、一〇〇、七二六	七八五、二九七、七四〇	八〇、八六五、九〇〇	八九、〇二八、一五四	二七六、二四九、二六四
七月六日	六五二、九三九、九四〇	七九三、三五五、九五六	八二、五六八、三四〇	九五、四八七、九六八	二八三、五七九、二四四
七月十四日	六三八、四四二、八三二	七九八、九二六、七二八	八四、六二〇、七二六	八八、三四七、一七八	二八四、九九七、九一四
七月二十一日	六三四、八四九、三三四	八〇四、七二四、四七二	八四、六六八、〇一六	九三、七〇九、八六四	二六五、八九二、七五四
七月二十九日	六五〇、七一九、八五八	八〇〇、三四五、四一八	八四、二四四、〇三二	八六、八三三、八九八	二五一、五六三、八八四

露西亞帝國銀行狀況其二

(一九〇四年)

月 日	紙幣發行高	紙幣手元在高	紙幣流通高	金手元在高	金在外在高	金合計	政府預分金
二月五日	六三〇,〇〇〇,〇〇〇	四〇,四七三,六九九	五八九,五二六,三〇一	七四二,二二六,二一八	一七二,三三二,〇二八	九一三,五五八,二四六	三三三,〇四三,二九三
同十四日	六八〇,〇〇〇,〇〇〇	八一,四〇一,八二七	五九八,五九八,一七三	七四五,七〇三,二二一	一七五,一一五,五四三	九二〇,八二八,六六四	四一九,三八〇,八四九
同廿一日	六八〇,〇〇〇,〇〇〇	七五,六九四,九四九	六〇四,三〇五,〇五一	七四七,〇一一,三六二	一七一,五三七,七七八	九一八,五四九,〇九〇	四一六,〇五五,八八九
同廿九日	六八〇,〇〇〇,〇〇〇	六八,五三六,八三六	六二一,四六三,一六四	七五五,八五二,三三三	一五六,九一六,二八四	九二二,七六八,五九七	四〇八,五二八,〇二四
三月七日	六八〇,〇〇〇,〇〇〇	五二,三〇三,四三三	六二七,六九七,五六五	七五三,五六六,二二三	一四四,四六四,二〇八	八九八,〇三〇,四二二	四〇七,五七四,六九三
同十四日	六八〇,〇〇〇,〇〇〇	五一,八二七,四四四	六二八,一七二,五五六	七六二,七二四,六五二	一三三,〇四四,五四六	八九五,七六九,一九八	四一九,四〇〇,七八七
同廿一日	六八〇,〇〇〇,〇〇〇	五二,五二六,四四九	六二七,四七三,五五一	七六七,六〇三,七〇〇	一三三,〇七二,二九五	八九二,六七五,九九五	三九一,八〇〇,八四〇
同廿九日	六八〇,〇〇〇,〇〇〇	五〇,九七〇,五四〇	六二九,〇二九,四六〇	七七六,七四五,五一〇	九一,六三二,三三三	八六八,三七七,八四三	三六二,六七六,七九〇
四月五日	六八〇,〇〇〇,〇〇〇	三〇,六〇三,一五二	六四九,三九一,八四八	七六六,九九五,七八四	七四,五〇〇,七八五	八四一,四九六,五六九	三三九,四五一,五三三
同十四日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	六五,四三三,四九八	六三四,五五五,五〇二	七七二,五二五,二二三	七四,七二〇,五六四	八四六,二三五,七七七	三三六,二二五,七三三
同廿一日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	七〇,四四四,四一七	六二九,五五五,五八三	七九〇,四四一,八九四	六五,五四一,五一一	八五五,九八三,四〇九	三二七,四五五,八九一

三百六十二

同廿九日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	七三,九九九,四七五	六二六,〇三〇,五二五	七九九,六二二,六八八	五一,八一四,二八七	八五一,四二六,九七五	二八〇,八九八,七四四
五月六日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五五,三六二,一五七	六四四,六三七,八四三	七九七,二二五,五三九	四七,二二三,四五五	八四四,四四八,九九四	二七九,九四四,八七一
同十四日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五一,三三三,三三九	六四八,七七六,六六一	八〇三,四一五,六八九	四〇,五三二,〇八〇	八四三,九四七,六九九	二七六,五七四,二四一
同廿一日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	四六,一八四,五四七	六五三,八一五,四三三	八〇八,四四八,二七六	三八,四五九,八〇七	八四六,九〇八,〇八三	二六五,七九一,〇四〇
同廿九日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	四三,九五四,九四〇	六五六,〇四五,〇六〇	八一三,五五二,六三六	三五,六〇四,一七七	八四八,一五六,八二三	二四九,二七七,四三三
六月五日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	四九,三二二,九〇五	六七〇,六八八,〇九五	八一,六三二,四五一	三五,五八八,〇九六	八四七,二七〇,五四七	二三九,〇〇五,四七三
同十四日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五四,七五三,三六九	六六五,二四六,六三二	八二,八八七,六九五	九一,四〇七,二八〇	九一三,二九四,九七五	二八一,四二四,二二九
同廿一日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	四六,三六八,八四三	六七三,六三〇,一五五	八二六,三六九,一七三	一〇六,五二七,七四四	九三二,八八六,九一七	二八九,六二六,七六二
同廿九日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	四四,八一,九九五	六七五,一八八,〇〇五	八三三,五三三,三三〇	一〇〇,六九八,四七六	九三三,三三〇,八〇六	三〇七,〇五二,八〇〇
七月六日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五〇,五三〇,六三八	六八九,四六九,五六二	八三〇,二九五,六五二	九一,九〇〇,八〇八	九三二,一九六,四六〇	二九二,〇七九,六六六
同十四日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五〇,七〇〇,五八五	六八九,二九九,四一五	八三三,八二二,七九〇	九九,一四二,〇三三	九三七,九六三,八三三	二九九,八二六,四八一
同廿一日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	六四,九五八,五〇八	六七五,〇四一,四九二	八四四,七〇九,五六五	九一,三三四,三九八	九三六,〇三三,九六三	三〇一,三三四,九一八
同廿九日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	六八,七五五,一五七	六七二,二二四,八四三	八五〇,八三八,四七一	九七,〇二二,三三三	九四七,八四九,七〇四	二八一,一三三,四一四
八月五日	七〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五一,九八六,四五一	六八八,〇一三,五八八	八四六,二二三,九五八	八九,九九二,八六〇	九三六,二〇六,八一八	二六五,九七八,三七二

三百六十三

第十號 輸出入表 (歐路ノ部)

年次	輸 出	輸 入	輸 出 超 過
千八百九十二年	四一七,〇〇〇,〇〇〇	三二九,〇〇〇,〇〇〇	八八,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十三年	五三九,〇〇〇,〇〇〇	三八八,〇〇〇,〇〇〇	一五一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十四年	六二七,〇〇〇,〇〇〇	四八六,〇〇〇,〇〇〇	一四一,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十五年	六三八,〇〇〇,〇〇〇	四六八,〇〇〇,〇〇〇	一七〇,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十六年	六三二,〇〇〇,〇〇〇	五〇九,〇〇〇,〇〇〇	一二三,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十七年	六六二,〇〇〇,〇〇〇	四八〇,〇〇〇,〇〇〇	一八二,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十八年	六六九,〇〇〇,〇〇〇	五三一,〇〇〇,〇〇〇	一三八,〇〇〇,〇〇〇
千八百九十九年	五七〇,〇〇〇,〇〇〇	五六一,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇,〇〇〇
千九百年	六五五,〇〇〇,〇〇〇	五四四,〇〇〇,〇〇〇	一一一,〇〇〇,〇〇〇
千九百一年	六八四,〇〇〇,〇〇〇	四九五,〇〇〇,〇〇〇	一八九,〇〇〇,〇〇〇
千九百二年	七八三,〇〇〇,〇〇〇	四八三,〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇

千九百三年	九〇二,〇〇〇,〇〇〇	五四〇,〇〇〇,〇〇〇	三六二,〇〇〇,〇〇〇
-------	-------------	-------------	-------------

明治三十七年十月十四日印刷
明治三十七年十月十五日發行

大藏省
印刷者 印刷局

45
451

